

**KAWASAKI CITY MUSEUM  
ANNUAL REPORT**

2011.4-2012.3

平成23年度

**川崎市市民ミュージアム年報**

平成 23 年度 川崎市市民ミュージアム年報  
目 次

はじめに .....	3	
概要 .....	4	
平成 23 年度市民ミュージアム組織表 .....	5	
<b>展示、上映</b>		
1 企画展 .....	6	
2 アートギャラリー展示 .....	12	
3 博物館展示（考古、歴史、民族） .....	15	
4 マンスリー展示 .....	16	
5 ミニ特別展示 .....	16	
6 ミュージアムライブラリー（映像） .....	17	
7 ミュージアムライブラリー（図書） .....	17	
8 映画上映 .....	17	
9 ミニホール ビデオ上映 .....	23	
10 他団体の展示等 .....	25	
<b>収集、整理、保存</b>		
1 収集 .....	26	
2 整理、保存、修復 .....	27	
3 収蔵品の貸出、他館への協力 .....	28	
<b>調査研究</b>		
1 調査研究 .....	32	
2 出版 .....	32	
<b>職員の派遣</b> .....		34
<b>教育、普及</b>		
1 教育普及 .....	35	
2 実習生の受入れ .....	40	
3 イベント .....	40	
4 広報活動 .....	42	
5 友の会 .....	42	
<b>資料</b>		
川崎市市民ミュージアム条例 .....	44	
川崎市市民ミュージアム条例施行規則 .....	47	
企画展一覧 .....	53	
ギャラリー展示一覧 .....	56	
特別資料室展示一覧 .....	61	
企画上映一覧（映画） .....	62	
平成 23 年度市民ミュージアム利用者統計表 .....	68	
平成 23 年度歳出予算 .....	69	
川崎市市民ミュージアム協議会 .....	70	
川崎市市民ミュージアム資料等収集委員会 .....	70	
川崎市市民ミュージアム資料等評価委員 .....	71	
かわさき市美術展運営委員会 .....	71	
施設概要 .....	72	
職員 .....	74	



## はじめに

市民ミュージアムは、「川崎市を全国に発信し、市民にアピールできる活動」、「美術館・博物館としての基本的役割と活動」、「市民参加型の幅広い活動」の3つを基本とし、それぞれの活動の定着化を図るなど、これまで進めてきた改革に継続して取り組み、平成23年度は、当面の目標である年間20万人以上の来館者数を達成することができました。

事業としましては、川崎ゆかりの世界的な写真家による展覧会「岩合光昭どうぶつ写真展」や、当館の設立の際に御尽力いただいた日本を代表するグラフィックデザイナーの展覧会「福田繁雄大回顧展」の開催など、川崎と市民ミュージアムを国内外に向けて発信する企画を実施いたしました。

また、川崎市岡本太郎美術館との連携により、岡本太郎の生誕100年を記念して、「太郎の愛した映画たち」、川崎で生まれ育った坂本九の生誕70年を記念して、「映画の中の九ちゃん」など、市や地域に関わるイベントや展覧会と連動した映画の上映を行いました。

広報では、市内の商業施設や近隣の住宅展示場など、民間企業との連携強化による活動範囲の拡大のほか、企画展などのイベントごとの情報の発信と合わせ、年間を通じた当館の企画が一覧できる情報の発信など、広報活動の強化に努めて参りました。

また、ソフト面では、子育て世代が気軽に楽しめる環境を整えるための託児サービスの試行に伴い、子育て世代向けの親子で楽しめるイベントを開催したほか、展覧会を鑑賞する高齢者福祉プログラムや制作を体験する障害者福祉プログラムを実施するとともに、ハード面では、川崎の歴史に関する通史展示に向けて展示室を改修し、川崎の成立ちに関する特集展示を実施するなど、改革の実現に向けて様々な取組を進めて参りました。

市民ミュージアムは、こうした改革を通じて、全国に発信できるミュージアムを目指すとともに、市民文化の伝承と創造の発信拠点として、また地域の活性化に貢献する拠点として、文化・芸術を活かしたまちづくりを推進する取組を展開して参ります。

皆様の御理解と御支援を賜りますよう、今後ともよろしくお願い申し上げます。

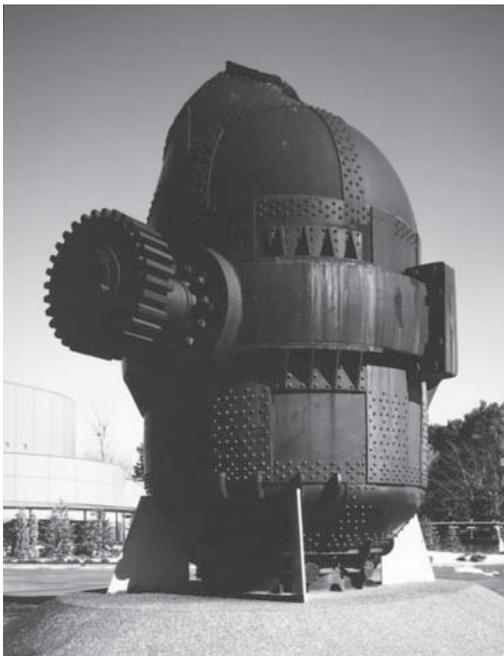
川崎市市民ミュージアム  
館長 原 隆

## 概要

川崎市市民ミュージアムは1988年（昭和63年）11月、「都市と人間」を基本テーマに開館した。

都市は、さまざまな人が集まり次々と新しい文化を生み出している。市民ミュージアムは、都市の発展過程やそこで生まれ育った文化を見つめるための資料や作品を収集・展示・調査・研究している。

特に、今日私たちの暮らしに深い関わりをもち、都市文化の形成に大きな役割を果たしてきたポスター、版画、写真、漫画、映画、ビデオといった複製技術による芸術作品、川崎に関連する考古・歴史・民俗資料及び芸術家の作品を対象に基本テーマを追求するほか、市民ミュージアムの情報を活用しながら、利用者が楽しく学習できるような学習講座も行っている。



トーマス転炉（日本鋼管 現JFE寄贈）

英国人シドニー・G・トーマスが発明した燐を含む鉄鉱石の製鋼炉。1937年から1957年（昭和12年から32年）まで稼働。日本の鉄鋼業界の発展に大きく貢献。京浜工業地帯発展史のなかでも象徴的な産業遺産といえる。

## 沿革（開館まで）

1980年（昭和55年）

川崎市博物館構想委員会を設置

（担当教育委員会）

漫画・写真・映像文化センター構想を発表

（担当企画調整局）

1981年（昭和56年）

川崎市博物館基本構想を策定

現代映像文化センター基本構想を策定

1982年（昭和57年）

川崎市博物館建設調査委員会を設置（教育委員会）し、同時に展示基本計画書を策定

現代映像文化センター基本計画委員会を設置（企画調整局）し、基本計画を策定。

1983年（昭和58年）

川崎市博物館資料収集委員会（教育委員会）、現代映像文化センター収集委員会を設置（企画調整局）し、収集事業がスタート

両計画を一体化するため、仮称川崎市博物館・現代映像文化センター一体化に関わる委員会を設置（企画調整局）し、基本計画を策定

1985年（昭和60年）3月

建築基本設計を完了

1985年（昭和60年）3月

展示基本設計を完了

1985年（昭和60年）4月

教育委員会に市民ミュージアム準備事務室が発足

1985年（昭和60年）11月

建築実施設計を完了

1985年（昭和61年）3月

展示実施設計を完了

1986年（昭和61年）3月

建築工事着手

1987年（昭和62年）7月

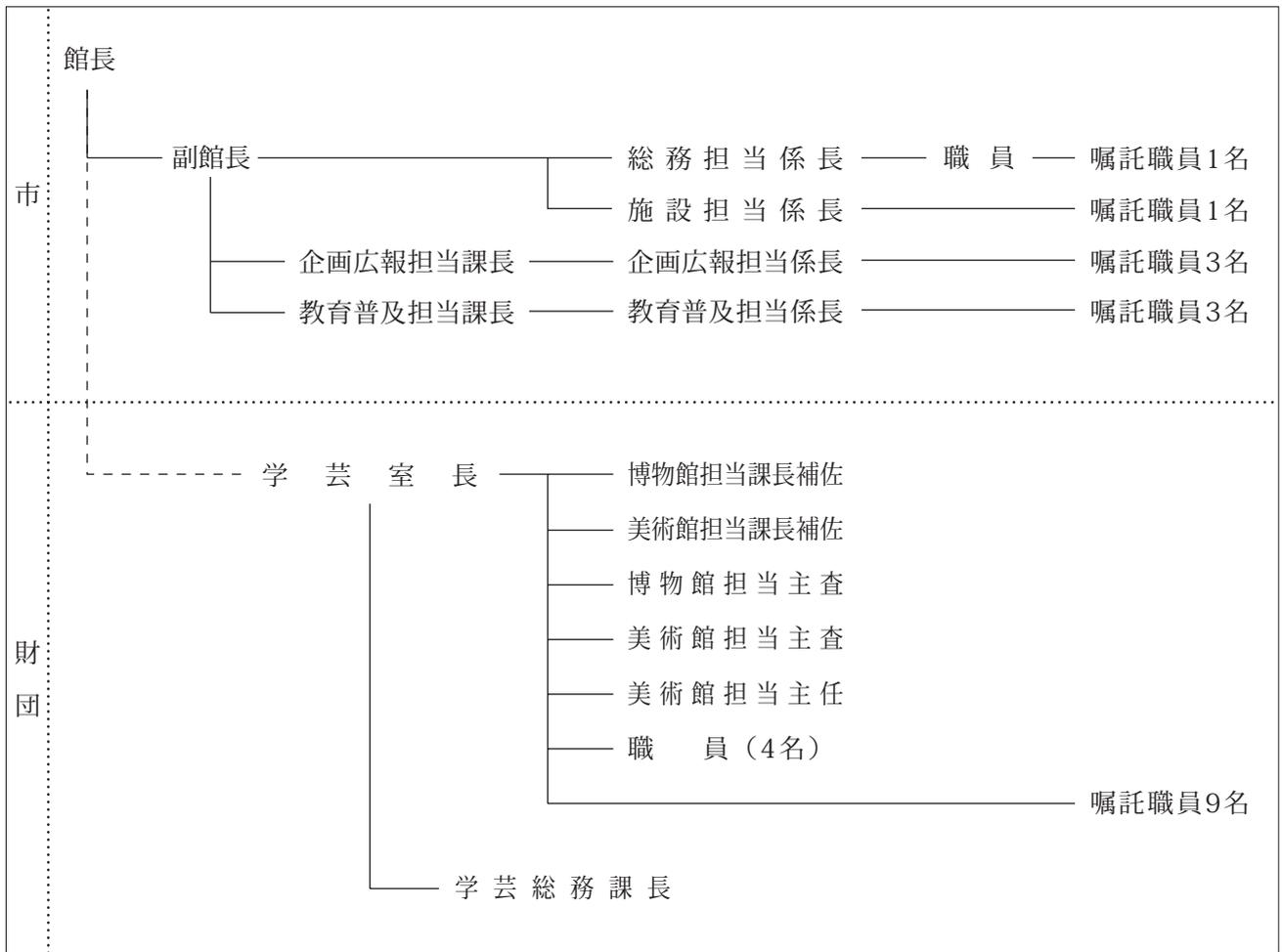
展示工事着手

川崎市市民ミュージアム条例を制定

1988年（昭和63年）11月

川崎市市民ミュージアム開館

# 平成 23 年度 市民ミュージアム組織表



# 展示、上映

## 1 企画展

### 岩合光昭どうぶつ写真展

〔会 期〕4月16日～6月26日

〔入場者〕12,831人

〔主 催〕川崎市市民ミュージアム

〔企画協力〕岩合写真事務所／M&M COLOR

〔観覧料〕一般 600円

学生・65歳以上 400円

中学生以下無料

〔開催趣旨〕

アフリカや南極、北極、オーストラリアなどに生息する絶滅が危惧される野生動物を撮影し続ける動物写真家・岩合光昭の40年間の集大成「地球の宝石」シリーズと、本邦初公開となる「横浜動物園ズーラシア」、神奈川県内の観光地や有名な場所とネコを写した「神奈川のネコ」を展示した。

また、展覧会にあわせ、「いきもの写真展」としての身近ないきものの写真を公募、展示した。

〔主な展示品〕

○「地球の宝石」シリーズより 97点

○「横浜動物園ズーラシア」 22点

○「神奈川のネコ」 37点

〔印刷物〕

チラシ：A4判

ポスター：B2判、B3判

〔関連イベント〕

◎岩合光昭トーク&サイン会「動物写真家になるには」

日程：4月29日11:00～、ギャラリートーク14:00～

参加人数：500名

◎岩合光昭トーク&サイン会「ネコの撮り方」

日程：4月30日11:00～、ギャラリートーク14:00～

参加人数：700名

◎ベビーカーツァー

日程：5月25日、6月9日

参加人数：29名

◎学芸員による展示解説

日程：5月21日、6月19日

参加人数：85名

◎川崎獣医師会会長・馬場国敏先生トークショー

「野生動物の保護」

日程：6月4日

参加人数：60名



### 実相寺昭雄展 —ウルトラマンからオペラ「魔笛」まで—

〔会 期〕7月16日～9月4日

〔入場者〕4,802人

〔主 催〕川崎市市民ミュージアム

〔特別協力〕公益財団法人東京二期会、円谷プロダクション

〔企画協力〕テクノプロ

〔観覧料〕一般 600円

学生・65歳以上 400円

中学生以下無料

〔開催趣旨〕

特撮テレビ番組「ウルトラマン」シリーズの監督、「あさき夢見し」「帝都物語」等の映画監督として知られる実相寺昭雄は、生前川崎市に在住していたこともあり、2008年に作品や関連資料が寄贈された。本展では、この寄贈資料を元に、実相寺の映画・映像作品に関連する資料、自ら演出を手がけたオペラ「魔笛」などの音楽・舞台資料、さらに愛用品や書画などを展示しその多彩な側面を紹介するとともに、映像ホールで実相寺の映画・映像作品を企画上映し、映像表現に独自の世界を切り開いた奇才の魅力に迫った。

〔主な展示品〕

○ウルトラ関連作品資料展示（ジャミラ、実相寺台本等）

○実相寺昭雄自筆画「ウルトラマンの東京より」、「絵葉書原画」

○実相寺昭雄監督自主製作等の映像展示

○実相寺昭雄演出オペラ「魔笛」関連資料（衣装、デザイン原画等）

○実相寺昭雄の書斎再現セット

○実相寺昭雄プライベートコレクション(けろっぴ、フィギュア等)

[印刷物]

チラシ：A 4判

ポスター：B 2判、B 3判

[関連イベント]

◎トークショー「実相寺昭雄を語る」

ゲスト 寺田農(俳優)、高樹澪(俳優)他

日程：7月24日(日) 15:00～

会場：逍遙展示空間

入場：無料

参加人数：180名

◎プロムナードコンサート「実相寺昭雄と音楽」

実相寺昭雄ゆかりのクラシック音楽の演奏(解説付き)

演奏 勝郁子(ピアノ)、萩原潤(バリトン)、  
栗林瑛利子(ソプラノ)

日程：8月28日(日) 2回開催 13:00～・15:00～

会場：逍遙展示空間

入場：無料

参加人数：240名

◎ベビーカートツアー

日程：8月9日・25日

参加人数：3名

◎特集上映「奇才・実相寺昭雄」

会場：映像ホール

上映日程(全10回)：7月30日・31日、8月6日・  
7日・13日・14日・20日・21日・27日・28日

参加人数：1,869名

◎トークショー(映像ホール)

会場：映像ホール

日程(全4回)：7月30日、8月13日・20日・28日

参加人数：898名



## 二ヶ領用水ものがたり展

[会期] 7月23日～9月11日

[入場者] 4,603人

[主催] 川崎市市民ミュージアム

[観覧料] 一般 500円

学生・65歳以上 300円

中学生以下無料

[開催趣旨]

慶長4年(1599)に、代官小泉次大夫の指揮のもと開削工事の始まった二ヶ領用水は、10年余の本流工事の後に小堀の開削・整備が行われ、同16年(1611)に竣工した。そして、平成23年は、竣工からちょうど400年目にあたることから、あらためて二ヶ領用水についてその開削時から近・現代にいたるまでの歴史を広く展示、紹介した。また、あわせて二ヶ領用水だけでなく、多摩区を流れる大丸用水や、二ヶ領用水の流れていない丘陵部などにおける利水の様子なども展示した。なお一般市民の方はもちろんのこと、実際に社会科の学習で二ヶ領用水を学んでいる小学校4年生も対象になるよう、その歴史をわかりやすく古文書や絵図、航空写真、映像などで展示・紹介した。

[主な展示品]

- 豊臣秀吉禁制 木札 天正18年 世田谷区立郷土資料館蔵
- 徳川家康像 江戸時代 岡崎市美術博物館蔵
- 清沢村検地帳 慶長18年 市民ミュージアム蔵
- 二ヶ領用水絵図 江戸時代 個人蔵
- 二ヶ領用水取水口絵図 江戸時代 市民ミュージアム蔵
- 下小田中村由緒書 江戸時代 安楽寺蔵
- 百草松蓮寺記 江戸時代 市民ミュージアム蔵
- 溝口村水騒動明細帳 文政5年 市民ミュージアム蔵
- 小向村下平間村用水出入一件文書 天保～弘化個人蔵
- 小泉次大夫巡検図 明治23年 大田区立郷土博物館蔵
- 大丸用水絵図 江戸時代 市民ミュージアム蔵

[印刷物]

図録：A 4判 88頁

子ども用パンフレット：A 4判 10頁

チラシ：A 4判

ポスター：B 2判、B 3判

[関連イベント]

◎展示解説 全9回 合計322名

◎講演会「徳川家康の関東入国と地域開発」

講師：村上直（法政大学名誉教授）

日程：9月4日

参加人数：140名

◎用水ウォッチング「消えた用水を探そう！」

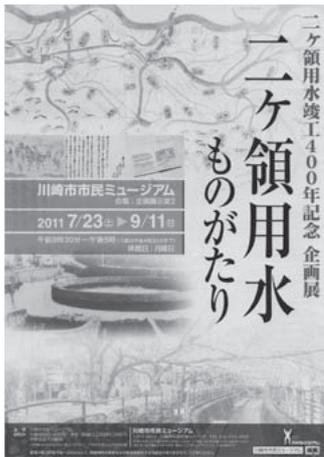
日程：8月20日

参加人数：18名

◎おやこ歴史散策「二ヶ領用水を歩こう」

日程：8月28日

参加人数：15名



## ユーモアのすすめ 福田繁雄大回顧展

〔会期〕9月17日～11月6日

〔入場者〕9,292人

〔主催〕川崎市市民ミュージアム、読売新聞社、美術館連絡協議会

〔協力〕二戸市シビックセンター福田繁雄デザイン館、DNP文化振興財団

〔企画協力〕DNPアートコミュニケーションズ

〔協賛〕ライオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャパン、日本テレビ放送網

〔観覧料〕一般 600円

学生・65歳以上 400円

高校生 200円

中学生以下無料

〔開催趣旨〕

当館開館時に美術館設立委員であり、2009年に急逝したグラフィックデザイナー福田繁雄の大規模回顧展。グラフィックデザインのみならず、立体やスケッチにも光を当て、作家の全貌を振り返る。三重県立美術館、いわき市美術館、広島県立美術館他全国を巡回。

〔主な展示品〕

○《ランチはヘルメットをかぶって…》

他、立体作品 約100点

○《victory》他、ポスター 約200点

○「最後のスケッチ」他、スケッチ 約100点

〔印刷物〕

巡回館共通図録

チラシ：A4判

ポスター：B2判、B3判

〔関連イベント〕

◎開会式・内覧会・懇親会（関係者のみ）

日程：9月17日 9:15～11:00

参加人数：25名

◎「シルクスクリーンでユーモアTシャツをつくろう」

日程：9月23日（午前／午後 全2回）

参加人数：16名

◎学芸員によるギャラリートーク（全4回）

日程：10月2日・16日・23日・30日 14:00～14:40

参加人数：合計130名

◎ベビーカー・ツアー

日程：10月4日・13日 11:00～

参加人数：5組 11名

◎「サラリーマジシャン内田伸哉トリック☆マジック・ショー」

日程：10月9日 14:00～15:30

参加人数：183名

◎「スペシャル・ギャラリートーク」盛本直美（岩手県立美術館学芸員）

10月10日 14:00～14:40

参加人数：45名

◎学芸員によるスライドレクチャー

11月3日 11:00～12:30

参加人数：55名

◎レストラン特別メニュー『岩手名物トリック膳』（延381食／フルメニュー900円、ヌードルとデザートのみの場合750円にて販売）

◎「ミュージアム・ニュース 82号」では福田繁雄展特集号として今回の広報物デザインを担当したグラフィックデザイナーの松下計氏インタビューを掲載、レストラン特別メニュー、関連グッズなども合わせて紹介した。

◎エントランスに立体作品2点を展示した。

◎福田繁雄ステッカー付「東日本大震災募金」を実施した。

◎企画展に先行してアートギャラリーで収蔵品による「福田繁雄と川崎市市民ミュージアム」展を実施した。観覧料無料／会期7月9日～10月10日



## 2011 川崎フロンターレ展「挑」

〔会 期〕12月10日～1月9日

〔入場者〕4,414人

〔主 催〕川崎市市民ミュージアム

〔共 催〕川崎フロンターレ、川崎フロンターレ後援会

〔観覧料〕一般 300円

学生・65歳以上 100円

中学生以下無料

〔開催趣旨〕

川崎市のクラブチームとしてJリーグ1部で活躍している川崎フロンターレの2011年度の試合と活動の記録を、写真や映像などで紹介し、チームと選手に関する貴重な資料とともに展示する展覧会。会期中には選手のトークショーや市民参加型のイベントを実施し、フロンターレの魅力を紹介した。

〔主な展示品〕

- 2011年度シーズンを振り返る写真（約200点）の展示とゴール集映像の上映
- 退団したジュニア選手の特設コーナー（写真、ユニフォーム等）
- フロンターレのユースチームの活躍を紹介するコーナー（トロフィー等）
- フロンターレが行った東日本大震災復興支援プロジェクトの記録・映像
- 漫画家との共同で実施した企画の展示「エコエコサマラク」（原作 エコエコアザラク 古賀新

一）、川崎浴場組合連合会との共同プロジェクト「テロマエフロマエ」（原作テルマエ・ロマエ ヤマザキマリ）

〔印刷物〕

チラシ：A4判

ポスター：B2判、B3判

〔関連イベント〕

◎選手トークショー（小林悠選手・楠神順平選手）

日程：12月18日

会場：逍遙展示空間

参加人数：160名

◎天野春果（川崎フロンターレサッカー事業部プロモーション部部长）トークショー

日程：12月23日

会場：逍遙展示空間

参加人数：165名

◎新成人記念撮影会

日程：1月9日

会場：企画展示室2

参加人数：54名

◎ガンプラ体験

日程：1月7日

会場：逍遙展示空間

参加人数：60名



## 昔のくらし 今のくらし 2012

〔会 期〕1月24日～4月1日

〔入場者〕10,220人

〔主 催〕川崎市市民ミュージアム

〔観覧料〕無料



牧山俊雄 [写真]

○ヤング大賞 自書告身

菊池明子 [中高生 (書)]

[印刷物]

募集要綱: A 4 判

チラシ: A 4 判

ポスター: B 2 判

入賞・入選作品集

案内葉書

[関連イベント]

◎表彰式

日時: 3月3日 13:00 ~

場所: 逍遥展示空間

参加人数: 120 人

◎講評

日時: 3月3日 14:00 ~

場所: 企画展示室 1

参加人数: 60 人

## 画の道八十年をたどる 結城天童回顧展

[会 期] 3月10日~3月25日

[入場者] 1,782 人

[主 催] 川崎市市民ミュージアム

[協 力] 大本山川崎大師平間寺

[観覧料] 無料

[開催趣旨]

日本画家結城天童は、大正2年(1913)に山形県村山市に生まれ、画家を目指して京都の小松均に師事、関西美術院でデッサンを学んだ後、青龍社に出品したのを機に上京して川端龍子に師事する。京都の伝統的な日本画を受け継ぎながら、川端龍子が日本画にもたらした鮮烈な表現を享受して独自の画風を見いだした。昭和41年に青龍社が解散すると、社人同志11名で東方美術協会を設立している。

昭和20年からは川崎市多摩区宿河原に画室をおき、昭和49年川崎市文化賞を受賞、昭和50年には川崎大師平間寺の障壁画などを描く。昭和55年に、代表作11点を川崎市に寄贈、以後、宿河原近隣の小学校、中学校などに作品を寄贈している。

本展覧会では、平成23年5月14日に98歳で亡くなった結城天童氏の回顧展として、川崎市で所蔵

する作品と川崎大師の障壁画を展示し、画家結城天童の画業を辿った。

[主な展示品]

○川崎大師平間寺 障壁画 16面

○「トマト畑の少女」

○「真珠養殖」など 32点

[印刷物]

チラシ: A 4 判

ポスター: B 3 判

[関連イベント]

◎展示解説(全3回)

参加人数: 45名

◎解説ボランティア 全12回(3回×4名)

ボランティア 4名

参加人数: 155名



## 2 アートギャラリー展示

### 岩合光昭どうぶつ写真展

#### 関連企画「いきもの写真展」

〔会 期〕 4月16日～6月26日  
〔会 場〕 アートギャラリー1・2  
〔観覧料〕 有料 企画展と共通  
一般 600円  
学生・65歳以上 400円  
中学生以下無料

#### 〔開催概要〕

企画展「岩合光昭どうぶつ写真展」の中の、「横浜動物園ズーラシア」22点の展示をアートギャラリー1で、「神奈川のネコ」37点の展示をアートギャラリー2で展示した。また、一般公募による「いきもの写真展」の展示をアートギャラリー1と2の間のスペースで展示した。(会期 4月16日～7月3日 観覧料は無料)。

### 幕末明治の浮世絵

〔会 期〕 4月16日～7月3日  
〔会 場〕 アートギャラリー3  
〔観覧料〕 無料  
〔開催概要〕

市内のコレクターから寄贈された作品の中から、幕末から明治という時代の移り変わりを描いた浮世絵作品を紹介した。

#### 〔主な出品作品〕

- 歌川国芳「英雄六歌撰」
- 小林清親「鹿児島事情」
- 「北條高時犬合戦之図」

#### 〔関連イベント〕

- ◎学芸員によるギャラリートーク  
日時：5月14日、6月11日 15:00～  
会場：アートギャラリー3

## シリーズ・日本のグラフィックデザイナー 福田繁雄と川崎市市民ミュージアム

〔会 期〕 7月9日～10月10日  
〔会 場〕 アートギャラリー1  
〔観覧料〕 無料  
〔開催概要〕

企画展「ユーモアのすすめ 福田繁雄大回顧展」に合わせ、福田繁雄と川崎市市民ミュージアムの関係に焦点をあて、当館のポスター・コレクションと関連資料を紹介した。

#### 〔主な出品作品〕

- 福田繁雄《川崎市民文化ギャラリー IBM 福田繁雄の遊 More 展》1983年
- 福田繁雄《福田繁雄の遊気百倍博》1988年

#### 〔関連イベント〕

- ◎学芸員によるギャラリートーク  
日時：8月20日 15:00～  
会場：アートギャラリー1

## 世界初の写真技法 ダゲレオタイプ 修復と表現

〔会 期〕 7月9日～10月10日  
〔会 場〕 アートギャラリー2  
〔観覧料〕 無料  
〔開催概要〕

展示は2コーナーで構成し、1つは当館所蔵のダゲレオタイプ“世界で最初に写された日本人の肖像”(1850年～51年に撮影)の写真修復家三木麻里による修復とレプリカ制作についての展示、もう一つは川崎出身若手写真家の新井卓のダゲレオタイプによる現代作品「Mirrors at Our Nights / 夜々の鏡 (よよのかがみ)」を展示した。

#### 〔主な出品作品〕

- 世界で初めて写真に写された日本人(ダゲレオタイプ) 原版  
新井卓・三木麻里制作 ダゲレオタイプ複製
- 新井卓「Mirrors at Our Nights / 夜々の鏡」  
ダゲレオタイプ新作

#### 〔関連イベント〕

- ◎写真古典技法ワークショップ  
①サイアノタイプ

日程：8月13日、9月3日 全2回

②バンダイクプリント

日程：8月14日、9月4日 全2回

講師：里 博文（大阪芸術大学准教授）

◎トークショー 三木麻里・新井卓対談

日時：7月16日 15:00～16:00

## シリーズ・川崎の美術 川崎の7人

〔会 期〕7月9日～10月10日

〔会 場〕アートギャラリー3

〔観覧料〕無料

〔開催概要〕

世代も作風もことなる7人の作家を取り上げ、川崎という地で結ばれた作家たちの作品を紹介した。

〔主な出品作品〕

- 水島健「踊りアレグリアス」
- 菅野功「自転車のある風景」
- 斎藤寿一「青い光」
- 鈴木俊輔「月が出た」
- 渡辺豊重「スプリング」
- 斎藤真紀「世界の果てまで連れてって」
- 岡本太郎「黒い太陽」

〔関連イベント〕

◎ワークショップ

「いろとかたち ひろがる つながる、ココロの世界を描いてみよう」

「いろとかたち 紙でつくるおもしろいかたちのしいかたち」

※38ページに記載

◎学芸員によるギャラリートーク

日時：9月10日 15:00～

会場：アートギャラリー3

## 岡本太郎生誕 100 年記念

### パパは漫画家 ー岡本一平とその芸術ー

〔会 期〕10月15日～1月9日

〔会 場〕アートギャラリー1

〔観覧料〕無料

〔開催概要〕

芸術家・岡本太郎の父、岡本一平は大正時代から

昭和初期にかけて、一世を風靡した人気漫画家である。この展覧会では岡本太郎生誕100年に合わせて、岡本一平が切り拓いた近代漫画の世界を息子である太郎が著書『一平 かの子』に書いた言葉とともに紹介した。一平の人物像はもとより、一平が生み出した「漫画漫文」スタイルの漫画作品、歌舞伎役者や政治家の似顔絵のシリーズ、水彩画、油彩画といった多彩な創作から、漫画文化の豊かなルーツを紹介した。

〔主な出品作品〕

- 『雅俗帖』、『新水也空』、『拾式カ月帖』、『人の一生』
- 自筆原稿、「一平自像」、「辻斬り」

〔関連イベント〕

◎学芸員によるギャラリートーク

日時：10月15日 15:00～

会場：アートギャラリー1

## 岡本太郎生誕 100 年記念

### 岡本家と大貫晶川～芸術一家のはじまり～

〔会 期〕10月15日～1月9日

〔会 場〕アートギャラリー2

〔観覧料〕無料

〔開催概要〕

芸術家・岡本太郎（1911～1996）は、父が大正時代から昭和初期にかけて一世を風靡した人気漫画家、岡本一平（1886～1948）、母が歌人・小説家の岡本かの子（1889～1939）である。本展では、岡本家の人々とともに、岡本かの子とその兄大貫晶川（1887～1912）の作品資料を紹介した。

〔主な出品作品・資料〕

- 雑誌『新思潮』明治43年～44年 新思潮社
- 岡本かの子『かろきねたみ』大正元年 青踏社
- 岡本一平『へぼ胡瓜』大正10年 大日本雄弁会

〔関連イベント〕

◎学芸員によるギャラリートーク

日時：10月15日 15:00～

会場：アートギャラリー1

## 中田和昭写真展 工都川崎と昭和のこどもたち

〔会 期〕10月15日～1月9日

〔会 場〕アートギャラリー3

〔観覧料〕無料

〔開催概要〕

故・中田和昭が、1960年代の川崎臨海部の子どもたちの姿や街並みを、いきいきと写しとった作品約50点を展示した。

〔主な出品作品〕

- 川崎区、幸区などで遊ぶ子どもたちを撮影した白黒写真 50点

## ラク描キセヨ ークリエイティヴユニット トーチカの軌跡

〔会 期〕2月4日～4月1日

〔会 場〕アートギャラリー1・2

〔観覧料〕無料

〔開催概要〕

テクノロジーと芸術の関係を再考する「メディアとアート」シリーズの第3弾。今回はデジタルカメラの長時間露出とコマ撮りの手法を組み合わせたアニメーション「PiKA PiKA」で高い評価を得ているクリエイティヴユニット、トーチカを紹介。作家の子供時代から、トーチカを結成し現在に至るまでの活動の軌跡を辿った。また、会期中に「PiKA PiKA」のワークショップを開催し、新作を制作して展示した。

〔主な出品作品〕

- 子供時代から学生時代までの初期作品・資料
- 《PiKA PiKA 2007》2007
- 《ピカピカ in ナニワ》2010
- 《PiKA PiKA あいちプロジェクト》2010
- 《ReBuild》2011

〔関連イベント〕

- ◎学芸員によるギャラリートーク

日時：3月17日 15:00～

会場：アートギャラリー3

- ◎トーチカ・ワークショップ「みんなでいっしょにラク描キセヨ!!!」

「少人数で少し難しい動きに挑戦しよう」

「大勢で一度にたくさんの絵をかこう」

制作した作品は、3月3日からアートギャラリーで展示した。

※39ページに記載

## アール・デコの女性と装飾

〔会 期〕2月4日～4月1日

〔会 場〕アートギャラリー3

〔観覧料〕無料

〔開催概要〕

当館所蔵のアール・デコ時代のポスターを「女性と装飾」というテーマで構成。1925年パリ装飾博覧会の貴重な告知用ポスターも紹介した。女性の社会進出に伴うファッションの変化や描かれる女性像の変遷の一端を辿った。

〔主な出品作品〕

- ロベール・ボンフィス《現代装飾・産業美術国際博覧会（青）》1925年
- シャルル・ジェスマール《ミスタンゲット》1928年

〔関連イベント〕

- ◎学芸員によるギャラリートーク

日時：2月18日 15:00～

会場：アートギャラリー3

### 3 博物館展示（考古、歴史、民俗）

#### 常設展示「博物館展示」

2007年（平成19年）4月から、時系列に沿って川崎市域の歴史と文化を紹介する展示場としてリニューアルオープンした博物館展示室は、「民俗」、「原始」、「古代」、「中世・近世1」、「近世2」、「文化財シアター」の6室で構成している。展示場の壁面に設置した大きな年表を参照しながら、それぞれの時代を特徴付ける展示資料を観覧できる。

また、展示資料も、現在の調査研究成果を踏まえたものに変更し、新収集品の積極的な公開にも努めている。

#### 第1室「民俗」

川崎市が商工業の発達とともに都市化への道を歩み始めた頃、多摩川沿いに広がる農村部では稲作を中心とした暮らしが営まれていた。民俗展示室では、そのような村の人々の日常生活、行事、信仰、生産活動を振り返り、どのような地域社会が形成されていったのか、往時の共同体意識・村意識について考察している。導入部に復元されている登戸台和地区の「セエノカミのオコモリ小屋」は、現在では見るができなくなっているもので、貴重な資料として展示している。

〔主な展示物〕

セエノカミのオコモリ小屋（多摩区登戸・台和地区）、的祭りの的・弓・矢（中原区・日枝神社、多摩区・子之神社）、平の初卯祭「蛇」（宮前区平・白幡八幡大神）、大山講御神酒杵箱、念仏講道具、講中の掛軸、宮内の雨乞い「ジャ・雷・蛙・オタマジャクシ」（中原区宮内）獅子頭（宮前区初山・菅生神社）、屋根替模型、稲作農具（唐箕、足踏式脱穀機など）等

#### 第2室「原始」

川崎に人類が住み始めた旧石器時代は、いわゆる氷河時代で、日本列島は大陸と南北でつながっていた。この時代、川崎にも小規模ながらいくつかの遺跡が確認されている。約13000年前頃から地球規模で温暖化が始まり、それとともに土器や弓矢が発明

された。縄文時代の始まりである。約1万年間つづいた縄文時代は、狩猟・採集に基礎をおきながら、後半は植物の管理・栽培も行われていた社会だ。川崎には最も古い段階から、縄文時代終焉までの集落や貝塚などの遺跡が豊富である。農耕が本格化する弥生時代は、集落を溝で囲む環壕集落が登場し、階級社会への歩みを始める時代。第2室では、こうした時代の資料を展示している。

なお平成23年度においては、第2室の縄文時代の展示全般に対して、展示資料の入れ替えなどリニューアルを行った。

〔主な展示物〕

旧石器時代資料（宮前区鷲ヶ峰遺跡）、貝塚出土資料（高津区子母口貝塚・新作貝塚）、貝層剥取り標本（子母口貝塚）、植物調理資料（多摩区No. 61遺跡）、草創期～晩期の土器・石器、弥生時代の土器・石器・ガラス製品等

#### 第3室「古代」

原始農耕社会が円熟してくると、人びとの地域的なまとまりが強くなり、階級が生じてくる。その一つの象徴が古墳である。特定の個人のために大きな墓を作る古墳時代は、川崎周辺では4世紀になって登場するようになった。その後6世紀後半になると古墳の築造が多くなり、崖面に横穴を掘り、これを古墳とする横穴墓も7世紀まで盛んに作られるようになる。しかし、律令国家・仏教思想の進展とともに、次第に古墳築造にかわり、寺院の建立や国衙・郡家の創設とその支配を受けるようになる。川崎の大部分は武蔵国橘樹郡（評）であり、影向寺と千年周辺が、橘樹郡の中心地となった。

〔主な展示物〕

幸区白山古墳出土品（複製）、埴輪（高津区久本山古墳・稲荷塚古墳）、横穴墓出土品（多摩区長者穴、麻生区早野など）、瓦（宮前区影向寺、麻生区岡上4遺跡、麻生区宮添）、骨蔵器（多摩区鷲ヶ沼）、橘樹郡家ジオラマ等（複製）

#### 第4室「中世・近世1」

古代律令国家が崩壊し、11世紀になると多くの土地が荘園・公領に編成される。川崎市域にも荘園・公領が確認されるが、ここでは中でも比較的伝来の

わかる稲毛荘に関わる資料を展示している。一方、戦国時代になると、川崎市域は小田原城を拠点とする北条氏の支配地となるが、北条氏の滅亡に伴い、徳川氏の領地となり、近世をむかえることとなる。近世の川崎市域は、江戸近郊に位置することもあり、大部分が幕府直轄領と、旗本の領地となった。しかし、平野部以外に臨海部、丘陵部、河川部など、その地理的条件により、村のくらしは異なっている。これら領主に関わる資料、人々の生業に関わる資料、平野部の耕作を支えた二ヶ領用水に関する資料を展示している。

〔主な展示物〕

多摩川流域絵図（複製）、稲毛本荘検注目録（複製）、鰐口（複製）、鎌倉将軍家寄進状（複製）、北条氏政判物（複製）、岡上村御縄打水帳、大師河原村塩浜耕地絵図（複製）、稲毛川崎二ヶ領用水絵図上流部・下流部（複製）、小杉・等々力地境争論裁許状（複製）等

#### 第5室「近世2」

江戸時代の川崎を代表する場所として、川崎宿があげられる。東海道の宿場である川崎宿には本陣や問屋場などの機能が備えられ、多くの人々が行き交った。また、江戸より川崎宿に入る手前には多摩川を渡る「六郷の渡し」があり、渡船場が設けられていた。これら街道に関わる資料のほか、幕末の動乱に巻き込まれてゆく、地域の様子が見える資料を展示している。

〔主な展示物〕

川崎宿ジオラマ、川崎宿問屋記録、宿方明細帳、万年屋模型、松平肥前守様御関札一件、横浜開港関係瓦版、外国人遊歩区域地図（複製）等

#### 第6室「文化財シアター」

川崎市と川崎市市民ミュージアムが制作した映像記録を上映するコーナー。2月4日から4月1日まで川崎の成立ちに関する特集展示を行なった。

## 4 マンスリー展示

2003年（平成15年）7月から、歴史民俗展示室第5室の一部にマンスリー展示のコーナーを設置。マンスリー展示では、毎月テーマを設定して収蔵品を中心に資料紹介をしている。また、毎月第3土曜日午後1時から学芸員によるマンスリートーク（展示解説）を開催している。

- |               |                         |
|---------------|-------------------------|
| 3月29日～4月24日   | 中世の郷 洪口郷地検目録            |
| 4月26日～5月27日   | 秀忠・江と川崎                 |
| 5月28日～7月1日    | 記念たばこの世界                |
| 7月2日～7月29日    | 劇団民藝公演ポスター              |
| 7月30日～9月2日    | 夏休みこどもマンスリー<br>お米作りの道具  |
| 9月3日～9月30日    | 川崎・砂糖物語                 |
| 10月1日～10月28日  | 綱下ヶ松参詣絵巻                |
| 10月29日～11月25日 | 久しぶりの公開です！<br>古筆手鑑「披香殿」 |
| 11月26日～12月28日 | 年貢納入～江戸時代の税金納入～         |
| 1月4日～2月17日    | 初春マンスリー 生活用具にみる吉祥文様     |
| 2月18日～4月1日    | 写された霊場～西国三十三観音・四国八十八ヶ所～ |

## 5 ミニ特別展示

平成22年度末に、川崎考古学研究所の資料が、川崎市市民ミュージアムに寄贈されたことを記念して、「梶ヶ谷神明社上遺跡」展を企画展示室2で実施した。会期は、4月29日から5月8日までの10日間とした。

## 6 ミュージアムライブラリー (映像)

3階のミュージアムライブラリーでは、所蔵しているフィルム及びビデオテープ（保存用のテープ）から著作権の複製許諾を得たものを公開している。

個人視聴ブース 10台、15インチの液晶テレビでDVDとVHSに対応している。

〔利用者数〕 1,447名

〔公開映像一覧〕

○牛山純一のテレビドキュメンタリー作品

〈ノンフィクション劇場〉シリーズ

〈すばらしい世界旅行〉シリーズ

〈20世紀アワー〉シリーズ

〈たのしい歴史旅行〉シリーズ

〈ナブ号の世界動物探検〉シリーズ

〈生きている人間旅行〉シリーズ

〈知られざる世界〉シリーズ

〈ドキュメント人生の劇場〉シリーズ

〈ナゾの海底探検〉シリーズ

〈ワールドスペシャル〉シリーズ

〈牛山純一の世界〉シリーズ

〈牛山純一と仲間たち〉シリーズ

〈スペシャル番組〉シリーズ

○日本ニュース映画（1940～1951）

○神奈川ニュース映画 市政ダイジェスト

○米国制作の戦争のドキュメンタリー

○祭りの記録映像

## 7 ミュージアムライブラリー (図書)

来館者の利用を主眼とした図書室で、約8万冊の書籍の閲覧が可能。また、下記の各分野に関する専門図書をコンピュータによって検索することもできるほか、一部の図書は開架式で自由に閲覧も可能である。各分野のおおよその蔵書数については以下のとおり。（2012年3月末現在）

〔利用者数〕 7,312名

〔蔵書総数〕 86,262冊

〔蔵書一覧〕

総記 3,219冊

歴史（資料集、縣市町村史他） 7,021冊

考古（発掘調査報告書他） 24,597冊

民俗 4,521冊

芸術 782冊

美術（入門書、全集、作品集、彫刻史、工芸史他） 1,500冊

グラフィック（作品集、広告関係他） 738冊

写真（作品集、展覧会図録、技法書他） 3,867冊

映画（解説、評論、シナリオ、技術書） 2,991冊

ビデオ 1,270冊

漫画（研究、評論、作品資料他） 2,838冊

文学（郷土作家作品集他） 439冊

自然科学（動植物、天体、自然調査報告書他） 256冊

博物館・美術館 20,249冊

川崎市市民ミュージアム 1,272冊

子供資料 311冊

洋書 1,628冊

雑誌 8,422冊

共通図書 341冊

## 8 映画上映

〔会場〕 映像ホール

〔主催〕 川崎市市民ミュージアム

〔入場者〕 12,072人

〔上映回数〕 206回

### ●シネマテーク・コレクション

#### 青春の物語

4月2日

12:30 - 転校生

15:00 - ヒポクラテスたち

4月3日

12:30 - 800 TWO LAP RUNNERS

15:00 - 海よお前が - 帆船日本丸の青春-

4月9日

12:30 - 第50回全国高校野球選手権大会 青春

15:00 - 挑戦

あるマラソンランナーの記録

4月10日

12:30 - あらかじめ失われた恋人たちよ

15:00 - 風の歌を聴け

4月16日

12:30 - 裸の十九才

15:00 - この青春

4月17日

12:30 - ガキ帝国

15:00 - 星空のマリオネット

### ●インドの映像詩人

#### G・アラヴィンダン

4月23日

12:30 - 黄昏

15:00 - オリダット・あるところで

4月24日

12:30 - 魔法使いのおじいさん

15:00 - 追われた人々

### ●司馬遼太郎 vs 吉川英治

4月29日

12:30 - 新選組血風録 近藤勇

15:00 - 風の武士

4月30日

12:30 - 暗殺

15:00 - 泥棒番付

5月1日

12:30 - 土方歳三 燃えよ剣

15:00 - 尻啖え孫市

5月3日

12:30 - 幕末

15:00 - 梟の城

5月4日

12:30 - 宮本武蔵

15:00 - 宮本武蔵 般若坂の決斗

5月5日

12:30 - 宮本武蔵 二刀流開眼

15:00 - 宮本武蔵 一乗寺の決斗

5月7日

12:30 - 宮本武蔵 巖流島の決斗

14:45 - トークショー

(天願大介・細野辰興)

5月8日

12:30 - 新平家物語 義仲をめぐる三人の女

15:00 - 新平家物語 静と義経

### ●アニメーション特集

#### 東映動画

5月14日

12:30 - こねこのらくがき

人のくらしの百万年 マニ・マニ・マーチ

あんじゅとずしおう

15:00 - 花のき村と盗人たち

おば捨て山の月

おじいさんのランプ

### ●シネマテーク・コレクション

#### 石井隆特集

5月21日

12:30 - 死んでもいい

15:00 - ヌードの夜

5月22日

12:30 - 天使のはらわた 赤い閃光

15:00 - 夜がまた来る

### ●シネマテーク・コレクション

#### ドキュメンタリー傑作選 vol.1

5月28日

12:30 - 牧野物語 養蚕編

15:00 - 虹をかける子どもたち

5月29日

12:30 - ゆきゆきて、神軍

15:00 - ユンボギの日記

彫る 棟方志功の世界

### ●映像の魔術師

#### フェデリコ・フェリーニ

6月4日

12:30 - 青春群像

15:00 - 8 1 / 2

6月5日

12:30 - 甘い生活

6月11日

12:30 - 崖

15:00 - 魂のジュリエッタ

6月12日

12:30 - 8 1 / 2

15:30 - 崖

6月18日  
12:30 - 甘い生活

6月19日  
12:30 - 魂のジュリエッタ  
15:30 - 青春群像

### ●シネマテーク・コレクション

#### レン・フィルムの輝き

6月25日  
12:30 - キツツキの頭は痛まない  
15:00 - 私はスターリンのボディガードだった

6月26日  
12:30 - 日陽はしづかに発酵し…  
15:30 - マリア

### ●シネマテーク・コレクション

#### カメラの前と後ろで

7月2日  
12:30 - 恋文  
15:00 - 遠い一本の道

7月3日  
12:30 - あやに愛しき  
15:00 - 慟哭

### ●太郎の愛した映画たち

7月9日  
12:30 - 世界は恐怖する 死の灰の正体  
15:00 - おとうと

7月10日  
12:30 - 誘惑  
15:00 - 日本脱出

7月16日  
12:30 - ウイークエンド  
14:30 - トークショー  
(岡本太郎美術館学芸員 吉田成志)  
15:30 - 裸の島

7月17日  
12:30 - おとうと  
15:00 - 宇宙人東京に現わる

7月18日  
12:30 - 日本脱出  
15:00 - ウイークエンド

7月23日  
12:30 - 裸の島  
15:00 - 世界は恐怖する 死の灰の正体

7月24日  
12:30 - 宇宙人東京に現わる  
15:00 - 誘惑

### ●特集上映

#### 奇才・実相寺昭雄

7月30日  
12:30 - 宵闇せまれば  
13:30 - トークショー  
(原知佐子・田村亮・清水紘治)  
15:00 - 無常

7月31日  
12:30 - 曼陀羅  
15:15 - 哥 オリジナル・ヴァージョン

8月6日  
12:30 - 歌麿・夢と知りせば  
15:30 - あさき夢みし

8月7日  
12:30 - いじめて、ください アリエッタ  
15:00 - 悪徳の栄え

8月13日  
12:30 - ウルトラマンをつくった男たち  
14:20 - トークショー  
(「ウルトラマン」制作に関わった方々)  
16:00 - ウルトラセブン  
第8話「狙われた街」  
ウルトラマンマックス  
第24話「狙われない街」

8月14日  
12:30 - 実相寺昭雄監督作品 ウルトラマン  
15:00 - 怪奇大作戦  
第4話「恐怖の電話」  
第25話「京都買います」

8月20日  
12:30 - 帝都物語  
14:45 - トークショー  
(嶋田久作・佐野史郎)  
16:00 - シルバー假面  
第1話 はなやしき

- 8月21日  
 12:30 - 屋根裏の散歩者  
 15:00 - 乱歩地獄
- 8月27日  
 12:30 - 春への憧れ  
 ユメ十夜 第一夜  
 東京幻夢  
 14:00 - オペラ「魔笛」
- 8月28日  
 12:30 - 肉眼夢記  
 14:15 - トークショー  
 (堀内正美)  
 15:30 - 姑獲鳥の夏
- 日活創立100年記念イベント  
 特集・日活サスペンス&「事件記者」
- 9月3日  
 12:30 - 夜の牙  
 15:00 - 事件記者
- 9月4日  
 12:30 - 影なき声  
 15:00 - 事件記者 真昼の恐怖
- 9月10日  
 12:30 - 死の十字路  
 15:00 - 事件記者 仮面の脅迫
- 9月11日  
 12:30 - ある脅迫  
 15:00 - 事件記者 姿なき狙撃者
- 9月17日  
 12:30 - 密航0ライン  
 15:00 - 事件記者 影なき男
- 9月18日  
 12:30 - 霧笛が俺を呼んでいる  
 15:00 - 事件記者 深夜の目撃者
- 9月19日  
 12:30 - 非情な銃弾  
 15:00 - 事件記者 時限爆弾  
 事件記者 狙われた十代
- 9月23日  
 12:30 - 青い街の狼  
 15:00 - 事件記者 拳銃貸します
- 9月24日  
 12:30 - 逃亡列車  
 15:00 - 事件記者 影なき侵入者
- 川崎の祭りと日本の伝統文化
- 9月25日  
 12:30 - 川崎大師の赤札  
 夏の御召服講  
 15:00 - 有明海の干潟魚  
 日本の稲作～そのころと伝統
- シネマテーク・コレクション  
 ATGの挑戦
- 10月1日  
 12:30 - 遠雷  
 15:00 - 九月の冗談クラブバンド
- 10月2日  
 12:00 - 絞殺  
 14:30 - 海潮音
- 10月8日  
 12:30 - 近頃なぜかチャールストン  
 15:00 - もう頬づえはつかない
- 10月10日  
 12:30 - T A T T O O <刺青>あり  
 15:00 - 生きてゐる小平次
- 10月15日  
 12:30 - 竜馬暗殺  
 15:15 - 原子力戦争 Lost Love
- 10月16日  
 12:30 - さらば箱舟  
 15:00 - 田園に死す
- 10月22日  
 12:00 - ツィゴイネルワイゼン  
 15:00 - 祭りの準備
- 10月23日  
 12:00 - ヒポクラテスたち  
 14:30 - ミスター・ミス・ミス・ロンリー
- 10月29日  
 12:30 - 蜜月  
 15:00 - 家族ゲーム
- 10月30日  
 12:30 - 逆噴射家族  
 15:00 - 郷愁

●親子上映会

第1部 シネマテーク・コレクション

11月3日

- 12:30 - 小さな五つのお話  
花ともぐら  
鬼がくれ山のソバの花
- 15:00 - あれはだれ?  
ふしぎなくすり  
日本むかしばなし さるかに

11月5日

- 12:30 - リスのパナシ  
水のたね  
南無一病息災

- 15:00 - ちからばし  
おこんじょうり  
モチモチの木

11月6日

- 12:30 - 二つのハーモニカ  
15:00 - ノーライフキング

●親子上映会

第2部 CON - CAN MOVIE FESTIVAL 提供  
ショートムービー傑作選

11月12日

- 12:30 - <世界の子どもたち>  
お預け  
出稼ぎチルドレン  
Walk With Her  
ライバル
- 15:00 - <アートにふれる>  
トレランス (寛容)  
イタズラ  
ダンサーとトラム  
バスと彼女の髪の花  
クラクション、OK、プリーズ!  
小さな魚

11月13日

- 12:30 - <世界のものがたり>  
わがままな巨人  
霧  
かかしの伝説  
キンシャサの呪術使い

- 15:00 - <奇想天外!?!>  
花火  
ボタン! ボタン! ボタン!  
捧身  
命の度合い  
面接試験  
小部屋  
深夜のマチネー  
マエストロ  
やられた!  
レモネード屋さん  
スピリット・チャイルド

●育児とクリエイティビティ

11月23日

- 11:50 - ジョン・レノン、ニューヨーク  
14:00 - トークショー (SABU監督)  
15:00 - うさぎドロップ

11月27日

- 12:30 - うさぎドロップ  
15:00 - ジョン・レノン、ニューヨーク

●坂本九生誕70年記念

映画の中の九ちゃん

12月10日

- 12:30 - 見上げてごらん夜の星を  
15:00 - 坊っちゃん

12月11日

- 12:30 - アワモリ君西へ行く  
14:00 - トークショー (佐藤利明)  
15:00 - 九ちゃん刀を抜いて

●川崎の物語

12月3日

- 12:30 - めぐりあい  
15:00 - 愛すればこそ

12月4日

- 12:30 - アッシイたちの街  
15:00 - 喜劇 駅前団地

12月17日

- 12:30 - 野良犬  
15:00 - この青春

12月18日  
13:30 - 愛と希望の街  
15:00 - ともだち

●川崎ゆかりの映画人 今村昌平

12月23日  
12:30 - 檜山節考  
15:15 - 西銀座駅前

12月24日  
12:30 - 人間蒸発  
15:00 - 豚と軍艦

12月25日  
12:15 - にっぽん昆虫記  
14:45 - 赤い橋の下のぬるい水

●新春特集 お正月映画

1月7日  
12:30 - ひばり・チエミの弥次喜多道中  
15:00 - 男はつらいよ 寅次郎恋歌

●「昔のくらし 今のくらし」展 関連上映

日本のおばあちゃん

1月8日  
12:30 - あゝ野麦峠

1月28日  
12:30 - 異母兄弟  
15:00 - どぶ

1月29日  
12:30 - 勲章  
15:00 - 母なれば女なれば

●ロシア映画特集

カネフスキー 3部作+レンフィルム

2月4日  
12:30 - ほくら、20世紀の子供たち  
15:00 - パッツァーニ

2月5日  
12:00 - 動くな、死ね、甦れ！  
14:00 - トークショー  
(稲川方人・藤原安紀子・土田環)

15:15 - ひとりで生きる

2月25日

12:30 - 海に出た夏の旅  
15:00 - 護送兵

●毎日映画コンクール表彰式 川崎開催記念

過去受賞作品アンコール上映

「歴代受賞作品特集」

2月11日  
12:00 - 悪人  
14:45 - 十三人の刺客  
2月12日  
12:00 - 箱根風雲録  
14:45 - 真昼の暗黒  
2月18日  
12:30 - にごりえ  
15:00 - 煙突の見える場所  
2月19日  
12:30 - ここに泉あり

特別企画「メディア芸術の原点を探る」

●「キカイ デ ミルコトー日本のビデオアートの先駆者たち」上映会

●トークショー「メディア芸術の原点を語る」

2月26日  
12:30 - キカイ デ ミルコトー日本のビデオアートの先駆者たち  
14:00 - トークショー  
(瀧健太郎・松本俊夫・阪本裕文)  
15:30 - キカイ デ ミルコトー日本のビデオアートの先駆者たち

●シネマテーク・プロジェクト 第4弾

フレデリック・ワイズマン選集

3月3日  
12:00 - 法と秩序  
14:00 - 少年裁判所  
3月4日  
12:30 - 福祉  
3月10日  
12:00 - 視覚障害  
14:30 - 多重障害  
3月11日  
11:00 - 適応と仕事

- 13:30 - 聴覚障害  
 3月17日  
 12:00 - ストア  
 14:30 - アスペン  
 3月18日  
 12:30 - 病院  
 15:00 - 競馬場  
 3月20日  
 12:30 - 基礎訓練  
 15:00 - 軍事演習  
 3月24日  
 12:30 - チチカット・フォーリーズ  
 15:00 - 高校  
 3月25日  
 12:30 - DV ドメスティック・バイオレンス  
 4月1日  
 12:30 - DV 2

#### 特別企画

#### ●活動弁士の語りによる無声映画鑑賞会

- 3月31日  
 13:30 - 血煙高田馬場〈短縮版〉  
 チャップリンの番頭  
 子寶騒動

## 9 ミニホール ビデオ上映

ミニホールはビデオ・DVDの上映ができる施設である。70インチのスクリーンにビデオプロジェクターで投影する。市民のホームシアターとして活用し、所蔵するビデオやDVDを定期的上映しながら、参加者と話しあい、学びあっていく活動を推進している。

〔利用者数〕2,104人

#### ◎テレビドキュメンタリー定期上映

日程：毎月第3土曜日 14:00～16:00

定員：当日 先着40名まで（無料）

1953年に日本テレビ放送網開局から1997年まで、生涯にわたって制作してきた牛山純一のテレビド

キュメンタリー作品と、1981年～2000年まで神奈川県と川崎市で主催した「地方の時代」映像祭参加作品から、テーマごとに定期上映を行った。

- 4月16日  
 自然界の掟 すばらしい世界旅行  
 『海底の野生の誕生 南太平洋』  
 『海底の野生の闘争 南太平洋』  
 ○5月21日  
 自然環境と野生動物 すばらしい世界旅行  
 『海ライオン愛の浜辺 パタゴニア1万キロ』  
 『母子ペンギン王国パタゴニア1万キロ』  
 ○6月18日  
 自然環境と海底生物 すばらしい世界旅行  
 『生きている化石 ガラパゴスの海底をゆく』  
 『赤道直下の不思議 ガラパゴスの海底をゆく』  
 ○7月16日  
 原子力発電所と放射性物質  
 『核と過疎 幌延町の選択』  
 『核汚染の原野 ソ連核実験場セミパラチンスクは今』  
 ○8月20日  
 原発事故  
 『チェルノブイリ原発事故 調査報告』  
 ○9月17日  
 原発と民主主義  
 『原発に映る民主主義 ～巻町民25年目の選択～』  
 ○10月15日  
 南ヨーロッパの生活と風土  
 (1) 牛山純一と仲間たち  
 『歌う下町っ子 南ヨーロッパ人間模様 恋のサンタルチア』  
 ○11月19日  
 南ヨーロッパの生活と風土 (2)  
 牛山純一と仲間たち  
 『日本娘ワイン村探検 南ヨーロッパ人間模様 ボジョレーワインの秘密』  
 ○12月17日  
 東アジアの民族  
 牛山純一と仲間たち  
 『東南アジア山の民 海の民』  
 ○1月21日  
 人間の原点 すばらしい世界旅行

『アマゾン裸族の一生 成人になるまで』

『アマゾン裸族の一生 成人から死まで』

○2月18日

野生動物の生命 すばらしい世界旅行

『肉食獣の一生 誕生からエモノを襲うまで』

『肉食獣の一生 サバンナの殺しあい』

○3月17日

地球環境の変化 知られざる世界

『環太平洋造山帯の謎 パシフィカ大陸仮説 (1)』

### ◎みんなでビデオを見る会

日程：毎月第4火曜日 10:30～・13:30～

定員：当日 先着順40名まで（無料）

所蔵ビデオを選んで解説して上映し、毎月1回、午前と午後に分けて上映した。

### ◎祭りのビデオ鑑賞会

定員：毎月第1土曜日 14:00～16:00

川崎市在住の内田長志から寄贈された、日本全国の祭りの映像の上映を毎月1回開催。月ごとに実施される全国の祭りとは、東北大地震と津波の被災地で行われる祭りを紹介した。

○4月2日

4月の祭り「弥生祭（栃木）」「やすらい花（京都）」  
「御嶽神楽大会（大分）」

○5月7日

5月の祭り「青柏祭の曳山行事（石川）」「毛越寺の曲水の宴（岩手）」他

○6月4日

6月の祭り「北海道神宮祭（北海道）」「高野山青葉まつり（和歌山）」他

○7月2日

東日本大震災被災地の祭り「御宝殿の稚児田楽（福島）」他

○7月9日

東日本大震災被災地の祭り「えんぶり（青森）」「黒森神楽（岩手）」他

○7月30日

東日本大震災被災地の祭り「雄勝法印神楽（宮城）」

「相馬野馬追（福島）」他

○8月6日

8月の祭り「桐生八木節祭り2009（群馬）」「徳山の盆踊（静岡）」他

○9月3日

9月の祭り「大原はだか祭（千葉）」「下平井の鳳凰の舞（東京）」他

○10月1日

10月の祭り「伊曾乃神社祭礼（愛媛）」「白髭神社祭礼（佐賀）」他

○11月5日

11月の祭り「蓮池の太刀踊り（高知）」「疫神社の唐子踊（岡山）」他

○12月3日

12月の祭り「銀鏡神楽（宮崎）」「奥能登のあえのこと（石川）」他

○1月7日

正月を寿ぐ祭り萬歳 「三河万歳（愛知）」「尾張萬歳（愛知）」他

○2月4日

雪の祭り「七日堂裸まいり（福島）」「雪祭（長野）」他

○3月3日

お雛さまの祭り「ビックひな祭り（徳島）」「ひな流しの神事（和歌山）」他

### ◎男女平等推進週間ビデオ上映

6月23日・24日・28日・29日 14:00～17:00

「現代日本のあゆみ 男女同権」40分

「ルイズ・その絆は」54分

男女平等推進週間にあわせ、男女における格差、差別、機会均等など、日本の歴史的な変遷から考えるための上映会を行った。

## 10 他団体の展示等

### ピンホールフォトフェスティバル 2011 in 川崎

会期：6月8日～6月12日

主催：ピンホール写真芸術学会 in 川崎実行委員会、  
ピンホール写真芸術学会

会場：ミュージアムギャラリー

### 第53回社団法人日本総合書芸院展

会期：7月6日～7月10日

主催：社団法人日本総合書芸院

会場：企画展示室2・ミュージアムギャラリー

### 公募写真展「第96回研展」

会期：10月8日～10月13日

主催：東京写真研究会

会場：企画展示室2

### MOA 美術館川崎市児童作品展

会期：10月21日～10月23日

主催：MOA 美術館川崎市児童作品展実行委員会

会場：企画展示室2

### 第34回日本きりえ美術展

会期：10月27日～11月2日

主催：日本きりえ協会

会場：企画展示室2

# 収集、整理、保存

## 1 収集

### (1) 考古担当

〔収集方針〕

川崎市域で発掘・発見された考古資料を中心に、周辺地域の関係資料の複製の収集を行っている。

〔寄贈資料〕

大野正之助氏寄贈資料 5点 (打製石斧・石鏃)  
山崎昌邦氏寄贈資料 10箱  
稗原No.4 遺跡表面採集資料 (土器・石器)

〔保管替え資料〕

東泉寺上遺跡 E 地点出土資料 7箱  
南谷一遺跡第2地点出土資料 1箱  
末長姿見台遺跡第3地点出土資料 3箱  
新作池ノ谷南遺跡出土資料 1箱  
末長久保台北遺跡第2次発掘調査出土資料 10箱  
川崎市末長向台遺跡第2地点出土資料 4箱  
生田長者穴横穴墓第5次発掘調査出土資料 1箱  
王禅寺入口遺跡出土遺物 1箱  
子母口植之台遺跡第6地点出土資料 3箱  
川崎市高津区桃之園遺跡第3地点出土資料 1箱  
川崎市高津区蓮乗院北遺跡出土資料 8箱  
黒川明坪遺跡出土資料 1箱

### (2) 歴史担当

〔収集方針〕

川崎市域史に関わる歴史資料、および川崎を描いた絵画資料(絵図類・錦絵など)、また都市生活資料を中心に収集活動を行っている。

〔寄贈資料〕

武笠伯太郎氏寄贈資料 一括(古文書)  
山口純弥氏寄贈資料 一括(戦災資料)  
廣澤正興氏寄贈資料 1点(古文書)  
大久保節子氏寄贈資料 一括(福助ミシン)

〔寄託資料〕

梶睦子氏寄託資料 一括(古文書)

〔購入資料〕

綱下ヶ松参詣絵巻 一卷  
北斎 東海道五十三次の内「川崎」 1点

貞秀 農家耕作之図 1点  
一景 六郷蒸気車鉄道之図 1点  
旧大師河原村和泉家古文書 一括

### (3) 民俗担当

〔収集方針〕

川崎市域に伝えられてきた民俗資料を中心に収集を行っている。

〔寄贈資料〕

都倉賢一氏寄贈資料 90点(食器棚、衣類等)  
金子忠雄氏寄贈資料 1点(ジューサー)  
金谷幹男氏寄贈資料 61点(大工道具)  
池田ハルミ氏寄贈資料 141点(小絵馬、玩具等)  
鹿島田念仏講中寄贈資料 13点(念仏講道具)  
荻島行雄氏寄贈資料 1点(お札額)  
山崎等氏氏寄贈資料 1点(石臼)  
大和田章三氏寄贈資料 1点(洗濯盥)

〔購入資料〕

『善庵随筆』 2冊揃

### (4) 美術・文芸担当

〔収集方針〕

川崎市にかかわる作家の作品、資料の収集を行っている。

〔購入作品〕

鈴木俊輔「月が出た」  
「そらのむこう」

〔寄贈作品〕

斎藤真紀「世界の果てまで連れてって」2009年  
菅野功「鉄橋のある風景」1988年  
「石榴とビンのある静物」2004年  
「ビンとストーブのある風景」  
「卓上の静物」2004年  
「足場」  
「埠頭滞船」1985年  
「自転車のある風景」1990年  
スケッチ一式  
菅野久太郎「戦後復興のシンボル」1965年

### (5) グラフィック担当

〔収集方針〕

ポスターと現代版画、および関連資料の収集を

行っている。ポスターでは特に、印刷技術の発達により多色刷り・大判のポスター製作が可能になった19世紀から20世紀前半までのフランスを中心とするヨーロッパのポスターと、現代日本の優れたグラフィックデザイナーのポスター収集に力を入れている。版画ではポップ・アートを中心に収集している。

〔購入資料〕

宇野亜喜良ポスター 10点  
「異形としての身体」1998/1999年 シルクスクリーン  
「さよならの城」2002年 オフセット  
「星の王子さま」2008年 オフセット  
「桜姫」2009年 オフセット  
「宇田川心中」2009年 オフセット  
「ベンガルの虎」2009年 オフセット  
「銀座界隈ガヤガヤ青春ショー」2009年 オフセット  
「イソップ物語」2010年 オフセット  
「青ひげ公の城」2010年 オフセット  
「佐倉義民傳」2010年 オフセット

## (6) 写真担当

〔収集方針〕

国内外の重要なドキュメンタリー作品の収集ならびに写真史の上で貴重な作品資料の収集を行っている。

〔購入資料〕

岩波写真文庫 全286冊  
PHOTO JAPON 全36冊  
芸術写真研究 全175冊

〔寄贈資料〕

ボイド・ハーネル「ケネディの写真」  
ジョルジュ・ルース「アルル 1986」

## (7) 漫画担当

〔収集方針〕

日本漫画史を通観できる作品・資料、日本と相互影響関係にある外国漫画資料を収集している。

〔購入資料〕

近藤聡乃「Kiyakiya」ビデオ、6分39秒、2010-2011年

## (8) 映画担当

〔収集方針〕

独立プロダクションの作品の収集を基本としてい

る。23年度の収集は行っていない。

## (9) ビデオ担当

〔収集方針〕

20世紀の記録・表現として時代・社会及び文化を反映する貴重な映像を収集することを基本方針とし、また、川崎市域を記録した8mmフィルム等の収集調査を行った。

## 2 整理、保存、修復

### (1) 考古担当

〔整理〕

平成23年度収集資料の受け入れに伴い、ひきつづき考古資料のデータベース入力作業を行った。主な作業対象は、川崎考古学研究所旧蔵資料であった。

〔保存・修復〕

高津区平瀬川隧道西横穴墓出土大刀 3振  
土橋第六天遺跡出土土器 3点  
巳ノ谷遺跡出土土器 1点  
鷲沼遺跡出土土器 4点  
新林遺跡出土土器 1点

### (2) 歴史担当

〔整理〕

平成22年度に引き続き、収蔵古文書の再整理を行うと共に、データベースの入力作業を進めた。なかでも梶ヶ谷村・田村家文書については大量のため複数年にわたって再整理を行っている。

〔保存・修復〕

江戸時代の絵図類の修復・裏打ち 9点

### (3) 民俗担当

〔整理〕

平成23年度収集資料の受け入れに伴い、資料のクリーニング、注記、撮影、資料カード作成を実施した。ひきつづき、民俗資料のデータベース入力作業を行った。

〔保存・修復〕

資料燻蒸 3回  
掛軸の修復 7点

写本「河伯水虎川大良録」補修 1冊

#### (4) 美術・文芸担当

〔整理〕

企画展「結城天童回顧展」、アートギャラリー展「幕末明治の浮世絵」「川崎の7人」「岡本一家と大貫晶川」の関連作品、資料の整理を行った。

〔保存・修復〕

展示作品、および版画のマット装

#### (5) グラフィック担当

〔整理〕

福田繁雄作品整理、データ修正 約 30 件

永井一正作品整理、データ修正 約 400 件

中村誠作品整理 約 20 件

ルウ・ドーフスマン 作品カード作成 約 150 件

向秀男作品 データ修正 約 1800 件

〔保存・修復〕

新着資料燻蒸

第7収蔵庫作品状態調査

#### (6) 写真担当

〔整理〕

平成22年度に寄贈された故・中田和昭氏が撮影した写真を整理し、「写真展 工都川崎と昭和のこどもたち」として展示した。

#### (7) 漫画担当

〔整理〕

平成22年度に、江戸時代から昭和初期にかけての収蔵作品・資料の記録写真を撮影し、基本データをファイリングソフトで作成した。23年度は更にそのデータの誤った記述の修正と、不十分な部分の補完を一部行った。また清水崑資料、富田英三資料約2000件のデータ化を行い、未整理であった宍戸左行資料約150件の特定作業に着手、うち8割程度を特定した。一方で、雑誌・単行本資料の整理と、データ整備を引き続き行った。

〔保存・修復〕

資料燻蒸2回

#### (8) 映画担当

〔整理・保存・修復〕

台本や映画製作関連資料など、実相寺昭雄関連寄贈資料の整理。

劇団民芸公演記録のデジタル化作業。

#### (9) ビデオ担当

〔整理〕

スタジオの機材を保存するものを残して廃棄、整理を行った。牛山純一のカセットテープのCD化をすすめる、寄贈作品600点をDVDに変換した。

### 3 収蔵品の貸出、他館への協力

#### (1) 考古担当

〔貸出資料 4件 1093点〕

○黒川No.10遺跡、下原遺跡、岡上遺跡、宮添遺跡出土品ほか1029点

(川崎市立柿生中学校)

○南原遺跡出土資料49点

(川崎市立南原小学校)

○梶ヶ谷神明社上遺跡出土資料9点

(川崎市教育委員会文化財課)

○神庭遺跡出土玉類6点

(横浜市歴史博物館)

〔特別利用 11件 1369点〕

#### 熟覧・撮影

○下原遺跡出土土器600点 (個人)

○下原遺跡第2号住居跡出土土器600点 (個人)

○寺尾台廃堂跡出土瓦100点 (個人)

○小松原遺跡出土資料一式 (個人)

#### 原版使用

○子母口貝塚、西福寺古墳、馬絹古墳写真4点  
(川崎市立梶ヶ谷小学校)

○梶ヶ谷神明社上遺跡6点  
(川崎市立梶ヶ谷小学校)

○『弥生の食展』掲載写真2点  
(株式会社同成社)

○久地西前田横穴墓群5号墓出土象嵌大刀、久本横穴墓群A3号墓出土象嵌大刀2点 (個人)

○考古学叢書4『下原遺跡』掲載写真52点 (個人)

- 稚児の松、鷺沼遺跡住居跡 2 点  
(宮前区役所地域振興課)
- 久地西前田横穴墓 1 点  
(川崎市立高津小学校)

## (2) 歴史担当

[資料貸出 5 件 36 点]

- 小林政利寿像複製 1 点  
(日野市郷土資料館「真慈悲寺と百草観音堂」展)
- 御台場設計図ほか 11 点  
(品川区立歴史館「品川御台場」展)
- 白黒テレビほか 15 点  
(鉄道博物館「タイムスリップ」展)
- 古筆手鑑 1 点 (土浦市立博物館「土屋政直」展)
- 川崎監視硝記録簿ほか 8 点  
(川崎市平和館「川崎大空襲記録」展)

[特別利用 18 件 51 点]

### 原版使用

- 子母口貝塚、西福寺古墳、馬絹古墳写真 4 点  
(川崎市立梶ヶ谷小学校)
- 梶ヶ谷神明社上遺跡 6 点  
(川崎市立梶ヶ谷小学校)
- 『弥生の食展』掲載写真 2 点  
(株式会社同成社)
- 久地西前田横穴墓群 5 号墓出土象嵌大刀、久本横穴墓群 A 3 号墓出土象嵌大刀 2 点  
(個人)
- 考古学叢書 4『下原遺跡』掲載写真 52 点  
(個人)
- 稚児の松、鷺沼遺跡住居跡 2 点  
(宮前区役所地域振興課)
- 久地西前田横穴墓 1 点  
(川崎市立高津小学校)

### 撮影

- 御台場設計図ほか 20 点 (品川区立品川歴史館)  
熟覧
- 平川家文書マイクロ本 (個人)
- 森家文書ほか 8 点 (個人)
- 森家文書 26 点 (個人)
- 森家文書 3 点 (個人)
- 民間省要 1 点 (個人)
- 原家文書 3 点 (個人)

- 古筆手鑑 1 点 (個人)

## (3) 民俗担当

[資料貸出 7 件 60 点]

- カゴ・アバリほか 33 点 (神奈川県立歴史博物館)
- クルリボウ 2 点 (相模原市立博物館)
- 箱膳他 3 点 (戸田市立郷土博物館)
- 道祖神藁人形ほか 13 点 (武蔵野美術大学)
- 水虎之図ほか 2 点 (茨城県立歴史館)
- 昭和 30 年代生活資料等 6 点 (鉄道博物館)
- 「妖怪絵巻」1 点 (石神井公園ふるさと文化館)

[特別利用 19 件 102 点]

### 原版使用 (14 件 67 点)

- 水虎之図 1 点 (新人物往来社)
- 水虎之図 1 点 (フォルスタッフ)
- 竹製民具 20 点 (神奈川県立歴史博物館)
- 灯り画像 10 点 (山形県立博物館)
- 昔の洗濯用具 2 点 (川崎市立宮内小学校)
- 水虎之図 1 点 (博宣インターナショナル)
- 水虎之図 1 点 (テレビ大阪)
- 道祖神藁人形他 4 点 (武蔵野美術大学)
- 「妖怪絵巻」より 11 点 (石神井公園ふるさと文化館)
- 『絵本百物語』1 点 (エヌ・アンド・エス企画)
- 宮内の雨乞い籠 1 点 (中原区役所企画課)
- 昔の道具 9 点 (川崎市立高津小学校)
- 影向寺絵馬 1 点 (宮前区役所)
- 昔の道具 5 点 (フレーベル館)

### 熟覧 (2 件 6 点)

- 箱膳、切溜 3 点 (戸田市立郷土博物館)
- 「川崎漁業協同組合設立関係書類」3 冊 (個人)

### 撮影 (3 件 29 点)

- 竹製民具 13 点 (神奈川県立歴史博物館)
- 昔の道具 15 点 (川崎市立新城小学校)
- 昭和 30 年代の茶の間 1 点 (フレーベル館)

## (4) 美術・文芸担当

[資料貸出 5 件 71 点]

- 久保一雄 油彩画 5 点 スケッチ 40 点、デッサン 7 点 (「久保一雄展」東御市梅野記念館)
- 岡本太郎「坐ることを拒否する椅子」2 点 (高津市民館)
- 安田鞞彦「法隆寺金堂壁画」模写 2 点 (女子美)

術大学美術館)

- 久保一雄「ひめゆりの塔」スケッチ8点、「赤い陣羽織」5点(東京国立フィルムセンター「香川京子展」)
  - 久保一雄「人情紙風船」スケッチ1点、「鶴八鶴次郎」1点(世田谷文学館「都市から郊外へ」)
- [特別利用 10件 11点]

#### 原版使用 (8件 9点)

- 安田鞞彦「神農」他1点(株藝華書院)
- 「皇室御団欒御真景」(株ベストセラーズ)
- 「皇室御団欒御真景」(株ローリング)
- 安田鞞彦「草薙の剣」(株小学館)
- 「皇室御団欒御真景」(株ローリング)
- 岡村政子「婦人像」(株ぶよう堂)
- 「西郷隆盛霊幽冥奉書」(テレコムスタッフ(株))
- 岡村政子「婦人像」(個人 研究論文)

#### 熟覧 (2件 2点)

- 久保一雄「ひめゆりの塔スケッチ」一式(東京国立フィルムセンター)
- 「仙女図」(個人)

### (5) グラフィック担当

[資料貸出 3件 39点]

- 「世紀末、美のかたち」展 6点(府中市美術館)
- 「宇野亜喜良とアール・ヌーヴォーの作家たち」展 29点(ミューザ川崎)
- 「日本の映画ポスター芸術」展 4点(東京国立近代美術館フィルムセンター)

[特別利用 12件 22点]

原版使用 12件 22点

### (6) 写真担当

[資料貸出 3件 99点]

- 田村彰英作品 42点(中京大学)
- 田村彰英作品 42点(東京都写真美術館)
- 柴田敏雄作品 15点(新美術館)

#### 原版使用

- ダゲレオタイプ1点(エスティフ)
- ダゲレオタイプ2点(UDO)
- 「NIPPON」「上海」対外宣伝雑誌2点(岡本太郎美術館)
- 昭和30年代から40年代の川崎市内撮影写真50点(アゼリア)

- 昭和30年代から40年代の川崎市内撮影写真8点(幸市民館)
- 昭和30年代から40年代の川崎市内撮影写真40点(市民こども局)
- 昭和30年代から40年代の川崎市内撮影写真1点(高津区役所企画課)
- 昭和30年代から40年代の川崎市内撮影写真35点(川崎区)
- 昭和30年代から40年代の川崎市内撮影写真50点(川崎市港湾局)

### (7) 漫画担当

[資料貸出 4件 900点]

- 横山裕一原画 723点(三菱地所アルティウム「横山裕一展 きみはネオ漫画をみたか」)
- 横山裕一原画 160点(京阪電車なにわ橋駅アートエリアビーワン運営委員会「鉄道芸術祭 Vol.2」)
- 鳥山石燕『画図百鬼夜行』、安川素絢斎『狂画苑』ほか6点(茨城県立歴史館「妖怪見聞」展)
- 歌川国芳「化物忠臣蔵」、歌川芳員「新板化物づくし」ほか11点(練馬区立石神井公園ふるさと文化館「江戸の妖怪」展)

[特別利用 23件 276点]

#### 熟覧

- 化物忠臣蔵 ほか11点(練馬区立石神井公園ふるさと文化館)
- 明治ポンチ本 11点(個人)
- 漫画少年、立体漫画 13点(個人)
- 東京パック、バクショー 102点(川崎市岡本太郎美術館)

#### 撮影

- 化物忠臣蔵 9点(練馬区立石神井公園ふるさと文化館)
- 東京パック、バクショー 102点(川崎市岡本太郎美術館)

#### 原版使用

- 飛頭蛮1点(株正進社)
- 幽霊 ほか4点(株徳間書店)
- 名磨行 1点(株三省堂)
- ぬらりひょん 1点(株集英社)
- 化物共子供つくし、新板化物つくし 2点(練馬区立石神井公園ふるさと文化館)

- 二・二六事件の風刺画 1点 (福井県中教研社会科部会)
- 軍靴に踏みつぶされる議会政治 1点 (株帝国書院)
- 村山知義「人形まだまだあります」 1点 (神奈川県立近代美術館)
- Changing Ginza 1点 (MFA Boston)
- Changing Ginza 1点 (MIT Visualizing Cultures)
- 鳴屋 1点 (株エヌ・アンド・エス企画)
- 社交界に出入りする紳士淑女 1点 (株式会社山川出版社)
- 画図百鬼夜行 8点 (株青幻舎)
- 池上競馬場 1点 (株中央競馬ピーアール・センター)
- 漱石山人 1点 (東京都新宿区)
- ビゴー風刺画 1点 (特定非営利活動法人 著作権利用等に係る教育NPO)
- ガゼル号騒動 1点 (社団法人OAGドイツ東洋文化研究協会)

## (8) 映画担当

[特別利用 4件 5点]

### 原版使用

- 「河 あの裏切りが重く」(パリ日本文化会館での企画上映)
- 「悪意の眼」(日仏学院/東京・横浜)
- 「ソビエト・エレジー」「モスクワ・エレジー」「ヴィオラソナタ・ショスタコヴィッチ」(〈フィルム傑作選ソクーロフ〉での上映)

## (9) 映像 (ビデオ) 担当

[特別利用 3件 3点]

### 熟覧

- 35ミリ映画ポジ・フィルム「平和記念都市ひろしま」(毎日新聞社社会部)
- 35ミリ映画ポジ・フィルム「平和記念都市ひろしま」(毎日新聞社論説室)

### 撮影

- テレビシリーズ「ウルトラQ」台本「キリがない」(株角川書店)

# 調査研究

## 1 調査研究

### (1) 考古担当

平成23年度は鶴見大学との共同研究「川崎市市民ミュージアムにおける収蔵品の文化財科学的調査研究」を実施した。考古担当分野では、鉄器の保存科学的調査研究のための保存処理を行った。また、川崎考古学研究所の旧蔵資料を精査した。

### (2) 歴史担当

企画展において展示した慶長19年清沢村御縄打水帳が寄贈されたことから、本文を活字化し高札を加えた資料紹介を紀要に掲載した。また、多摩区菅に残る古代寺院寺尾台廢堂（八角円堂）に関連して、奈良時代の八角円堂がある奈良県栄山寺や興福寺で調査を行った。

### (3) 民俗担当

昨年度に続き、鶴見大学との共同研究「川崎市市民ミュージアムにおける収蔵品の文化財科学的調査研究」を実施した。所蔵資料の千歯抜き30点について、木製台座部分の赤外線写真撮影を実施し、千歯抜きに墨書されている文字データを集積した。

### (4) 美術・文芸担当

企画展「画の道八十年をたどる 結城天童回顧展」、アートギャラリー展「幕末明治の浮世絵」「川崎の7人」「岡本一家と大貫晶川」に関わる調査を行った。また、石渡風古については、平成22年に寄贈された作品、資料をもとに紀要にまとめた。

### (5) グラフィック担当

企画展「ユーモアのすすめ 福田繁雄大回顧展」に際し福田繁雄の文献調査を行い、経歴や作品について展覧会内容に反映させ、展覧会図録にも執筆した（平井直子「もうひとつのユニバーサルティ：福田繁雄のグラフィックデザインについて」）。「アール・デコの女性と装飾」展に際しては、アール・

デコ博覧会における出品作の調査を行った。また、収蔵作品の状態調査を行い、現代版画、アール・ヌーヴォー作品、マガジカバーの額の内部の状況等を調査した。

### (6) 写真担当

村岡写真館（幸区）の古写真調査。遺族の方への聞き取り及び、現存資料の調査を行った。

### (7) 漫画担当

資料整理に関連して、宍戸左行資料特定のため調査を行い、その結果、8割方の資料が特定された。また、幕末から明治にかけて出版された風刺画の社会背景を解説する調査にも着手し、約15件の版画作品に関して内容が判明した。並行して、開館25周年に合わせて行われる予定の現代美術展に関する作家作品調査を行った。

### (8) 映像（ビデオ）担当

東京大学情報学環との共同研究で、牛山純一が演出した「ベトナム海兵大隊戦記第一部」について、後に総集編として制作された「南ベトナム海兵大隊戦記（総集編）」から、当時の制作技法及び放送後の反響について討議した。また、村木良彦氏の資料について大分類項目を立て、東京放送時代、70年代、80年代、90年代、2000年、年代不明に分けて、書類の調査を行った。

## 2 出版

### (1) 『川崎市市民ミュージアム紀要第24集』

川崎市市民ミュージアム紀要は、考古・歴史・民俗・美術文芸・グラフィック・写真・漫画・映画・ビデオ及び施設運営・管理などに関する論文・資料紹介・研究ノートから構成し、ミュージアム職員の日頃の調査研究の成果を発表したものである。

〔内容〕

- 資料紹介 川崎の農機具メーカー「細王舎工場」が発行した農業雑誌『みのり』 高橋典子
- 石渡風古 生涯と画業 佐藤美子

- 動画のデジタルアーカイブからの研究 ～日本のニュース映画のデジタルアーカイブ～ 濱崎好治・戎子卿
- 史料紹介 慶長十八年清沢村御縄打水帳について 望月一樹・根本佐智子
- 川崎の漢方医 岡家の医学 深瀬泰旦

〔仕様〕

B 5 判 78 ページ

〔発行〕

平成 24 年 3 月 31 日発行 1,000 部

## (2) 『川崎市市民ミュージアム収蔵品目録 民俗資料 第 4 集』

川崎市市民ミュージアムの所蔵する民俗資料 12000 点のうち、1998 年～2004 年度にかけて収集された資料の目録を刊行した。

〔仕様〕

A 4 版 120 ページ

〔発行〕

平成 24 年 3 月 30 日発行 500 部

## (3) 『嘘の色 本当の色 脚本家 荒井晴彦の仕事』

川崎市市民ミュージアムで 2008 年に開催した特集上映「脚本家 荒井晴彦」の関連イベントとして行ったトーク・セッションの再録を中心に論考・エッセイなどを収め刊行した。

〔仕様〕

A 5 版 324 ページ

〔発行〕

平成 24 年 3 月 31 日発行 1000 部

# 職員の派遣

## (1) 博物館

- 4月1日～(通年) 国際常民文化研究機構 共同研究への派遣(民俗担当)
- 5月11日「柳田國男と社会科教育」川崎市立小学校社会科教育研究会 研修会(民俗担当)
- 7月9日「川崎の考古学について」「輝け☆明日の先生の会」総合教育センター・カリキュラムセンター研修会(考古担当)
- 8月12日「学ぼう・語ろう・残そう・多摩の文化財 ニヶ領用水展と博物館の舞台裏を見学」多摩市民館 市民自主学級(歴史・民俗担当)
- 9月16日「古文書と古地図でみる多摩」多摩市民館 市民自主学級(歴史担当)
- 9月17日「等覚院と不動めぐり」宮前市民館 菅生分館 市民自主学級(民俗担当)
- 9月29日「近世村人の年中行事」宮前市民館 市民自主学級(歴史担当)
- 10月5日「麦わら細工を作ろう」教育文化会館大師分館(民俗担当)
- 10月7日「横浜開港と岡上」麻生市民館岡上分館 市民自主学級(歴史担当)
- 10月18日「稲毛三郎について」高津市民館 市民自主学級(歴史担当)
- 10月29日「川崎の縄文時代について」川崎市立川中島小学校教員研修(考古担当)
- 11月4日「殿さまの借金」麻生市民館岡上分館 市民自主学級(歴史担当)
- 11月6日「発掘資料から見た調布飛行場の戦中・戦後」「明大キャンパスの戦争遺跡」展記念講演会 調布市郷土博物館・明治大学主催(考古担当)
- 11月15日「ニヶ領用水の今と昔」中原区役所 魅力発信事業(歴史担当)
- 11月22日「川崎の年中行事 暮らしの移り変わりを一年の行事から見る」談話会「多摩21 紀会」
- 11月25日「ニヶ領用水について」神奈川県学校事務主幹会(歴史担当)
- 12月2日「村の相互扶助と屋根替え」麻生市民館岡上分館 市民自主学級「岡上で地域学」(民俗担当)
- 12月2日「学ぼう・語ろう・残そう・多摩の文化財 多摩区の遺跡1」多摩市民館 市民自主学級(考古担当)
- 12月3日「中原区の文化財見学」中原市民館 市民自主学級(歴史担当)
- 12月9日「学ぼう・語ろう・残そう・多摩の文化財 多摩区の遺跡2」多摩市民館 市民自主学級(考古担当)
- 2月3日「東光院一件」麻生市民館岡上分館 市民自主学級(歴史担当)
- 2月4日「なかはらの社寺を知ろう」中原市民館 市民自主学級(歴史担当)

## (2) 美術館

- 4月14日～3月15日(第3木曜日) 全12回、友の会企画「映像で学ぶ昭和史」講師(映像担当)
- 4月15日～7月15日(毎週金) 全12回 かわさき市民アカデミー前期「テレビ時代の到来とマスコミの影響力」、10月7日～1月27日(毎週金) 全12回 かわさき市民アカデミー後期「写真の歴史と写真の見かた」カリキュラム企画委員(映像担当)
- 7月22日～8月15日「川崎市市民ミュージアム・コレクションによる 宇野重喜良とアール・ヌーヴォーの作家たち」展のキュレーション/8月2日ギャラリートーク 於・ミューザ川崎シンフォニーホール(グラフィック担当)
- 11月21日、12月5日、12月19日、2012年1月16日、1月30日 各日とも13:30～15:30 西洋美術講座 於・多摩老人福祉センター(グラフィック担当)
- 「犬塚勉展」(9月7日～26日 日本橋高島屋 1月6日～23日 京都高島屋 主催：NHKプロモーション)の展示監修(美術文芸担当)
- 3月8日 東京国立近代美術館収集購入委員会(写真担当)

# 教育、普及

## 1 教育普及

学校や地域との連携を図るとともに、市民ミュージアムを身近に感じ活用してもらえよう事業を展開する。また、子育て支援事業としてのママカフェの実施やボランティア活動の組織化、及びその拡充を図る中でボランティアスタッフと共に事業を推進している。

### (1) スクールプログラム

市民ミュージアムの特性を活かし、市内の小・中・高等学校の児童生徒を対象とし、学校での学習单元や社会体験に沿ったプログラムを学校等の教育機関と市民ミュージアム（教育普及担当と学芸室）が協働して実施するプログラムである。

#### ◎社会科教育推進事業

川崎市の公私立小学校4年生を対象に、江戸時代に作られた二ヶ領用水の歴史と役割、当時の生活について学ぶプログラムである。各学校への参加希望調査と年間の日程を調整し、学校と市民ミュージアム間の送迎を行った。

○講師：教育普及担当

○参加校 94校(2校キャンセル) / 113校(83%)

○地区別参加

川崎区 18校 / 20校 (90%)

幸区 13校 / 13校 (100%)

中原区 16校 / 18校 (89%)

高津区 14校 / 15校 (93%)

宮前区 5校 / 17校 (88%)

多摩区 10校 / 14校 (71%)

麻生区 8校 / 16校 (50%)

○参加人数：10,151名

(児童9,633名 引率教員518名)

○バス借上げ：195台

○期間：6月9日～2月3日(67日間)

場所：ガイダンスルーム、逍遙展示空間、博物館展示室

#### ◎博物館・美術館・総合学習プログラム

民俗・考古、歴史の常設展示、企画展示を学芸

員が解説する。アートギャラリー展、企画展を学芸員の解説を聞きながら鑑賞した。

日程：通年

場所：企画展示室1・2

対象：小学生～大学生

講師：担当学芸員

参加人数：1,054名 20校

#### ◎出張プログラム

学芸員が学校に出向いて出張授業を行う。

対象：市内の小中学校

講師：担当学芸員

参加人数：375名 6校

#### ◎職業体験

博物館についてのガイダンス、館内見学、学芸員の仕事、ショップ・受付監視などを体験する。

対象：市内の中学2年生

講師：教育普及担当、担当学芸員

参加人数：148名 21校

#### ◎学校連携展覧会

○第60回 川崎市中学校理科作品展

主催：川崎市教育委員会、川崎市立中学校教育研究会理科部会、川崎市市民ミュージアム

会期：9月17日～9月25日

場所：ミュージアムギャラリー

参加人数：1,283名

○第54回 創造する子ども展

主催：川崎市教育委員会、川崎市造形教育連合会、川崎市市民ミュージアム

会期：11月12日～11月23日

場所：企画展示室2

参加人数：4,497名

○第48回 川崎市教職員研究美術展

主催：川崎市教育委員会、川崎市造形教育連合会、川崎市市民ミュージアム

会期：11月12日～11月23日

場所：ミュージアムギャラリー

参加人数：100名

○第45回 川崎市立中学校造形展

主催：川崎市教育委員会、川崎市立中学校教

育研究会美術部会、川崎市市民ミュージアム

会期：11月29日～12月6日

場所：企画展示室2

参加人数：1,779名

- 第31回 川崎市立中学校技術・家庭科作品展  
主催：川崎市教育委員会、川崎市中学校教育研究会技術・家庭科部会、川崎市市民ミュージアム

会期：2月4日～2月12日

場所：ミュージアムギャラリー

参加人数：740名

### ◎大学連携

大学など専門的な高等教育機関と連携し、学生が活躍する場を提供する。

- 横浜国立大学の教育人間科学部美術教育ゼミナールが開発したアートツールを使用した造形ワークショップを開催した。

日程：11月12日

場所：逍遥展示空間

対象：子ども

講師：横浜国立大学教育人間科学部美術教育ゼミナール

参加人数：178名

## (2) 子育て支援

### ◎「ママカフェ」

幼いころから博物館・美術館に足を運び、文化に親しみを持てるような場を提供する。子育て中の親同士が気軽に集まり、情報を提供・収集する場として活用された。

日程：第1・第3木曜日

場所：市民ミュージアムレストラン「3104」

対象：乳幼児～未就学児の親子5席20組

見守りのボランティアスタッフ：7名

参加人数：親子212組 436名

### ◎「ベビーカーツアー」

乳幼児がいる保護者の来館を促し、幼児が文化芸術に触れる機会を作ることとしている。要約した展示解説と親子で自由見学できるワーク

シートを用意し実施した。

日程：通年、企画展ごと6回実施

場所：企画展示室1・2

対象：乳幼児～未就学児の親子

見守りのボランティアスタッフ：7名

参加人数：親子25組 51名

## (3) ミュージアムプログラム

ミュージアムの収蔵品や展示、研究内容を反映した様々なプログラムを実施し、広く市民に還元する普及活動を行った。

### ◎ミュージアム歴史たんけん隊

大山街道を歩き、史跡を訪ねながら川崎から大山までを散策した。

講師：担当学芸員

参加料：1000円（4回通し）

- 第8回 伊勢原-大山ケーブル駅

日程：4月17日（3月13日の振替）

参加人数：16名

- 第9回 大山ケーブル駅-大山阿夫利神社下社

日程：5月29日

参加人数：16名

- 第10回 大山阿夫利神社下社-大山阿夫利神社上社登山

日程：9月25日

参加人数：9名

- 第11回 たんけん隊活動のまとめ

日程：10月8日

参加人数：9名

### ◎ミュージアム歴史講座

川崎のホットな話題や歴史・民俗に関する話を最前線で研究している講師を招き講座を開催した。

場所：特別資料室

参加料：各回200円

- 第13回「古代瓦にみる府中と川崎」

日程：5月14日

講師：府中市郷土の森博物館 深澤靖幸

参加人数：18名

- 第14回「多摩川中・下流域の古墳」

日程：7月17日

講師：八王子市郷土資料館 紺野英二

参加人数：25名

○第15回「六郷用水400年」

日程：9月18日

講師：大田区立郷土博物館 北村敏

参加人数：66名

○第16回「二ヶ領用水竣工400年」

日程：11月20日

講師：NPO法人多摩川エコミュージアム代表  
理事 長島保

参加人数：37名

○第17回「中世江戸内湾の交通と交易」

日程：2月19日

講師：品川区立品川歴史館 副館長 柘植信行

参加人数：21名

○第18回「登戸研究所の歴史」

日程：3月18日

講師：明治大学教授 山田朗

参加人数：28名

◎ミュージアム歴史散策

区画整理に伴い、かつての道が次第に失われつつある津久井道の社寺や史跡をめぐった。

日程：10月23日

講師：担当学芸員

参加人数：19名

参加料：500円

◎バスツアー

○「アクアラインで行く 房総の古墳めぐり」

川崎市内では観ることの出来ない、富津市の古墳群や、木更津市郷土博物館、重要文化財である金鈴塚古墳出土品を見学する機会を提供した。

日程：5月22日

講師：担当学芸員

参加料：4000円

参加人数：35名

○「小泉次大夫の故郷をたずねて」

二ヶ領用水竣工400年にあわせて、工事の陣頭指揮をとった代官小泉次大夫の故郷である静岡県富士宮市と富士市を訪ねる。参加者には小泉の故郷をとおして歴史を学ぶことを目的とした。

日程：11月6日

講師：担当学芸員

参加料：4000円

参加人数：25名

◎おやこ歴史散策

二ヶ領用水を宿河原堰堤から円筒分水まで、学芸員に史跡等の解説を受けながら散策した。

日程：8月28日

対象：親子連れ

講師：担当学芸員

参加料：200円

参加人数：15名

◎古文書講座

はじめての古文書を読む人のための入門講座。くずし字の解説、古文書特有の表現など古文書の魅力を分かりやすく紹介した。

日程：5回連続

第1回 2月25日「古代 六国史と出土文字資料」

第2回 3月3日「中世 承久3年関東下知状」

第3回 3月10日「中世 虎の印判状」

第4回 3月17日「近世 小杉御殿由緒書」

第5回 3月24日「近世 百姓の困窮～門訴一件～」

場所：第2研修室

講師：担当学芸員

参加料：2500円（5回通し）

参加人数：17名

◎遺跡めぐり

市内の遺跡を訪れ、その歴史を学ぶ館外講座。

講師：担当学芸員

参加料：500円

○「調布・三鷹の遺跡を歩く」

日程：7月31日

参加人数：15名

○「夢見ヶ崎～加瀬台古墳群と国宝秋草文壺出土地を歩く～」

日程：3月4日

参加人数：17名

### ◎リトグラフ版画講座

制作体験を通してリトグラフが出来上がる過程を理解するとともに、制作する楽しさを体験できる講座を実施した。

日程：7月3日・10日

場所：アトリエ、体験学習室

講師：版画家 一瀬幸信

参加料：3,000円

参加人数：9名

### ◎シリーズ・川崎の美術「川崎の7人」展関連ワークショップ

#### ○出展作家による子ども向けワークショップ

「いろとかたち ひろがる、つながる、ココロの世界を描いてみよう」

日程：10月2日

場所：逍遙展示空間

講師：画家 鈴木俊輔

参加料：200円

参加人数：26名

#### ○出展作家による子ども向けワークショップ

「いろとかたち 紙でつくるおもしろいかたち・たのしいかたち」

日程：10月9日

場所：逍遙展示空間

講師：美術作家 斎藤真紀

参加料：200円

参加人数：30名

### ◎夏休み子どもミュージアム

対象：子ども、親子連れ

参加料：すべて無料

#### ○「ミニ絵巻物マシーンで色彩の旅へでかけよう」

日程：7月27日・29日

場所：逍遙展示空間

講師：美術作家 松本力

参加人数：90名

#### ○「くるくる動くアニメを作ろう」

日程：7月28日

場所：逍遙展示空間

講師：担当学芸員

参加人数：28名

#### ○「巨大なカメラに入ってみよう」

日程：7月30日

場所：逍遙展示空間

講師：担当学芸員

参加人数：80名

#### ○「紙版画をつくろう」

日程：7月31日

場所：逍遙展示空間

講師：担当学芸員

参加人数：28名

#### ○「あかりの実験室」

日程：8月6日

場所：研修室1、ローディング

講師：担当学芸員

参加人数：13名

### ◎美術造形ワークショップ

作品制作を通して表現する楽しみを感じとることを目的とした造形ワークショップを実施した。

場所：体験学習室

対象：障害のある・なしに関わらず小中学生

講師：芸術造形研究所 西田まや

参加料：500円

#### ○「清流を描く」

日程：5月29日

参加人数：6名

#### ○「コラグラフ・プリント」

日程：7月16日

参加人数：3名

#### ○「空を飛ぶ人」

日程：9月17日

参加人数：3名

#### ○「秋の野菜を描く - 里芋 -」

日程：11月23日

参加人数：11名

### ◎映像子ども向けワークショップ

#### ○「おえかき+えいぞう」

「キットパス」という特殊なクレヨンを使い、映像ホールのガラスをキャンバスに絵を描いた。また、その様子を撮影し、その場で編集・加工した後、映像の上映と合わせた身体パ

パフォーマンスを鑑賞するワークショップを実施した。

協力：Art Kawasaki 2011、日本理化学工業

日程：11月19日、20日

場所：映像ホール

対象：幼児から大人まで

講師：映像美術作家 ヒゲマ春夫、美術家  
関直美、ダンサー 木村愛子

参加人数：172名

### ◎アートギャラリー出展作家によるワークショップ

懐中電灯などを使って、動画を作るワークショップ「みんなでいっしょにラク描キセヨ！！」

「少人数で少し難しい動きに挑戦しよう」

2月25日 13:00～16:00

「大勢で一度にたくさんの絵をかこう」

2月25日 17:00～19:00

場所：逍遥展示空間

講師：映像作家 トーチカ

参加人数：81名

### ◎ミュージアムたんけんツアー

ミュージアム施設と普段は見られないバックヤードを巡り、ミュージアムの仕事、役割や機能を紹介するツアーを行った。

日程：3月25日

場所：ガイダンスルーム、収蔵庫

講師：教育普及担当、担当学芸員

参加料：100円

参加人数：19人

### ◎福祉プログラム

文化芸術に携わる機会の少ない人々に収蔵品を活用し、コミュニケーションの誘発や造形の愉しみを開発するプログラム試行した。

#### ○「高齢者福祉プログラム」

アートギャラリーの展示を鑑賞するプログラムを実施した。

日程：9月28日

場所：アートギャラリー、研修室1

対象：認知症とその家族および介護者

講師：アーツアライブ代表理事 林容子

参加人数：9名、見学者8名

#### ○「障害者福祉プログラム」

特別支援学級の中学生を対象に学校では使用しない素材を用い、造形の楽しみを伝えるワークショップを実施した。（協力 川崎市宮内中学校）

日程：1月31日

場所：体験学習室

対象：特別支援学級生徒

講師：芸術研究所 西田まや

参加人数：川崎市宮内中学校特別支援学級生徒9名、見学者4名

## (5) さまざまな団体と新たな連携

### ◎おやじ de ミュージアム

川崎市内の市民グループ「おやじ連」がミュージアムに集まり、竹細工や自然素材を使った工作、昔ながらの遊びを体験できる屋台を出店し、子どもから大人まで誰でも参加できるワークショップを実施した。

日程：7月23日

場所：逍遥展示空間

対象：子ども

講師参加者：おやじ考、虹ヶ丘おやじの会、いたか、しらはた21、ま・いい会、おいでよ会から27名

参加人数：137名

### ◎お正月 de ミュージアム

企画展「昔の暮らし 今の暮らし」のプレイベントとして、川崎市内の市民グループ「おやじ連」がミュージアムに集まり、お正月の遊びや昔ながらの遊びの体験や工作ができるイベントを実施した。

日程：1月9日

場所：逍遥展示空間

講師参加者：16名

参加人数：141名

## (6) ボランティア活動

ミュージアムとの協働により、ミュージアムの事業をサポートするとともに、ボランティアが主体となる自主活動を企画し実施する。

### ◎見学サポート

主にスクールプログラムで来館する児童の見学時のサポート。

活動参加人数：191名（登録者数35名）

### ◎イベントサポート

企画展のイベント、ワークショップや講座等のサポート。

活動参加人数：100名（登録者数47名）

### ◎チャイルドサポート

ママカフェ、ベビーカートツアーの補助。

活動参加人数：46名（登録者数7名）

### ◎展示ガイド（博物館部門）

博物館展示室の常設の収蔵品についてのガイド。

活動参加人数：28名（登録者数6名）

### ◎企画・運営

平成22年4月に発足し、ボランティア主体の活動を企画・運営を行っている。（登録者数6名）

- ボランティア規約作成
- ボランティア総会の実施
- 23年度に本格実施した博物館部門の展示ガイドに続き、美術館部門のガイド立ち上げ、試行を実施、平成24年4月から本格実施する。
- 収蔵品に関連した体験コーナーを実施するワークショップグループを立ち上げ、試行を実施した。既に、実施実績のある親子上映会と体験コーナーワークショップを実施するグループとして、平成24年4月から本格実施する。

### ◎ボランティア募集

11月に展示ガイド（博物館部門）を募集2名登録。学芸員による博物館部門常設展示の解説等、研修を実施。新規のワークショップグループ、展示ガイド（美術館部門）については、既存ボランティ

アが兼任で試行実施した。

ボランティアスタッフ登録人数63名（平成24年3月31日現在）

## 2 実習生の受け入れ

### (1) 博物館担当

◎館内実習 8月23日～9月3日

- 日本大学 1名
- 日本女子大学 1名
- 法政大学 1名
- 昭和女子大学 1名
- 一橋大学 1名
- 専修大学 1名
- 立教大学 1名
- 千葉大学 1名

### (2) 美術館担当

◎館内実習 7月20日～7月31日

- 東京造形大学 1名
- 和光大学 1名
- 立命館大学 1名
- 武蔵野美術大学 1名

## 3 イベント

市民ミュージアムの来館者が気軽に参加したり、楽しんだりできるイベントを館中央にある逍遥展示空間などで開催している。2003年（平成15年）からスタートした若者をターゲットにしたイベント「カワサキ・ティーンズ・プロジェクト」を開催したほか、企画展と連動したイベントの実施等、市民ミュージアムの活動をより広い層に紹介するイベントを行っている。

### ◎カワサキ・ティーンズ・プロジェクト 2012 「つながるインスタレーション」

10代がアートで自分を表現し、人と関わり、つながっていく楽しみを体験するイベント。写真や16mmフィルムを使ったワークショップを通して、アーティストと参加者が共同で映像インスタレーション作品を制作し発表した。

日時：1月7日～2月19日  
作家：村上なほ（映像作家・多摩美術大学講師・  
NPO 法人プリズムスケープフィルム代表）  
料金：無料  
会場：ガイダンスルーム  
入場者数：120名

### ◎プロムナードコンサート

来館者が展示を鑑賞する合間に気軽に楽しんでもらうコンサート。出演者は公募している。

#### ○亀山薫

日時：5月8日 13:30～14:00 / 15:00～15:30  
会場：逍遙展示空間  
出演：亀山薫（ピアノ）  
料金：無料  
入場者数：220名

#### ○実相寺昭雄と音楽

日時：8月28日 13:00～13:40 / 15:00～15:40  
会場：逍遙展示空間  
出演：勝郁子（ピアノ）、萩原潤（バリトン）、  
栗林瑛利子（ソプラノ）  
料金：無料  
入場者数：240名

#### ○瀬川香織、宍戸陽子

日時：11月13日 13:30～14:00 / 15:00～15:30  
会場：逍遙展示空間  
出演：瀬川香織（サクソフォーン）、  
宍戸陽子（サクソフォーン）  
料金：無料  
入場者数：240名

#### ○トリニテ クリスマスライブ

日時：12月11日 13:30～14:00 / 15:00～15:30  
会場：逍遙展示空間  
出演：shezoo（ピアノ）、壺井彰久（ヴァイ  
オリン）、小森慶子（クラリネット）、  
岡部洋一（パーカッション）  
料金：無料  
入場者数：260名

#### ○鼓緒太、川村葵山、菅野大雅

日時：1月8日 13:30～14:00 / 15:00～15:30  
会場：逍遙展示空間  
出演：鼓緒太（ピアノ）、川村葵山（尺八）、

菅野大雅（チェロ）

料金：無料

入場者数：290名

#### ○洗足学園音楽大学延原正生ゼミ

日時：3月25日 13:30～15:30  
会場：逍遙展示空間  
出演：洗足学園音楽大学 延原正生ゼミ  
料金：無料  
入場者数：200名

#### ◎新成人記念撮影会

新成人を撮影し、その場で写真をプレゼントする撮影会を実施した。

日時：1月9日 10:00～16:00  
会場：企画展示室2前  
料金：無料  
参加人数：54名

#### ◎「昔の暮らし 今の暮らし」展関連イベント

##### 桂米多朗落語会

企画展「昔の暮らし 今の暮らし」展に関連して、桂米多朗による落語講演会を行った。

日時：2月4日  
会場：映像ホール  
出演：桂米多朗  
料金：無料  
参加人数：114名

#### ◎「昔の暮らし 今の暮らし」展関連イベント

##### ニット制作ワークショップ毛糸で編んで暖かく！

「昔の暮らし 今の暮らし」展の一部である囲炉裏を再現したスペースで、ハイパーニットクリエイター力石咲さんを講師に招き、ニットの防寒グッズを作成するワークショップを開催した。

日時：3月17日 10:30～12:00/13:00～15:30  
会場：企画展示室2  
講師：力石咲  
料金：無料  
参加人数：25名

#### ◎活動写真弁士の語りによる無声映画鑑賞会

特別企画として大正から昭和にかけて親しまれ

た上映スタイルである、活動弁士の語りによる無声映画の鑑賞会を行った。

日時：3月31日 13:30～

会場：映像ホール

出演：活動写真弁士 片岡一郎

料金：大人 600 円、学生・シニア 500 円、小中学生 400 円

参加人数：91 名

## 4 広報活動

市民ミュージアムの活動を市民の方々に理解していただくため、また、市民ミュージアムで開催される催し物をより多くの人に認知していただき来館していただくための活動を行っている。

### (1) 定期刊行物の作成と配布

下記の刊行物を市内の市民館、図書館、文化施設、情報プラザ、学校関係等および市外の類似施設、マスコミ関係等に配布した。

○市民ミュージアムニュース（年2回）

A4判／8ページ／7,000部発行

○市民ミュージアムカレンダー（年6回）

524×297mm／15,000部発行

### (2) マスコミへの情報提供

新聞・雑誌・テレビなどのマスコミで紹介されることによる広報効果は非常に大きく、各種媒体との継続的で良好な関係を維持することは重要である。市民ミュージアムでのさまざまな企画事業を紹介するため、300～350社に対して継続的にプレスリリースを行っている

### (3) 企画展等の広報

各種企画事業のうち、企画展や企画上映など規模の大きな事業に関しては、3ヶ月程前から広報計画を立て、各担当者と協力して広報活動を行っている。

ポスター、チラシの配布先も事業の内容に合わせて、その都度調整している。それぞれの事業に関しては、各種媒体に掲載された記事を整理し、報告書を作成し、以後の事業の展開および効果的な広報活

動の実施に役立てている。

## (4) ホームページの作成

当館ホームページを利用して迅速に情報を発信するため、館内での更新作業が可能な部分を増やすよう改築を進めている。

その他に、川崎市と連携した広報活動や、館内外の広報掲示板の管理を行う等、地域に根ざした広報を心がけている。

## 5 友の会

友の会は、市民ミュージアムの事業に協力し、地域の文化・芸術の振興を図る団体で、企画部、総務部、広報部、5つの学習部会で構成されている。

23年度は、友の会と市民ミュージアムの協力関係をより充実すべく、友の会会長をはじめ友の会役員と市民ミュージアムの職員とで作業部会を設置し、課題や今後のあり方について検討を重ねている。

現在、個人会員 98 名、賛助会員 1 名（平成 24 年 3 月 31 日現在）。

### (1) 会議

◎総会

日程：5月21日（土）

場所：ガイダンスルーム

議案：平成 22 年度活動報告と収支決算報告並びに経営監査報告、平成 23 年度活動計画など

◎役員会

例会：毎月第 4 土曜日

場所：活動普及室

出席者：会長・副会長・会計・総務部・企画部・広報部・学習部会の続日本記講読・古文書講読・写真・映像・版画の代表者

### (3) 活動報告

◎企画部

友の会主催の企画展解説、ビデオ鑑賞会の企画・開催をはじめ、他館見学や歩いて学ぶ会の見学先との調整などを担っている。

◎広報部

会報「友の会」を年 2 回、および月刊「友の会

だより」の発行している。

◎総務部

友の会会員の募集、発送を含むPR業務、会員の更新案内、会員証の発行などの庶務事項一般を担当している。

#### (4) 学習部会

◎歴史部会「続日本紀」を読む会

例会日：毎月第3金曜日

場 所：第2研修室

会 員：16名

内 容：講読会「続日本紀」講読、7月29日（金）  
宮前区野川影向寺 視察、2月17日（金）茨城  
県土浦市博物館 視察

◎歴史部会「古文書」を読む会

例会日：毎月第4水曜日

場 所：活動普及室

会 員：10名

内 容：4月～6月 「御蔵記」幸区下平間村  
成川家文書 講読、7月～11月 NHK 学園「古  
文書を読む」、12月～3月 王禅寺 志村家文  
書のうち火付盗賊、夜盗書上帳

◎写真部会

例会日：毎月第2日曜日

場 所：活動普及室

内 容：会員が撮影した作品の鑑賞、情報交換、  
写真展見学、撮影会の開催

◎映像部会

例会日：第3木曜日

会 場：ミニホール

内 容：「映像で学ぶ昭和史」など、ビデオ観  
賞会の企画・開催

◎版画部会

例会日：毎週土曜日に制作活動

会 場：アトリエ

内 容：シルクスクリーン版画と銅版画の製作、  
外部の教育機関、福祉施設での版画指導

# 資料

## 川崎市市民ミュージアム条例

昭和 62 年 12 月 22 日  
条例第 45 号

(目的及び設置)

第 1 条 考古、歴史、民俗、美術、映像等に関する資料及び作品について収集、展示、調査研究等を行うこと等により、市民の観覧、学習、研究等に資するとともに市民相互の交流を推進し、もって市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、川崎市市民ミュージアム（以下「市民ミュージアム」という。）を設置する。

(位置)

第 2 条 市民ミュージアムの位置は、川崎市中原区等々力 1 番 2 号とする。

(事業)

第 3 条 市民ミュージアムは、おおむね次の事業を行う。

- (1) 考古、歴史、民俗、絵画、工芸、漫画、写真、ポスター、映像等に係る実物、複製、模型等の資料及び作品（以下「資料等」という。）の収集、保管、展示等を行うこと。
- (2) 資料等に関する講座、講演会、映写会、研究会等を開催すること。
- (3) 資料等に関する説明及び助言を行うこと。
- (4) 市民の文化活動の助長、奨励及び指導を行うこと。
- (5) 資料等に関する専門的及び技術的な調査研究並びに解説書、目録、年報、調査研究報告書等の作成及び頒布を行うこと。
- (6) 博物館、図書館、学校、研究所その他の関係機関と協力し、刊行物及び情報の交換、資料等の相互貸借等を行うこと。
- (7) 施設及び設備（以下「施設等」という。）を利用に供すること。

(職員)

第 4 条 市民ミュージアムに館長その他必要な職員を置く。

(利用時間及び休館日)

第 5 条 市民ミュージアムの利用時間及び休館日は、次のとおりとする。ただし、市長は、必要と

認めるときは、利用時間を変更し、又は臨時に開館し、若しくは休館することができる。

利用時間	午前 9 時 30 分から午後 5 時まで
休館日	(1) 月曜日（国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日（以下「休日」という。）を除く。） (2) 休日の翌日（土曜日、日曜日及び休日を除く。） (3) 12 月 29 日から翌年の 1 月 3 日までの日（前 2 号に掲げる日を除く。）

(観覧料)

第 6 条 市民ミュージアムが行う企画展（以下「企画展」という。）の展示会場へ入場しようとする者は、別表第 1 に定める観覧料を納付しなければならない。

(特別利用)

第 7 条 資料等について熟覧、模写、模造、拓本、撮影及び原板使用（以下「特別利用」という。）をしようとする者は、市長の許可を受けなければならない。

2 前項の許可を受けた者は、別表第 2 に定める区分に応じ同表に定める特別利用料を納付しなければならない。

3 前項の特別利用料は、許可と同時に納付しなければならない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

4 市長は、第 1 項の許可を受けた者がその条件に違反したとき、又は違反するおそれがあるとき、その他市長が管理上支障があると認めるときは、当該許可を取り消し、又は特別利用を制限し、若しくは停止することができる。

(施設等の利用許可)

第 8 条 別表第 3 に掲げる市民ミュージアムの施設等を利用しようとする者は、市長の許可を受けなければならない。

(施設等の使用料)

第 9 条 前条の許可を受けた者（以下「施設等利用者」という。）は、別表第 3 に定める使用料を納付しなければならない。

2 前項の使用料は、前納とする。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(施設等の利用許可の制限)

第10条 市長は、管理上支障があるとき、その他施設等の利用を不相当であると認めるときは、第8条の許可をしない。

(施設等の利用許可の取消し等)

第11条 市長は、施設等利用者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、第8条の許可を取り消し、又は施設等の利用を制限し、若しくは停止することができる。

- (1) 利用の目的に反したとき。
- (2) 秩序を乱し、他人の迷惑となる行為をしたとき。
- (3) 偽りその他不正な行為により許可を受けたとき。
- (4) 災害その他の事故により利用できなくなったとき。
- (5) 工事その他市の事業の執行上やむを得ない理由により利用できなくなったとき。
- (6) 前各号に定めるもののほか、この条例又はこれに基づく規則に違反したとき。

(施設等の変更禁止)

第12条 施設等利用者は、施設等を利用する場合において、これを模様替えし、又はこれに特別の設備を付設してはならない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(施設等の利用権の譲渡等の禁止)

第13条 施設等利用者は、施設等を利用する権利を第三者に譲渡し、又は転貸してはならない。

(原状回復)

第14条 施設等利用者は、施設等の利用を終了し、又は第8条の許可を取り消され、若しくは施設等の利用を制限され、若しくは停止されたときは、直ちにその施設等を原状に回復し、又は返還しなければならない。

(取消し等による損害の責任)

第15条 市は、第11条第5号に該当する場合を除き、第8条の許可の取消し又は施設等の利用の制限若しくは停止によって、施設等利用者に生じた損害については、その責めを負わない。

(受講料及び入場料)

第16条 市長は、第3条第2号に規定する事業を行うに当たっては、受講料及び入場料を徴収することができる。

2 前項の受講料及び入場料の額は、市長がその都度定める。

(観覧料等の減免)

第17条 市長は、特に必要があると認めるときは、第6条に規定する観覧料、第7条第2項に規定する特別利用料及び第9条第1項に規定する使用料(以下「観覧料等」という。)を減額し、又は免除することができる。

(観覧料等の還付)

第18条 既納の観覧料等は、還付しない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

(入館等の制限)

第19条 市長は、他人の迷惑となるおそれのある者その他管理上支障があると認められる者については、入館を断り、又は退館させることができる。

(損害の賠償)

第20条 資料等又は施設等を損傷し、又は滅失させた者は、市長の指示に従いこれらを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長がやむを得ない理由があると認めるときは、賠償額を減額し、又は免除することができる。

(協議会)

第21条 市民ミュージアムの円滑な運営を図るため、市民ミュージアムに川崎市市民ミュージアム協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会は、市民ミュージアムの運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べるものとする。

3 協議会は、委員10人以内をもって組織する。

4 委員は、学校教育及び社会教育の関係者、学識経験を有する者並びに市民のうちから、市長が委嘱し、又は任命する。

5 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

6 委員は、再任されることができる。

7 前各項に定めるもののほか、協議会の組織及び運営に関し必要な事項は、市長が定める。

(委任)

第22条 この条例の施行について必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例の施行期日は、市長が定める。(昭和63年10月7日規則第85号で昭和63年11月1日から施行)

附 則 (平成6年10月7日条例第30号)

この条例は、平成6年10月17日から施行する。

附 則（平成12年12月21日条例第78号）

この条例は、平成13年4月1日から施行する。

附 則（平成17年9月30日条例第87号）

この条例は、平成18年4月1日から施行する。

附 則（平成18年6月28日条例第53号）

この条例は、平成18年10月1日から施行する。

ただし、第5条及び別表第1の改正規定並びに別表第2の次に1表を加える改正規定（展示室及び逍遥展示空間に係る部分に限る。）は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成21年12月24日条例第47号抄）  
（施行期日）

1 この条例は、平成22年4月1日から施行する。

（川崎市スポーツ振興審議会条例等の一部改正に伴う経過措置）

12 この条例の施行の日（以下「施行日」という。）前に教育委員会が行った処分その他の行為で、施行日においてこの条例の附則の規定による改正後の次に掲げる条例の規定により当該行為を行うべきものが市長となるものは、施行日以後においては、市長が行った処分その他の行為とみなす。

（1）川崎市スポーツ振興審議会条例

（2）川崎市とどろきアリーナ条例

（3）川崎市体育館条例

（4）川崎市スポーツセンター条例

（5）川崎市武道館条例

（6）川崎市市民ミュージアム条例

（7）川崎市岡本太郎美術館条例

（8）川崎市大山街道ふるさと館条例

別表第1（第6条関係）

1 普通観覧料

企画展の観覧料は、1人につき2,000円の範囲内で市長が企画展ごとに定める。

2 共通利用券

種 別	金 額
100円券12枚つづり	1,000円
100円券25枚つづり	2,000円

備考 共通利用券は、次に掲げる施設の入場等に利用することができる。ただし、当該各施設への団体（20人以上をいう。）の入場等については、この限りでない。

（1）市民ミュージアムにおいて市民ミュージアムが行う企画展の展示会場への入場

（2）川崎市岡本太郎美術館条例（平成11年川崎市条例第25号）に規定する川崎市岡本太郎美術館の常設展又は企画展の展示会場への入場

（3）川崎市青少年科学館条例（昭和46年川崎市条例第24号）に規定する川崎市青少年科学館のプラネタリウムの一般投影又は特別投影の観覧

（4）川崎市立日本民家園条例（昭和42年川崎市条例第19号）に規定する川崎市立日本民家園への入園

3 特別入場券

市長は、7,000円の範囲内で定期券その他の特別入場券を発行することができる。

別表第2（第7条関係）

区 分	単 位	特別利用料
熟 覧	1点 1日	200円
模 写		1,000円
模 造		1,000円
拓 本		1,000円
撮 影	1点	300円
原板使用	1枚	2,000円

別表第3（第8条、第9条関係）

1 施設使用料

種 別	金 額			
	午前9時30分から午後0時30分まで	午後1時30分から午後5時まで	午前9時30分から午後5時まで	
ホ ール	映像ホール	7,800円	9,100円	16,900円
	ミニホール	3,000円	3,500円	6,500円
研 修 室	研修室1	1,200円	1,400円	2,600円
	研修室2	1,200円	1,400円	2,600円
	研修室3	1,200円	1,400円	2,600円
展 示 室	企画展示室1			46,500円
	企画展示室2			45,000円
	アートギャラリー			75,000円
	多目的ギャラリー1			9,000円
	多目的ギャラリー2			7,500円
逍遥展示空間	30分につき 2,300円			

備考

1 土曜日、日曜日及び休日に利用する場合の施設使用料の額は、規定使用料の2割増相当額とする。

2 ホール、展示室又は逍遥展示空間の利用について入場料を徴収する場合の施設使用料の

額は、次の表の入場料金の区分に従い、規定使用料（前項の規定を適用する場合は、同項の規定により算出して得た額）に増額の割合を乗じて得た額とする。

入場料金	増額の割合
1,000 円未満	15 割
1,000 円以上 3,000 円未満	20 割
3,000 円以上	30 割

- 3 第5条ただし書の規定により同条の表に定める利用時間の変更がされた場合で当該変更に係る時間（午後5時から午前9時30分までの時間に限る。）に利用するときの施設使用料の額は、当該利用の許可に係る時間30分につき、ホール又は研修室を利用する場合にあっては利用日の午後1時30分から午後5時までの利用時間の区分（以下「午後の区分」という。）の規定使用料（前2項の規定を適用する場合は、これらの規定により算出して得た額。以下この項において同じ。）の30分当たりの額の2割増相当額（10円未満の端数は、切り捨てる。）、展示室を利用する場合にあっては利用日の午前9時30分から午後5時までの利用時間の区分の規定使用料の30分当たりの額の2割増相当額（10円未満の端数は、切り捨てる。）、逍遥展示空間を利用する場合にあっては規定使用料の2割増相当額（10円未満の端数は、切り捨てる。）とする。
- 4 午後0時30分から午後1時30分までの時間（以下「中間時間」という。）においてホール又は研修室を利用する場合（午前9時30分から午後0時30分までの利用時間の区分（以下「午前の区分」という。）又は午後の区分を利用する場合に限る。）の施設使用料の額は、当該利用の許可に係る時間30分につき、午前の区分の規定使用料（第1項又は第2項の規定を適用する場合は、これらの規定により算出して得た額）の30分当たりの額とする。ただし、午前の区分と午後の区分の当該2区分を引き続き利用する場合の中間時間の施設使用料は、無料とする。
- 2 設備使用料については、市長が別に定める。

## 川崎市市民ミュージアム条例施行規則

平成22年3月31日  
規則第36号

（趣旨）

第1条 この規則は、川崎市市民ミュージアム条例（昭和62年川崎市条例第45号。以下「条例」という。）の施行について必要な事項を定めるものとする。

（事務の委任）

第2条 次に掲げる事務は、川崎市市民ミュージアム館長（以下「館長」という。）に委任する。

- (1) 条例第7条に規定する特別利用（以下「特別利用」という。）の許可、許可の取消し等に関する事。
- (2) 条例第8条の規定による施設等（条例第3条第7号に規定する施設等をいう。以下同じ。）の利用の許可（以下「利用許可」という。）に関する事。
- (3) 条例第10条の規定による施設等の利用許可の制限に関する事。
- (4) 条例第11条の規定による施設等の利用許可の取消し等に関する事。
- (5) 条例第17条に規定する観覧料等（以下「観覧料等」という。）の減額又は免除に関する事。
- (6) 条例第18条の規定による観覧料等の還付に関する事。
- (7) 条例第19条の規定による入館等の制限に関する事。

（観覧券等の交付）

第3条 館長は、条例第6条の規定による観覧料の納付と引換えに観覧券、共通利用券又は特別入場券を交付するものとする。

（特別入場券）

第4条 市長は、条例別表第1の3の規定により次の特別入場券を発行することができる。

- (1) 定期券
- (2) 共通入館券
- (3) 優待券
- (4) 前売券

2 前項の特別入場券を発行する場合及びその額は、その都度市長が定める。

(特別利用の申請等)

第5条 条例第7条第1項の規定により特別利用をしようとする者は、特別利用許可申請書(第1号様式)をあらかじめ館長に提出しなければならない。

2 館長は、特別利用を許可したときは、当該申請をした者に特別利用許可書(第2号様式)を交付するものとする。

3 館長は、特別利用を許可するときは、次に掲げる条件を付することができる。

(1) 条例第3条第1号に規定する資料等(以下「資料等」という。)の模写、模造、拓本、撮影若しくは原板使用によって得たもの(以下「模写資料等」という。)を展示し、又は出版物等に掲載するときは、川崎市市民ミュージアム(以下「市民ミュージアム」という。)の所蔵に係るものであることを適切な方法で表示すること。

(2) 無断で模写資料等の複製、出版物等への掲載、上映、放送又はこれらに類する行為をしないこと。

(3) 資料等を撮影したときは当該撮影によって得たフィルム等を、模写資料等を出版物等へ掲載したときは当該出版物等を本市に提供すること。

(4) その他館長が必要と認める事項

(特別利用の不許可)

第6条 館長は、次に掲げる資料等については、特別利用を許可しない。

(1) 特別利用によって資料等の保存に影響を及ぼすおそれがあると認めるもの

(2) 寄託された資料等で寄託者の同意を得ていないもの

(3) 著作権が存する資料等で著作権者等の同意を得ていないもの

(4) その他館長が特別利用することを不適当と認めるもの

2 特別利用は、館長の指示に従って行わなければならない。

(施設等の利用許可の申請)

第7条 条例第8条の規定により施設等の利用許可を受けようとする者は、施設等利用許可申請書(第3号様式)を館長に提出しなければならない。

(施設等の利用許可の申請期間)

第8条 施設等の利用許可の申請期間は、次に定め

るところによる。ただし、館長が特に必要があると認めるときは、この限りでない。

(1) 企画展示室又はアートギャラリーを利用する場合にあっては、利用日又は利用開始日(連続して利用しようとする場合の最初の日をいう。以下同じ。)の属する年度の前年度の4月1日から利用日の1月前まで申請することができる。

(2) 映像ホール、ミニホール、多目的ギャラリー又は逍遥展示空間を利用する場合にあっては、利用日又は利用開始日の属する月の6月前の月の初日から利用日の14日前まで申請することができる。

(3) 研修室を利用する場合にあっては、利用日の属する月の6月前の月の初日から利用日の3日前まで申請することができる。

(4) 前2号の規定にかかわらず、企画展示室又はアートギャラリーの利用と併せて映像ホール、ミニホール、多目的ギャラリー、逍遥展示空間又は研修室を利用する場合にあっては、第1号の規定を準用する。

(5) 第3号の規定にかかわらず、映像ホール、ミニホール、多目的ギャラリー又は逍遥展示空間の利用と併せて研修室を利用する場合にあっては、第2号の規定を準用する。

(施設等利用許可書の交付)

第9条 館長は、施設等の利用許可をしたときは、当該申請をした者に施設等利用許可書(第4号様式)を交付するものとする。

(施設等使用料の納付)

第10条 条例別表第3の1に規定する施設使用料及び同表の2に規定する設備使用料(以下「施設等使用料」という。)は、館長が指定する日までに納付しなければならない。

2 前項の施設等使用料の納付方法は、川崎市金銭会計規則(昭和39年川崎市規則第31号)の定めるところによる。

(設備使用料)

第11条 条例別表第3の2の規定に基づき、市長が定める設備使用料は、別表のとおりとする。

(特別の設備の付設等)

第12条 条例第12条ただし書の規定により施設等を模様替えし、又は特別の設備を付設しようとする者は、特別設備等許可申請書(第5号様式)を市

長に提出し、その許可を受けなければならない。

2 前項の申請書は、施設等利用許可申請書と同時に提出しなければならない。

3 施設等の利用許可を受けた者（以下「施設等利用者」という。）が、第1項の許可を受けて施設等を模様替えし、又は特別の設備を付設したときは、利用後直ちに自己の負担においてこれを原状に回復し、又は撤去しなければならない。

（施設等利用中止の届出）

第13条 施設等利用者が、その利用を中止しようとするときは、施設等利用中止届出書（第6号様式）を館長に提出しなければならない。

（利用期間等の制限）

第14条 館長は、施設等の利用の公平を図るため必要があると認めるときは、同一利用者が1月以内に施設等を利用する期間又は回数を制限することができる。

（観覧料等の減免）

第15条 条例第17条の規定により館長が観覧料等を減額し、又は免除することができる場合及びその額は、次のとおりとする。

（1）観覧料

- ア 学校教育法（昭和22年法律第26号）第1条に規定する幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校その他これらに準ずる教育施設が教育課程に基づく教育活動として観覧を行う場合 全額
- イ 児童福祉法（昭和22年法律第164号）第7条第1項に規定する児童福祉施設が当該施設の活動として観覧を行う場合 全額
- ウ 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条第4項の規定による身体障害者手帳、戦傷病者特別援護法（昭和38年法律第168号）第4条第1項又は第2項の規定による戦傷病者手帳、原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律（平成6年法律第117号）第2条第3項の規定による被爆者健康手帳、療育手帳（知的障害者の福祉の充実を図るため、児童相談所又は知的障害者更生相談所において知的障害と判定された者に対して支給される手帳で、その者の障害の程度その他の事項の記載があるものをいう。）、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条第2項の規定による精神障害者保健福

祉手帳等（以下「身体障害者手帳等」という。）の交付を受けている者（これらの者の介護者を含む。）が観覧を行う場合 全額

エ その他館長が特に必要があると認める場合  
その都度館長が定める額

（2）特別利用料

ア 市又は国若しくは他の地方公共団体がその事業の用途に供することを目的とする場合 全額

イ 私立の博物館、美術館、図書館、学校、研究所等がその事業の用途に供することを目的とする場合 全額

ウ 専ら学術研究の用途に供することを目的とする場合 全額

エ その他館長が特別の理由があると認める場合  
その都度館長が定める額

（3）施設等使用料

ア 市又は国若しくは他の地方公共団体がその事業のために利用する場合 5割相当額

イ 市が構成員となっている協議会、研究会等が主催する行事等のために利用する場合 5割相当額

ウ その他館長が特別の理由があると認める場合  
その都度館長が定める額

2 前項第1号の規定による観覧料の減額又は免除を受けようとする場合にあっては観覧料減免申請書（第7号様式）を、前項第2号の規定による特別利用料の減額又は免除を受けようとする場合にあっては特別利用料減免申請書（第8号様式）を、前項第3号の規定による施設等使用料の減額又は免除を受けようとする場合にあっては施設等使用料減免申請書（第9号様式）を、あらかじめ館長に提出しなければならない。ただし、前項第1号ウの場合にあっては、身体障害者手帳等の提示をもって、当該申請書の提出に代えることができる。

（観覧料等の還付）

第16条 条例第18条ただし書の規定により観覧料等を還付することができる場合及びその額は、次のとおりとする。

（1）災害その他の事故により観覧又は特別利用ができない場合 観覧料又は特別利用料の全額

（2）管理上の必要から入場を禁止し、若しくは制限し、又は特別利用の許可を取り消した場合 観覧料又は特別利用料の全額

（3）条例第11条第4号又は第5号の規定によ

り、館長が利用許可を取り消した場合 施設等使用料の全額

- (4) 企画展示室又はアートギャラリーの利用者が利用日の6月前までに利用中止を届け出た場合 施設等使用料の全額
- (5) 企画展示室又はアートギャラリーの利用者が利用日の3月前までに利用中止を届け出た場合 施設等使用料の5割相当額
- (6) 企画展示室又はアートギャラリーと併せて利用しない場合の映像ホール、ミニホール、多目的ギャラリー又は逍遙展示空間の利用者が利用日の1月前までに利用中止を届け出た場合 施設等使用料の全額
- (7) 企画展示室又はアートギャラリーと併せて利用しない場合の映像ホール、ミニホール、多目的ギャラリー又は逍遙展示空間の利用者が利用日の14日前までに利用中止を届け出た場合 施設等使用料の5割相当額
- (8) 企画展示室、アートギャラリー、映像ホール、ミニホール、多目的ギャラリー又は逍遙展示空間と併せて利用しない場合の研修室の利用者が利用日の3日前までに利用中止を届け出た場合 施設等使用料の全額
- (9) 企画展示室又はアートギャラリーと併せて利用する場合の映像ホール、ミニホール、多目的ギャラリー、逍遙展示空間又は研修室の利用者が利用日の6月前までに利用中止を届け出た場合 施設等使用料の全額
- (10) 企画展示室又はアートギャラリーと併せて利用する場合の映像ホール、ミニホール、多目的ギャラリー、逍遙展示空間又は研修室の利用者が利用日の3月前までに利用中止を届け出た場合 施設等使用料の5割相当額
- (11) 映像ホール、ミニホール、多目的ギャラリー又は逍遙展示空間と併せて利用する場合の研修室の利用者が利用日の1月前までに利用中止を届け出た場合 施設等使用料の全額
- (12) 映像ホール、ミニホール、多目的ギャラリー又は逍遙展示空間と併せて利用する場合の研修室の利用者が利用日の14日前までに利用中止を届け出た場合 施設等使用料の5割相当額
- (13) 前各号に定めるもののほか、館長が特別の理由があると認める場合 その都度館長が

定める額

(遵守事項)

第17条 市民ミュージアムを利用する者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 建物、附属設備又は資料等を汚損若しくは損傷し、又はそれらのおそれのある行為をしないこと。
- (2) 他人に迷惑をかけ、又はそのおそれのある行為をしないこと。
- (3) 展示会場において許可を受けないで、撮影、模写等を行わないこと。
- (4) 所定の場所以外で飲食又は喫煙をしないこと。
- (5) 施設等利用者は、定員を超えて入場させないこと。
- (6) 利用許可された以外の施設等を利用しないこと。
- (7) 所定の場所以外で火気を使用しないこと。
- (8) 危険物又は不潔物を持ち込まないこと。
- (9) 許可を受けずに物品の販売又は飲食の提供をしないこと。
- (10) 前各号に定めるもののほか、館長が指定する事項

(整理員の配置)

第18条 施設等利用者は、市民ミュージアムの利用に際し、市民ミュージアム内外の秩序維持のため必要な整理員を置かなければならない。ただし、館長が必要がないと認める場合は、この限りでない。

(管理上の入室)

第19条 施設等利用者は、管理のために立ち入る係員の入室を拒むことができない。

(損傷等の届出)

第20条 施設等利用者は、施設等を損傷し、又は滅失したときは、文書により速やかに館長に届け出なければならない。

(利用後の点検)

第21条 施設等利用者は、施設等の利用を終了したときは、係員に報告し、その点検を受けなければならない。

(協議会の会長及び副会長)

第22条 条例第21条の規定に基づく川崎市市民ミュージアム協議会（以下「協議会」という。）に会長及び副会長を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選とする。

- 3 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。  
(協議会の会議)

第23条 協議会の会議は、会長が必要に応じて招集する。

- 2 会議は、委員の半数以上の出席がなければ開くことができない。
- 3 議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。
- 4 協議会は、会長が必要であると認めるときは、関係者又は専門的事項について学識経験を有する者の出席を求め、その説明又は意見を聴くことができる。  
(委員の委嘱又は任命)

第24条 条例第21条第4項の委員は、次に掲げる者のうちから委嘱し、又は任命する。

- (1) 本市の区域内に設置された学校の教育職員
- (2) 本市の区域内の社会教育関係団体等から推薦された者
- (3) 本市の区域内に住所を有する考古、歴史、民俗、美術、映像等に関する知識及び経験を有する市民
- (4) 学識経験者

2 前項第3号の市民のうちから委嘱される委員は、公募によるものとする。  
(協議会の庶務)

第25条 協議会の庶務は、市民ミュージアムにおいて処理する。  
(委任)

第26条 この規則の施行について必要な事項は、市民・こども局長が定める。

#### 附 則

(施行期日)

- 1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。  
(経過措置)
- 2 川崎市市民ミュージアム協議会規則(平成18年川崎市教育委員会規則第9号)の規定により委嘱され、又は任命された委員で、この規則の施行の際現に在任する委員は、その任期が終了するまでの間、この規則の規定に基づき委嘱され、又は任命されたものとみなす。

## 別表(第11条関係)

### 1 映像ホール設備使用料

品名	金額	単位		備考
音響・調光設備	7,000円	1回	1式	操作室内ワイヤレスマイクロホンを除く。
ワイヤレスマイクロホン	1,000円	1回	1本	
アップライトピアノ	2,000円	1回	1台	
16mm映写機	1,000円	1回	1台	固定式、映写室内
映画用スクリーン	500円	1回	1張	

### 2 逍遥展示空間設備使用料

品名	金額	単位		備考
音響設備	3,000円	1回	1式	ワイヤレスマイクロホンを除く。
ワイヤレスマイクロホン	1,000円	1回	1本	
照明設備	5,000円	1回	1式	ピンスポットライトを除く。
ピンスポットライト	1,000円	1回	1台	
ピアノ	10,000円	1回	1台	ベーゼンドルファー(調律別)
金屏風	1,000円	1回	1双	
山台	200円	1回	1台	
幕類	1,000円	1回	1張	

### 3 共通設備使用料

品名	金額	単位		備考
レクチャーテーブル	500円	1回	1台	
オーバーヘッドプロジェクター	500円	1回	1台	
16mm映写機	500円	1回	1台	移動式
液晶プロジェクター	500円	1回	1台	
持込器具	100円	1回	1キロワット	

#### 備考

- 1 本表においては、映像ホール、ミニホール又は研修室の利用にあつては午前9時30分から午後0時30分までの利用時間の区分(以下「午前の区分」という。)、午後1時30分から午後5時までの利用時間の区分(以下「午後の区分」という。)をそれぞれ1回として、企画展示室、アートギャラリー、多目的ギャラリー又は逍遥展示空間の利用にあつては4時間までごとに1回として扱う。
- 2 映像ホール、ミニホール又は研修室を午後5時から午前9時30分までの時間に利用する場合の設備使用料の額は、4時間までごとに1回として扱う。
- 3 映像ホール、ミニホール又は研修室を午後0時30分から午後1時30分までの時間(以下

「中間時間」という。)において利用する場合の設備使用料の額は、30分につき、午前の区分を単位として利用した場合の規定使用料の30分当たりの額(10円未満の端数は、切り捨てる。)とする。ただし、午前の区分と午後の区分の当該2区分を引き続き利用する場合の中間時間の設備使用料は、無料とする。

## 企画展一覧（開館～平成22年度）

### 昭和63年度

1. モンパルナスの大冒険 1988.11.1～12.1
2. 子ども風土記 12.17～1989.1.16
3. グラフィック・パワー展 1989.1.21～2.12
4. 岡本かの子の世界展 2.18～3.19
5. 写真家・濱谷浩展 3.25～4.23

### 平成元年度

6. リュブリアナ国際ビエンナーレ日本展 4.2～6.11
7. 笑いの世界・世界の漫画展 7.8～8.13
8. 閻魔登場 8.22～9.24
9. TREND'89 現代写真の動向展 9.30～10.22
10. アガム展 10.28～12.17
11. 写真展 記憶の記念日 1990.1.4～2.12  
（よみうり写真大賞10年の歩みから）
12. 藤ノ木古墳とその時代展 2.27～4.5

### 平成2年度

13. 女性のまなざし - 日本とドイツの女性写真家たち - 4.10～4.22
14. 昭和のマンガ展 4.28～6.10
15. 円鋸勝三 彫刻展 6.20～7.22
16. ミュージアムコレクション展 8.4～9.16
17. 木簡 - 古代からのメッセージ - 10.9～11.12
18. - 佐藤惣之助生誕百年記念 - 多彩な惣之助展 11.21～12.24
19. 近代芸術の諸相 PART I 1991.1.19～2.24
20. 近代芸術の諸相 PART II 3.1～4.14

### 平成3年度

21. 岡本太郎展 4.27～6.23
22. 縄文文化の交流展 7.13～8.25
23. 道祖神の源流 9.7～10.20
24. 色相の詩学展 - 現代絵画・平面からのメッセージ - 11.2～12.15
25. '92 ミュージアムコレクション展 1992.1.4～2.23
26. アン・リベルテ - 現代フランスの写真展 - 3.6～3.29

### 平成4年度

27. 棟方志功展 4.18～6.14

28. ネイチャーワールド  
動物写真家・岩合光昭の世界展 7.4～8.16
29. 版画にみるポップアートとその周辺 8.22～9.27
30. 写真展 ルイス・ボルツ 法則 10.10～11.23
31. オキナワ展 1993.1.10～2.14
32. 原田泰治アメリカに行く 3.2～3.28

### 平成5年度

33. T A R O 萬華鏡 4.24～7.4
34. 妖怪展 - 現代に蘇る百鬼夜行 7.24～8.29
35. ルーアン美術館展 フランス絵画 - 黄金の19世紀 10.16～11.14
36. 鳥山 明の世界 12.4～1994.1.30
37. バウハウス - 芸術教育の革命と実験 - 2.12～3.27

### 平成6年度

38. 東海道 - 東と西の交歓 - 4.16～5.29
39. 岩下哲士 美の世界 6.25～8.5
40. 「川崎の文化財」展 8.27～10.10
41. 生誕100年記念 濱田庄司展 10.29～12.11
42. 「弥生の食」展 1995.1.21～3.12

### 平成7年度

43. 安野光雄の世界展 4.22～6.11
44. 映画生誕100年記念展 - シネマの世紀 - 7.22～9.17
45. 海と人生 - 川崎で海苔が採れた頃 - 10.3～11.12
46. 現代写真の動向1995 ANOTHER REALITY 11.21～1996.1.28
47. 愛する人々への熱いメッセージ  
シャガールの傑作版画展 2.10～4.7

### 平成8年度

48. アジアの民族造形  
- 衣・食・住・祈り・学び・芸能・遊び - 1996.4.27～6.16
49. 日本の漫画300年  
- 日本最大の漫画コレクション一挙公開 - 7.20～9.8
50. 弘法大師信仰展 10.5～11.10
51. ドイツ現代写真展遠・近 バッヒャーの地平 11.24～1997.1.26
52. マリー・ローランサン展 3.18～4.15

### 平成9年度

53. 没後20年 中村正義展 4.26～6.1

54. 怪獣ミュージアム  
開田裕治の世界〔K A I J U～ガンダム〕  
7.19～8.31
55. -現代マンガのパイオニア- 没後50年岡本一平展  
9.20～11.3
56. バウハウスの写真  
11.20～2.1
57. 世紀末芸術の華 オープリー・ビーズリー  
2.21～4.5

#### 平成 10 年度

58. -写生・下絵を中心とした- 安田靫彦 4.11～5.24
59. 少女まんがの世界展  
-女性作家8人のまなざしと表現-  
8.15～9.27
60. ミュージアムコレクション展Ⅰメディアと大衆  
10.3～11.15
61. ミュージアムコレクション展Ⅱ博物館の眼  
11.21～12.20
62. 大ザビエル展-その生涯と南蛮文化の遺宝-  
1999.1.15～3.14

#### 平成 11 年度

63. ミュージアムコレクション展Ⅲ芸術都市へ・かわさき  
4.24～6.6
64. 木村伊兵衛写真賞の軌跡  
6.20～8.1
65. ホイッスラーからウォーホールまで  
-版画に見るアメリカ美術の100年- 8.14～9.19
66. アンセル・アダムスの世界  
10.26～12.12
67. 大江戸マルチ人物伝-池上太郎左衛門幸豊-  
2000.2.26～4.9

#### 平成 12 年度

68. グラフィック・デザインのモダニズム展  
-20世紀・機械時代のグラフィック革命-  
4.22～6.11
69. アニメ黄金時代  
7.15～8.31
70. 縄文の華  
9.9～10.22
71. 陰翳礼賛 フランスの現代写真  
-ジャン＝クロード・ルマニーの視点-  
11.3～12.17
72. -都市と社会の100年・私たちの暮らし  
-新世紀元年1901／2001 2001.1.27～3.25

#### 平成 13 年度

73. 呪いと占い  
4.28～6.10
74. 偶然の振れ幅 amplitude of chance  
-「出来事の成り立ち」を記述する美術-  
7.20～8.26
75. 東海道宿駅制度400年記念 東海道  
-日本橋、そして川崎宿へ- 9.15～10.21
76. outer ⇔ inner 現代写真の動向  
2001.11.3～12.24
77. 明治の版画 -岡コレクションを中心に-  
2002.2.9～3.31

#### 平成 14 年度

78. 森村泰昌写真展  
「女優家Mの物語」～M式ジオラマ(25m)付き～  
4.27～7.7
79. 明治の面影・フランス人画家ビゴーの世界展  
9.7～10.27
80. 夢幻巡礼 映画美術監督・木村威夫の世界展  
11.23～2003.1.19
81. ポスターのユートピア  
ロシア構成主義のグラフィックデザイン  
2.15～4.6

#### 平成 15 年度

82. 古代を考えるⅠ -郡の役所と寺院- 4.19～6.15
83. フランスコミック・アート展  
7.5～8.31
84. 光の狩人 森山大道1965-2003 9.13～11.3

#### 平成 16 年度

85. 街角に咲いた芸術  
～世紀末フランスの華麗なポスター～ 4.3～5.30
86. 日本の幻獣-未確認生物出現録- 7.3～9.5
87. 21世紀の本居宣長-学問・交流・情報- 9.18～11.7
88. CLAMP 四 S u  
MANGAアートは時空(とき)を超える  
2005.1.22～4.10

#### 平成 17 年度

89. 時代を切り開くまなざし  
-木村伊兵衛写真賞の30年- 1975-2005  
4.23～6.19
90. ロシア民族学博物館アイヌ資料展  
-ロシアが見た島国の人びと- 7.2～8.28

91. アメリカ展帰国記念  
川崎・砂子の里資料館所蔵浮世絵名品展  
9.17 ~ 10.16
92. 大 OH! 水木しげる展 11.19 ~ 2006.1.9
93. メイド・イン・カワサキ展  
第1部「川崎モノづくり物語」 1.21 ~ 2.26  
第2部「都市・川崎を創造する  
-メイド・イン・カワサキ現代美術賞展-」  
3.11 ~ 4.2
- 平成 18 年度**
94. 「弥生・古墳・飛鳥を考える  
-古墳の出現とその展開-」 4.29 ~ 6.25
95. 名取洋之助と日本工房 1931 - 1945 7.8 ~ 9.3
96. レイモン・サヴィニャック展 9.16 ~ 11.5
97. 「横山光輝の世界展」 11.18 ~ 2007.1.8
98. みんなのドラえもん展 -魅力のひみつ-  
1.20 ~ 2.25
- 平成 19 年度**
99. 昭和ブギウギ 1945 - 64 4.21 ~ 6.3
100. 安彦良和原画展「勇者ライディーン」から  
「機動戦士ガンダム THE ORIGIN」へ  
6.16 ~ 8.19
101. こどもの毎日-みんなこうして大きくなった-  
7.14 ~ 8.19
102. 産業都市・カワサキのあゆみ 100年  
9.1 ~ 10.14
103. 「つわもの」どもの光と影  
-稲毛三郎とその時代- 10.27 ~ 12.9
104. みんなのデザイン  
-グッドデザインと私たちの生活- 10.24 ~ 12.16
105. 斎藤寿一展 青・風・宙の版画 12.23 ~ 2008.1.27
106. 川崎が生んだ世界の人形  
「作家 与勇輝-神様のすみか」展 1.12 ~ 2.3
107. 昔の暮らし 今の暮らし 2.9 ~ 3.30
108. 少女マンガパワー!  
-つよく・やさしく・うつくしく- 2.16 ~ 3.30
- 平成 20 年度**
109. オキナワ/カワサキ-二つの地をつなぐ人と文化-  
4.26 ~ 6.8
110. ブルーノ・ムナーリのアートとあそぼう!  
~みて さわって たのしんで~ 7.12 ~ 8.31
111. 暮らしと着物展 7.19 ~ 8.31
112. 開館 20 周年記念「人間国宝濱田庄司」展  
10.4 ~ 11.30
113. 開館 20 周年記念「ともに生きる-欲望・矛盾・  
創造-都市・自然・人・食・メディア」展  
10.23 ~ 12.7
114. 広重「名所江戸百景」の世界  
-江戸の人たちの名所感覚-展 12.13 ~ 2009.1.12
115. 複々製に進路をとれ 栗津潔 60 年の軌跡  
1.24 ~ 3.29
116. 昔の暮らし 今の暮らし 1.27 ~ 4.5
117. 川崎ぐるっと博物館 2008.5.15 ~ 12.7
- 平成 21 年度**
118. 横浜開港 150 周年 幕末明治期の川崎とニッポン  
2009.4.18 ~ 6.7
119. 星野富弘展-一枝の花とはいえ- 6.6 ~ 6.28
120. ハービー山口写真展  
-ポートレイツ・オブ・ホープ~この一瞬を永遠に~  
6.20 ~ 8.16
121. サンデー・マガジンの DNA 展 7.18 ~ 9.13
122. 川崎・縄文・1 万年  
-大地に刻まれた生活と温暖化- 8.29 ~ 10.12
123. 灯りの情景展-灯りと人の物語-  
10.24 ~ 2010.1.11
124. 2009 川崎フロンターレ 12.12 ~ 2010.1.11
125. 昔の暮らし 今の暮らし 2010  
-暮らしの道具のうつりかわり-展 2010.1.19 ~ 4.4
126. 川崎市美術展 2.5 ~ 2.27
127. 安田鞞彦展 -歴史画誕生の軌跡- 3.13 ~ 4.18
- 平成 22 年度**
128. 横山裕一  
ネオ漫画の全記録:「わたしは時間を描いている」  
4.24 ~ 6.20
129. 「絵図でめぐる川崎 失われた景観をさぐる」展  
7.17 ~ 9.5
130. 「まど・みちお え てん  
-ある詩人の 100 年の軌跡、童謡・抽象画・詩-」展  
8.21 ~ 10.3
131. 「アイヌ -美を求める心」展  
AINU - In pursuit of beauty 9.18 ~ 11.7
132. 木村伊兵衛写真賞 35 周年記念展  
11.13 ~ 2011.1.10

- 133. 2010 川崎フロンターレ展 12.11 ~ 2011.1.10
- 134. 昔のくらし・今のくらし 2011 2011.1.22 ~ 4.3
- 135. 第 44 回かわさき市美術展 2.5 ~ 2.26
- 136. かわさきガラス WORLD2011 3.5 ~ 3.27

## ギャラリー展示一覧

### グラフィックギャラリー（開館～平成 17 年度）

1. アール・ヌーボーとアール・デコのポスター展  
1988.11.1 ~ 1990.3.18
2. 現代日本のグラフィックデザイナー展 Part I  
1990.3.21 ~ 9.
3. 現代日本のグラフィックデザイナー展 Part II  
1990.9.12 ~ 1991.3.17
4. ヨーゼフ・ボイス・ポスター・コレクション  
- 造形空間と政治空間 - 展 1991.3.20 ~ 6.23
5. 現代日本のグラフィックデザイナー展 Part III  
1991.6.25 ~ 10.27
6. 色相の詩学展 1991.11.2 ~ 12.15
7. ホックニー展 1991.12.17 ~ 1992.4.29
8. アニメーション映画の原画展 1992.5.2 ~ 5.31
9. オリンピックポスター展 1992.6.2 ~ 8.2
10. クレス・オルデンバーグ  
- 『手持ちのノート』 - 展 1992.8.4. ~ 11.29
11. 色彩・共鳴展 1992.12.1 ~ 1993.2.28
12. 現代日本のグラフィックデザイナー展 Part IV  
1993.3.2 ~ 8.8
13. 描かれた時の人 - マリリン、スターリン、  
サラ・ベルナール、そして…  
前期：1993.8.10 ~ 10.11  
後期：1993.11.17 ~ 1994.2.6
14. 栗津 潔 展 1994.2.12 ~ 4.10
15. 田名網敬一〔版画の仕事〕1967 - 1994  
1994.4.15 ~ 6.19
16. 夏の思い出 - Some Views of Summer 展  
1994.6.23 ~ 9.11
17. 世紀末パリの街角展 1994.11.3 ~ 1995.2.12
18. 旅への誘い - ポスターに見る 100 年間の旅展  
1995.2.14 ~ 4.23
19. HEAR T AND ART・ポップのまなざし  
- ポップ・アートの版画展 - 1995.4.25 ~ 7.16
20. シネマとギャラリー 戦後映画ポスター展示  
1995.7.22 ~ 9.17
21. 芸術の楽しみ  
- 世紀末とアール・デコ時代の展覧会ポスターを中心に  
1995.9.22 ~ 1996.1.7
22. 詩によせる想い - 3 人の画家と文学  
1996.1.9 ~ 4.29

23. 現代版画の比較鑑賞 抑制と放縦  
1996.5.1 ~ 8.18
24. 劇場への招待 -ポスターの中のドラマ-  
1996.8.21 ~ 11.17
25. 向秀男の広告美学(前・後期)  
1996.11.19 ~ 1997.6.8
26. 無垢なる魂  
アトリエ・エレマン・プレザンの作家たち  
1997.8.30 ~ 11.30
27. オリンピック・ポスター展 1997.12.2 ~ 1998.3.15
28. 街は紫煙に包まれ・・・ 世紀末の嗜好品ポスター  
1998.3.17 ~ 6.14
29. コレクション・コレクション 1  
現代版画名品展 1998.6.16 ~ 9.13
30. コレクション・コレクション 2  
19世紀ポスター名品展 1998.9.15 ~ 12.20
31. コレクション・コレクション 3  
20世紀ポスター名品展 1998.12.22 ~ 1999.4.4
32. コレクション・コレクション 4  
現代日本のポスター展 1999.4.6 ~ 7.4
33. アメリカ版画名品展 1999.7.6 ~ 10.17
34. アール・ヌーヴォーの女性たち  
1999.10.19 ~ 2000.1.23
35. 時代のシンボルマーク 2000.1.25 ~ 4.9
36. ミュージアムコレクションによる  
「グラフィック デザインのモダニズム」展  
2000.4.11 ~ 7.9
37. 楽しいポスターミュージアム 2000.7.11 ~ 10.22
38. 木村恒久原画展 2000.10.25 ~ 12.24
39. コレクションによるホックニーの版画展  
2001.1.5 ~ 4.15
40. 博覧会の時代 2001.4.17 ~ 7.15
41. 特別企画 没後100年記念  
ミュージアムコレクションに見るロートレックとその時代  
2001.7.17 ~ 10.28
42. カッサンドルとサヴィニャック  
2001.10.30 ~ 2002.2.24
43. デザインの教室 現代ポスターの表現と効果  
2002.2.26 ~ 6.2
44. 折元立身 グラフィック・アート+オブジェ  
2002.6.8 ~ 9.1
45. 詩によせる想い -ベン・シャーン、  
コールフィールド、ホックニーの挿絵の世界  
2002.9.3 ~ 11.17
46. 夢幻彷徨 木村威夫のイメージ画  
2002.11.23 ~ 2003.1.19
47. 革命期のロシア・ポスター 2003.2.7 ~ 4.27
48. 色彩の魅力・版画の魅力 2003.5.1 ~ 8.31
49. 楽しいポスター・ショッピング 2003.9.2 ~ 12.21
50. 劇場への招待 2003.12.23 ~ 2004.4.4
51. 街角に咲いた芸術・アメリカとヨーロッパ諸国  
2004.4.6 ~ 7.4
52. 現代日本デザイン100選  
Japanese Design Today 2004.7.10 ~ 8.1
53. スポーツの祭・展  
「オリンピックのポスター展」 2004.8.6 ~ 2005.1.16
54. -シリーズ写真展：現代写真の母型 2005 -  
サイト・グラフィックス-風景写真の変貌-展  
2005.1.20 ~ 4.10
55. 川崎の美術-川崎を描く/川崎で描く-  
2005.2.7 ~ 5.7
56. つたえる美術  
-ポスター、写真、マンガのはじめて物語-  
2005.7.5 ~ 11.13
57. スイス・コミック・アート展 2005.9.16 ~ 12.25
58. 毎日国際マンガグランプリ 2005 受賞作品展  
2006.1.3 ~ 2.12
59. 第27回読売国際 2006.2.18 ~ 4.23
60. WRITING Line LIGHTING Line：筆跡と光跡  
2005.7.11 ~ 2006.1.29

## 写真ギャラリー（開館～平成17年度）

- 戦後日本写真の展開（1945 - 1980）  
1988.11.3 ~ 1989.5.1
- 写真発明150年記念企画  
写真と人間Ⅰ（1850 - 1930） 1989.5.3 ~ 8.27
- 写真発明150年記念企画  
写真と人間Ⅱ（1930 - 1970）  
1989.8.30 ~ 1990.2.28
- 都市の視点-写真と都市・その交感の軌跡-  
1990.3.3 ~ 6.22
- 風土往来 1990.6.26 ~ 9.30
- ヒューマン・ドキュメント  
-アメリカ：1930'S - 1940'S 1990.10.2 ~ 1991.2.3
- 濱谷浩の地平 1991.2.6 ~ 4.21
- 特別企画 アデュー、エルステン展  
1991.4.24 ~ 6.30

9. かたちとイメージ  
-写真における造形と表現 1991.7.3 ~ 9.29
10. Matrix of Photography  
-現代写真の母型 Part I 柴田敏雄展  
1991.10.2 ~ 11.17
11. Matrix of Photography  
-現代写真の母型 Part II 安田千絵展  
1991.11.20 ~ 1992.1.12
12. Matrix of Photography  
-現代写真の母型 Part III  
伊奈英次・小林のりお・畠山直哉 1992.1.15 ~ 3.1
13. Matrix of Photography  
-現代写真の母型 Part IV 白岡順展  
1992.3.3 ~ 4.12
14. 暮らしのフォークロア  
-日々のドキュメント再訪- 1992.4.15 ~ 7.5
15. 子どもの情景 1992.7.7 ~ 9.6
16. 写真を見る～より深く、より豊かに～展  
1992.9.8 ~ 1993.2.14
17. 写真展 ザ・スタア～憧れと思ひで～  
1993.2.18 ~ 4.25
18. 街と人の物語 1993.4.28 ~ 7.18
19. 自然のイメージ 1993.7.21 ~ 9.26
20. 都市の歴史空間 1993.9.29 ~ 11.28
21. 同時代の視覚 (I) 田村彰英展 1994.1.19 ~ 4.10
22. ヒューマン・リレーションズ 1994.4.16 ~ 6.19
23. ヒューマン・ドキュメント  
アメリカ 1930 ~ 40 年代 1994.7.28 ~ 9.11
24. 川崎市市制 70 周年記念プロジェクト  
カワサキ・モニュメント 1994.11.3 ~ 1995.1.16
25. 濱谷浩の世界 (1) 1995.1.15 ~ 4.23
26. パリの記憶 1995.4.26 ~ 7.16
27. シネマとギャラリー スタアの肖像展示  
1995.7.22 ~ 10.15
28. 満州・シベリア 江成常夫+新正卓 二人展  
-戦後50年、二人の写真家があらためて  
問いかける戦争と日本人の歴史-  
1995.10.17 ~ 1996.1.15
29. 風土往来 1996.1.24 ~ 4.21
30. 戦後女性写真の展開 1996.4.24 ~ 7.21
31. こどもの情景 1996.7.24 ~ 10.27
32. 写真のタイポロジー -その発現と展開-  
1996.10.30 ~ 1997.2.11
33. 濱谷浩の世界 (2) 1997.2.19 ~ 6.8
34. 写真の楽しみ I 1997.8.27 ~ 1998.1.11
35. 写真の楽しみ II 1998.1.13 ~ 4.5
36. 現代英国写真：カラム・コルヴィン作品展  
七つの大罪と四終 1998.5.12 ~ 6.28
37. 写真の楽しみ III アメリカの光と影  
1930年代～1940年代 1998.7.15 ~ 9.23
38. 川崎物語 -昭和30～50年代の川崎  
1998.9.30 ~ 1999.3.14
39. 写真の楽しみIV 風土再見 1999.3.27 ~ 5.23
40. 現代写真の母型 MATRIX OF  
PHOTOGRAPHY 1999 I 金村 修  
1999.6.1 ~ 7.11
41. 現代写真の母型 MATRIX OF  
PHOTOGRAPHY 1999 II unit2000 / 視力  
1999.7.20 ~ 8.22
42. 現代写真の母型 MATRIX OF  
PHOTOGRAPHY 1999 III LIGHT / SPACE  
-朝岡あかね・安彦さちえ・ハイナー・シリング-  
1999.8.31 ~ 10.11
43. 風景写真の相貌 1999.10.19 ~ 2000.1.16
44. 現代写真の母型 MATRIX OF  
PHOTOGRAPHY 1999 IV 鈴木理策 / 吉村朗  
2000.1.25 ~ 4.9
45. ミュージアムコレクションによる  
「グラフィック・デザインの新モダニズム」展  
2000.4.11 ~ 7.9
46. こどもの情景 2000.7.12 ~ 10.1
47. 白岡順写真展「秋の日」 2000.10.11 ~ 2001.2.4
48. デジタルプリントでよみがえる笠倉家の乾板写真  
2001.2.7 ~ 5.13
49. こどもの情景 2001.5.23 ~ 9.30
50. PORTRAITS : 北島敬三写真展  
〈現代写真家シリーズ：同時代のまなざしⅢ〉  
2001.0.23 ~ 2002.2.3
51. ヒューマン・イメージ 2002.2.20 ~ 7.17
52. 新寄贈作品 資料展 2002.2.20 ~ 7.17
53. こどもの情景 2002.7.20 ~ 10.14
54. 宮本隆司写真展 AFTER 1995 - 2002  
2002.11.1 ~ 2003.1.19
55. ロシア：1905年×1917年 2003.2.7 ~ 5.11
56. 風土往来 2003.5.21 ~ 8.17
57. 南仏写真記録プロジェクト ニュー・パースペクティブ  
-若き6人の写真家による南仏風景へ向けられた新たなまなざし-  
2003.8.29 ~ 11.24

58. 川崎物語－昭和 20 年代から 40 年代の川崎区－  
2003.12.4 ～ 2004.3.31
59. パリの記憶 2004.4.13 ～ 6.13
60. 谷岡ヤスジの世界展－天才キャラクターだもんね！  
2004.6.15 ～ 9.26
61. 第 10 回ロサンゼルス・オリンピック（1932 年）の記録  
2004.9.30 ～ 2005.1.16
62. －シリーズ写真展：現代写真の母型 2005 －  
サイト・グラフィックス－風景写真の変貌－展  
2005.1.20 ～ 4.10
23. 読売国際漫画大賞傑作選  
東アジアの漫画 I ・中国編  
1996.10.22 ～ 1997.2.23
24. 第 18 回読売国際漫画大賞受賞作品展覧会  
1997.2.25 ～ 3.23
25. 読売国際漫画大賞受賞作品展覧会 諸国めぐり  
1997.3.25 ～ 6.8
26. 漫画作家 畑中純の挑戦  
－豊かなる大地と水と人間と－ 1997.6.14 ～ 8.24
27. 一平が育てた弟子たち 1997.8.30 ～ 11.30
28. 漫画動物園「まったく ZOO ZOO しいやつらだ」  
1997.12.2 ～ 1998.3.29

## 漫画ギャラリー（開館～平成 17 年度）

1. 特別展 手塚治虫の世界 1998.11.1 ～ 1989.4.23
2. 特別展 藤子不二雄の世界 1989.4.25 ～ 9.3
3. 現代風俗をえぐった異色の漫画家 富田英三展  
1989.9.5 ～ 12.3
4. はがき漫画展 1989.12.5 ～ 1990.1.28
5. 似顔絵漫画展 1990.1.30 ～ 5.13
6. 団団珍聞(まるまるちんぶん)展 1990.5.15 ～ 9.16
7. 小島功展 1990.9.18 ～ 1991.1.20
8. －告発の漫画家－まるやまふみお展  
1991.1.22 ～ 5.19
9. 近藤日出造展 1991.5.21 ～ 9.29
10. 『パンチ』に描かれた日本像展  
1991.10.1 ～ 1992.3.1
11. やなせたかしの世界展 1992.3.3 ～ 8.30
12. 漫画集団 60 年史展 1992.9.1 ～ 1993.3.21
13. 明治の風刺画家・田口米作展 1993.3.23 ～ 8.15
14. 漫画に記録された関東大震災展  
1993.8.17 ～ 1994.2.27
15. 子供漫画の開拓者 新関健之助展 1994.3.1 ～ 9.11
16. ガロ 30 (サーティー)  
－伝説を創り続ける漫画雑誌の 30 年－  
1994.9.15 ～ 10.30
17. 読売国際漫画大賞傑作選展 1994.11.3 ～ 1995.4.23
18. 読売国際漫画大賞傑作選展 パート II  
1995.4.25 ～ 7.16
19. シネマとギャラリー 映画と漫画展示  
1995.7.22 ～ 9.17
20. 漫画にみる 1945 年 1995.9.20 ～ 1996.2.18
21. 漫画にみる 1946 年 1996.2.20 ～ 7.14
22. 漫画に記録された東京裁判展  
－清水昆の原画を中心に－ 1996.7.20 ～ 10.20
29. 第 19 回読売国際漫画大賞展  
〔一般の部・大賞－入選の作品〕 1998.4.3 ～ 5.31
30. 第 19 回読売国際漫画大賞展  
〔一般の部・佳作、ジュニアの部〕 1998.6.5 ～ 8.2
31. 出版資料に見る少女まんが展 1998.8.7 ～ 10.11
32. いい仕事してますねエ・・・  
－ヒトコマ漫画・職人づくし－  
1998.10.13 ～ 1999.2.28
33. 第 20 回読売国際漫画大賞展〔前半〕 1999.3.2 ～ 5.5
34. 第 20 回読売国際漫画大賞展〔後半〕 1999.5.7 ～ 7.4
35. 太平洋戦争前夜の漫画雑誌展 1999.7.6 ～ 10.31
36. 明治ポンチ本の世界展 1999.11.2 ～ 2000.2.27
37. 第 21 回読売国際漫画大賞展〔前半〕 2000.2.29 ～ 4.30
38. 第 21 回読売国際漫画大賞展〔後半〕 2000.5.2 ～ 7.2
39. アニメになったマンガ作品 2000.7.4 ～ 10.9
40. 『滑稽新聞』の風刺漫画  
2000.10.11 ～ 2001.2.25
41. 第 22 回読売国際漫画大賞展 2001.2.27 ～ 5.27
42. 楠勝平・つりたくにこ／2 人の軌跡  
－新しいマンガ表現にかけた青春－  
2001.5.29 ～ 9.2
43. 19 世紀フランス人漫画家ロビタが描いた未来  
2001.9.4 ～ 12.2
44. アジア I N コミック 2001.12.4 ～ 2002.2.3
45. 第 23 回読売国際漫画大賞展 2002.2.5 ～ 8.18
46. 『ジャパン・パンチ』創刊 140 年記念  
ワーグマンの描いた幕末・明治  
2002.8.20 ～ 10.27
47. 上村一夫の世界展 2002.10.2 ～ 2003.1.26
48. 第 24 回読売国際漫画大賞展 2003.2.7 ～ 7.13
49. 出版資料に見る日仏コミック交流史展  
2003.7.15 ～ 9.7

- 50. 漫画に描かれた日露戦争前夜  
- 政治・外交・社会 - 2003.9.9 ~ 2004.2.1
- 51. 第 25 回読売国際漫画大賞展 2004.2.3 ~ 4.11
- 52. 19 世紀フランスの諷刺とユーモア  
2004.4.13 ~ 6.13
- 53. 谷岡ヤスジの世界展 - 天才キャラクターだもんね!  
2004.6.15 ~ 9.26
- 54. 漫画に見る日本のスポーツ史 2004.9.30 ~ 12.26
- 55. 毎日国際マンガグランプリ 2004 受賞作品展  
2005.1.5 ~ 2.6
- 56. 第 26 回読売国際漫画大賞 受賞作品展  
2005.2.8 ~ 4.10
- 12. シリーズ・日本のグラフィックデザイナー  
田中一光の華展 2007.10.6 ~ 12.2
- 13. 川崎フロンターレ展 2007  
One for goal! Goal for one! 2007.12.8 ~ 2008.1.14
- 14. [シリーズ写真展: 現代写真の母型 2008]  
写真ゲーム - 11 人の新たな写真表現の可能性 -  
2008.1.26 ~ 3.30
- 15. 「コレクション・ピックアップ」  
学芸員が選ぶ収蔵作品展 2008.4.12 ~ 7.13
- 16. 「顔」 2008.7.19 ~ 11.24
- 17. 川崎フロンターレ展 2008 With Supporters  
2008.12.7 ~ 2009.1.12
- 18. 「戦後の作家たち」 2009.1.20 ~ 4.12
- 19. 幕末明治の諸相 - 岡コレクションより -  
4.16 ~ 6.28

### アートギャラリー (平成 18 年度 ~ 22 年度)

- 1. シリーズ・日本のグラフィックデザイナー  
亀倉雄策のポスター展 2006.4.25 ~ 6.25
- 2. つたえる美術 2 見るこども・見られるこども  
2006.5.13 ~ 9.3
- 3. 第 1 回「名取洋之助写真賞」受賞作品展  
- 清水哲朗「路上少年」・伊原美代子「海女」  
2006.7.8 ~ 9.3
- 4. 眩暈の装置  
松本俊夫をめぐるインターメディアの鉅脈  
2006.9.16 ~ 11.26
- 5. 川崎フロンターレ 10 周年記念展  
- challenge the future - 2006.12.9 ~ 2007.1.8
- 6. individuals - 交差する 4 人 2007.1.23 ~ 2.25
- 7. 第 27 回読売国際漫画大賞 受賞作品展  
2007.2.18 ~ 4.23
- 8. オフ・ストライプス / OFF STRIPES:  
縞模様の繊細なる瞬き 2007.4.21 ~ 7.8
- 9. 「星と宇宙のファンタジー」 2007.7.21 ~ 9.24
- 10. 映像の現在形 2007  
「映像の創出 - イメージと装置」  
「これはこれを撮影するカメラである」、  
「私が見るあなたを見るようにあなたは私を見る」、  
「シーイング / ヒアリング / スピーキング」、  
「アイ・アム・(ナット)・シーン」  
2007.10.6 ~ 12.24
- 11. シリーズ写真展: 現代写真の母型 2008  
「写真ゲーム  
- 11 人の新たな写真表現の可能性 -」展  
2008.1.26 ~ 3.30
- 20. リトグラフと画家 - ポスターの印刷技術展  
4.16 ~ 6.28
- 21. 「熊切圭介写真展 60 年代の光と影」 7.2 ~ 10.4
- 22. 「女性を撮る」 7.2 ~ 10.4
- 23. 「変革の渦 - Graphic Design in 60' s - 70' s」  
7.2 ~ 10.4
- 24. 「メディアとアート 歪んだ瞬間 - 未来派、  
構成主義、バウハウス、現代作品から探る -」  
10.10 ~ 2010.1.17
- 25. 「カメラ毎日」の時代  
平成 21 年度寄贈資料を中心に 12.1 ~ 2010.4.11
- 26. 「岡本かの子 その母性と母性像」  
2010.1.21 ~ 4.11
- 27. 「シリーズ・日本のグラフィックデザイナー  
グラフィック' 55 の作家たち」 2010.1.21 ~ 4.11
- 28. 木村伊兵衛写真賞 35 周年記念展  
第 1 期 2010.4.17 ~ 6.27  
第 2 期 2010.7.3 ~ 10.3  
第 3 期 2010.10.9 ~ 2011.1.16  
第 4 期 2011.1.22 ~ 4.10
- 29. 「マガジカバーの世界展  
~ ロートレック、ミュシャ、ビアズリー ~」展  
2010.4.17 ~ 6.27
- 30. 詩人佐藤惣之助 2010.7.3 ~ 10.3
- 31. 「漫画収蔵品」展  
- 漫画をコレクションし、展示するとは? -  
2010.7.3 ~ 10.3
- 32. 「メディアとアート 明晰な幻」展  
2010.10.9 ~ 2011.1.16

33. 映画美術監督 久保一雄の仕事 2011.1.22 ~ 4.10  
 34. 「シリーズ・日本のグラフィックデザイナー  
 宇野亜喜良のポスター」展 2011.1.22 ~ 4.10

## 特別資料室展示一覧（開館～平成 18 年度）

1. 川崎のむかし展 1992.7.1 ~ 1993.8.31
2. 石に刻まれた中世－収蔵板碑を中心に－  
1993.9.7 ~ 1994.8.31
3. 川崎の民具展 1994.9.27 ~ 1995.8.31
4. 掘り出された川崎 1995.9.3 ~ 1996.9.1
5. かわさき歴史探検 1－中原区の巻－  
1996.9.3 ~ 1997.8.31
6. かわさき歴史探検 2－多摩区・麻生区の巻－  
1997.9.9 ~ 1998.2.28
7. かわさき歴史探検 3－川崎区・幸区の巻－  
1998.3.17 ~ 8.30
8. かわさき歴史探検 4－高津区・宮前区の巻－  
1998.9.15 ~ 1999.2.28
9. 新収蔵資料展 1999.3.16 ~ 8.29
10. 丘陵－人々とくらし－ 1999.9.14 ~ 2000.2.27
11. むかしの川崎 2000.3.14 ~ 9.10
12. 出土品が語る川崎の歴史 2000.9.23 ~ 2001.2.25
13. かわさきの近代 2001.3.13 ~ 9.9
14. ヒトとモノの動き展 2001.9.29 ~ 2002.2.24
15. 収蔵資料展－岡コレクション－ 2002.3.9 ~ 5.12
16. 特別公開 川崎市重要歴史記念物指定  
古筆手鑑と指定文化財 2002.4.6 ~ 5.12
17. むかしの暮らし モノのうつりかわり  
2002.5.28 ~ 9.1
18. 中原街道と中原区の文化財 2002.9.14 ~ 12.15
19. ペリー来航 150 年 黒船がやって来た！！  
2003.1.5 ~ 4.6
20. 大むかしの川崎 2003.4.27 ~ 8.31
21. なりわい－生産と道具－ 2003.9.13 ~ 11.30
22. 昔のくらし今のくらしⅡ 2003.12.13 ~ 2004.4.11
23. 川崎の歴史Ⅰ「先人の社会と文化」  
2004.4.27 ~ 6.6
24. 川崎の歴史・「都市川崎の形成と発展」  
2004.6.22 ~ 9.20
25. 近世出版文化と在村の知識人 2004.10.2 ~ 12.5
26. あかりの情景展 2005.3.26 ~ 9.25
27. 資料が語る川崎の歴史 2005.10.8 ~ 2006.1.29
28. 新収蔵考古資料展 2006.2.11 ~ 7.2
29. くらしをはかる－いろいろな単位－  
2006.7.22 ~ 10.22

30. 昔の暮らし、今の暮らし

－道具に見る暮らしのうつり変わり

2006.11.23～2007.2.18

企画上映一覧 (映画)

昭和 63 年度

1. 映画における川崎の情景 (11.1 - 2)
2. 人間賛歌  
～ミュージアム・フィルムコレクションから  
(11.3 - 13)
3. ルネ・クレール 巴里好日 (11.19 - 20)
4. 美空ひばりと歌謡スターたちの系譜  
(12.3 - 18)
5. サイレント映画大全 (1.7 - 2.26)
6. 幻想の魔術師 イジイ・トルンカアニメーション  
フェア (3.25 - 4.5)

平成元年度

7. イジイ・バルタの映像世界 (5.13 - 14)
8. 笑いのフィルモロジー：  
日本映画に見るコメディの系譜 (6.17 - 8.6)
9. アニメ あ・ら・かると公開イベント (10.22)
10. 独立プロダクションの系譜 (9.15 - 24)
11. 企画展「TREND' 89」  
併催企画「ロバート・フランク作品上映」
12. ドラマの中の昭和 ミュージアム・フィルムコレ  
クションから (2.3 - 18)
13. ディレクターズ・カンパニーの監督たち  
(3.24 - 4.5)

平成 2 年度

14. 映画における女性のまなざし (4.14 - 29)
15. 監督による告白的女優論 (7.7 - 29)
16. ヤン・ペシェックとポーランド芸術の冒険 (9.1)
17. 8 ミリ映画の黄金時代 (9.7 - 19、3.15 - 17)
18. ヤン・シュワンクマイエル映画祭 (10.2 - 14)
19. 日本映画のお婆ちゃん／北林谷栄 (1.19 - 27)

平成 3 年度

20. 御隠居日記／東野英治郎の歩み (6.22 - 30)
21. ATG 映画の 30 年 (6.7 - 23)
22. プロデューサー三浦朗の軌跡 (10.10 - 13)
23. オーストリア映画 1991 / マンスール・マダヴィ  
特集 (11.3 - 24)
24. ノン・フィクションの物語論 (1.25 - 2.11)

#### 平成 4 年度

25. 近代映画協会の 40 年 (4.4 - 26)
26. ドイツの新しいアニメーション (5.2 - 31)
27. レンフィルム祭 (7.4 - 8.2)
28. もう一つの東宝映画／新東宝の世界 (11.21 - 29)
29. 監督・中村登／大船調の冒険 (3.6 - 28)

#### 平成 5 年度

30. サタジット・レイ映画祭 (6.12 - 7.4)
31. 妖怪映画特集 (8.7 - 8)
32. マノエル・デ・オリヴェイラとポルトガル映画の諸相 (11.6 - 28)
33. 狂った太陽の季節／日活ルネサンス 1956 - 1971 (3.2 - 30)

#### 平成 6 年度

34. 英国アニメーション (4.23 - 24)
35. 田名網敬一／記憶のイメージ (6.4 - 5)
36. ハリウッド・ニンフェット／メアリー・ピッグフォードとその時代 (7.16 - 31)
37. 叙情とシュール／ガロ 30 [映画篇] (9.23 - 24)
38. まなごしの力／ケン・ローチ回顧展 (11.12 - 12.4)

#### 平成 7 年度

39. 映画生誕 100 年記念・映画対談シリーズ (5.14 - 9.10)
40. デコールの前衛とリアリズム／美術監督・久保一雄 (7.22 - 9.9)
41. 戦後ポーランド映画の系譜 (10.21 - 11.1)
42. 残雪 プレミア上映 (11.23)
43. 神代辰巳 1 周忌・エレジー／虚無とざわめき (2.24 - 25)

#### 平成 8 年度

44. 岩波映画出身者の監督たち (7.6 - 8.4)
45. 韓国映画祭～知られざる映画大国～第一期 戦後の黄金期 (10.19 - 11.7)
46. 青春映画と 70 年代 (2.8 - 3.16)

#### 平成 9 年度

47. 中村正義展記念上映
48. 韓国映画祭～知られざる映画大国～第二期 新しい波 (6.1 - 7.5)
49. 韓国映画の現在形 (7.6 - 12)
50. 怪獣映画祭 (7.21 - 8.10)
51. レトロスペクティブ／ジョルジュ・ド・ボールガール (10.18 - 11.16)
52. メガホンを持った俳優たち (3.7 - 22)

#### 平成 10 年度

53. 10 周年コレクション上映 自由という地平 1 戦後独立プロの多面性 (7.4 - 20)
54. 自由という地平 2 「日本ニュース」とその時代 (8.1 - 16)
55. 自由という地平 3 撮影監督・宮島義勇と独立プロ運動 (8.29 - 9.13)
56. 自由という地平 4 まなごしの力／ケン・ローチ・レトロスペクティブ (9.19 - 10.11)
57. かながわ・ゆめ国体公開競技スポーツ芸術 スポーツ映画フェスティバル (10.20 - 29)
58. 自由という地平 5 撮る者と撮られる者の対話 (11.7 - 22)
59. 自由という地平 6 アラヴィンタン映画展 (11.28 - 12.20)
60. キリスト教伝来と日本人 (1.15 - 2.28)
61. マノエル・デ・オリヴェイラ映画祭 (2.11 - 20)
62. チェコ・アニメーションの世界 (3.6 - 21)

#### 平成 11 年度

63. 「自由」への旅 - 1970 年代以降のレンフィルム (5.15 - 6.20)
64. 映画における〈沖縄〉 (8.7 - 9.5)
65. 1970 年代の ATG 映画 (11.6 - 12.12)
66. 具流八郎の世界 (2.5 - 27)

#### 平成 12 年度

67. 「今井正」の軌跡 - 映画の中の日本 (6.3 - 7.16)
68. 戦後日本のセル・アニメーション (7.22 - 8.20)
69. 記録映画の作劇術 (11.18 - 12.10)
70. 1980 年代の ATG 映画 (2.10 - 3.20)

## 平成 13 年度

71. 〈映画〉を聴く 真鍋理一郎の映画音楽 (7.7 - 8.12)
72. インド芸術映画の巨匠 ゴーヴィンダン・アラヴィンダン映画展 (10.13 - 14)
73. アルゴプロジェクトの挑戦 (2.2 - 3.21)

## 平成 14 年度

74. 脚本家・井手雅人の仕事 (6.22 - 8.11)
75. 夢幻礼賛 映画美術監督 木村威夫の世界 (11.23 - 1.19)

## 平成 15 年度

76. 映画ドラえもん大集合 (6.21 - 7.27)
77. 開館 15 周年記念「映画の中の子供たち」 (11.1 - 11.3)
78. 銀幕を彩る女優たち (11.15 - 12.14)
79. アルゴ 2 ニュー・エンタテインメントのゆくえ (2.7 - 2.22)

## 平成 16 年度

80. 独立プロダクションの映画作家たち 1 今井正・山本薩夫 (4.17 - 3.6)
81. 「街角に咲いた芸術」展関連上映 パリ、世紀末。 (5.1 - 2)
82. 嵐を呼ぶ！映画クレヨンしんちゃん祭り (6.26 - 7.11)
83. 独立プロダクションの映画作家たち 3 - 4 勅使河原宏・家城巳代治 (9.18 - 11.21)
84. 日本のネオ・ホラーフィルム (7.24 - 8.8)
85. 「谷岡ヤスジの世界展」関連上映 幻のアニメ「やっちまえ！！ Do it !」復活上映 (9.20)
86. 映画を聴く vol.2 録音技師・久保田幸雄 ドキュメンタリーの音、劇映画の音 (10.9 - 31)
87. 新潟中越地震山古志災害復興支援上映会「掘るまいか」 (11.27 - 28)
88. 独立プロダクションの映画作家たち 5 - 6 新藤兼人・吉村公三郎 (12.18 - 1.16)
89. CLAMP 映画祭 (1.29 - 3.12)
90. 独立プロダクションの映画作家たち 7 - 8 大島渚・吉田喜重 (2.26 - 3.6)

## 平成 17 年度 (毎週土日および祝祭日に定期上映)

91. CLAMP 映画祭 再上映

92. シリーズ「魅惑の韓国映画」1 韓国映画のスターたち カン・スヨン
93. シネマテーク・コレクション 演じることと演出すること
94. 「小川美潮ライブ」関連上映 初期の市川準
95. シネマテーク・コレクション ニューヴェル・ヴァーグの先導者 岡本喜八と増村保造
96. シネマテーク・コレクション ゴーヴィンダン・アラヴィンダン特集
97. シネマテーク・コレクション ドキュメントとフィクションの狭間で
98. シリーズ「魅惑の韓国映画」2 韓国映画のスターたち アン・ソンギ
99. 市川雷蔵の「若親分」
100. シネマテーク・コレクション 東宝争議の主役たち 1
101. シリーズ「魅惑の韓国映画」3 6・25 動乱 (朝鮮戦争) を考える
102. デジモン、犬夜叉、名探偵コナン 人気アニメーション大集合
103. 「ロシア民族学博物館アイヌ資料展」関連上映 アイヌと記録映画作家・姫田忠義
104. われらサラリーマン - 東宝のサラリーマン映画
105. 戦後 60 年特別上映「平和記念都市 ひろしま」
106. 今村昌平の世界
107. 牛山純一と日本映像カルチャーセンター
108. シリーズ「魅惑の韓国映画」4 韓国映画のスターたち イ・ボヒとハ・ミョンジュン
109. 江利チエミの「サザエさん」
110. レンフィルムの監督たち
111. シリーズ「魅惑の韓国映画」5 韓国映画の監督たち ヴェテランたちの活躍
112. 「大水木しげる」展関連上映 妖怪たちがやってくる！！
113. シネマテーク・コレクション ジュルジュ・ド・ポールガール：ニューヴェル・ヴァーグのプロデューサー
114. シリーズ「魅惑の韓国映画」6 韓国映画の監督たち キム・ウンチョン
115. シネマテーク・コレクション 今井正の魅力
116. シネマテーク・コレクション 東宝争議の主役たち 2 山本薩夫
117. シリーズ「魅惑の韓国映画」7 自由と独立を求めて

- 118. 「伴淳三郎」物語
- 119. 関川秀雄の世界
- 120. シリーズ「魅惑の韓国映画」8 韓国映画の監督たち イム・グォンテクとペ・チャンホ
- 121. シネマテーク・コレクション 独立プロダクションの映画作家たち 舞台演出家、脚本家の視線
- 122. シネマテーク・コレクション につぼん風土記
- 123. シリーズ「魅惑の韓国映画」9 韓国映画の監督たち 21世紀への胎動
- 124. シネマテーク・コレクション 東宝争議の主役たち3 撮影監督・宮島義勇

### 平成 18 年度

- 125. 藤純子－任侠の華
- 126. シリーズ「魅惑の韓国映画」X 王朝時代の女性たち
- 127. 高林陽一の京都
- 128. 赤木圭一郎 刹那の輝き、永遠（とわ）の伝説。
- 129. 土本典昭の水俣
- 130. シリーズ「魅惑の韓国映画」XI 結婚の行方
- 131. 寺山修司 非日常のすすめ
- 132. 「弥生・古墳・飛鳥を考える」展関連上映
- 133. 熊井啓 黒い霧の正体に迫る
- 134. シリーズ「魅惑の韓国映画」XII 現代家族考
- 135. 仮面ライダーとスーパー戦隊シリーズ
- 136. 円谷英二と空想科学映画の世界
- 137. シネマテーク・コレクション 戦争がもたらしたものとは何か
- 138. シネマテーク・コレクション 小川紳介、三里塚から牧野村へ。
- 139. 昼下りのメロドラマ
- 140. シネマテーク・コレクション 松本俊夫:「映像」の変革
- 141. シンポジウム「50－60年代の芸術状況と松本俊夫」松本俊夫+湯浅譲二（音楽家）
- 142. 対談「松本俊夫の実験映画を巡って」松本俊夫+西村智弘（美術評論家・映像作家）
- 143. 対談「アヴァンギャルディスムの未来」松本俊夫+西嶋憲生（映像研究者）
- 144. 現代ドキュメンタリー映画の潮流
- 145. シリーズ「魅惑の韓国映画」XIII 現代社会考 男の場合、女の場合
- 146. 「横山光輝の世界」展関連上映
- 147. インディペンデント映画の挑戦
- 148. かわさきデジタルショートフィルムフェスティバル
- 149. シリーズ「魅惑の韓国映画」XV 1970年代セレクション
- 150. シネマテーク・コレクション 独立プロダクションの映画作家たち
- 151. シネマテーク・コレクション 柳町光男と橋浦方人
- 152. オムニバス映画の魅力
- 153. フランキー堺の『与太郎戦記』
- 154. 東南アジアの風 福岡市総合図書館フィルム・アーカイヴ・コレクションから
- 155. シリーズ「魅惑の韓国映画」XVI 1990年代セレクション
- 156. 加東大介の『大番』
- 157. シネマテーク・コレクション 山本薩夫の仕事

### 平成 19 年度

- 158. シネマテーク・コレクション 勅使河原宏の仕事
- 159. シネマテーク・コレクション レンフィルム・コレクション
- 160. 大森一樹と“アイドル”映画
- 161. ハナ肇と山田洋次
- 162. 「昭和ブギウギ1945－64」展関連上映 スターの時代
- 163. シネマテーク・コレクション 小川紳介、三里塚への道。
- 164. 梶芽衣子の「さそり」
- 165. 人情派バンザイ！映画監督・久松静児
- 166. 没後10年・勝新太郎と「兵隊やくざ」の世界
- 167. 「OFF STRIPES 縞模様の繊細なる瞬き」展関連上映 しましまえいが
- 168. シネマテーク・コレクション 記録映画作家・姫田忠義
- 169. 小林旭の銀座旋風児
- 170. 「安彦良和原画展」関連上映 伝説の勇者たち 綺羅星のごとく
- 171. シネマテーク・コレクション インディペンデントというスタイル
- 172. 大映京都の怪談
- 173. 川崎ゆかりの映画人たち・坂本九の巻
- 174. 「星と宇宙のファンタジー」展関連上映
- 175. キャメラマンは国境を越える 永田鉄男と栗田豊通

176. 国際合作の可能性
177. 今東光のと“河内”の世界
178. シネマテーク・コレクション 独立プロダクションの映画作家たち
179. シネマテーク・コレクション これが女の生きる道！-ATGの軌跡-
180. 「産業都市・カワサキのあゆみ100年-進化しつづけるモノづくりの街-」展関連上映
181. シネマテーク・コレクション 今井正と家城巳代治
182. 映像の現在形 2007「映像の創出 イメージと装置」展関連上映 飯村隆彦の世界
183. 田宮次郎のアクション映画
184. “一番星”と“やもめのジョナサン”『トラック野郎』の世界
185. シネマテーク・コレクション 記録映画選集
186. “必殺”の世界
187. 五味川純平と「人間の條件」
188. 高橋英樹 剣客と侠客
189. シネマテーク・コレクション ジョルジュ・ド・ボールガール：ヌーヴェル・ヴァーグとプロデューサー
190. 映画監督 谷口千吉
191. 亀井文夫の戦後
192. 「少女マンガパワー！」展関連上映
193. 春休みはポケモン！

#### 平成20年度

194. シネマテーク・コレクション 小説の快楽、映画の愉楽
195. 艶姿七変化 特集・長谷川一夫
196. 「オキナワ／カワサキ」展関連上映 太陽の国オキナワ
197. シネマテーク・コレクション アンチ・ヒロイズム-敗者の美学-
198. 特集 石原裕次郎
199. 幼子の祈り-かつて子供だったおとなたちのために
200. 一投一打のドラマ 野球映画特集
201. 「くらしと着物」展関連上映 所作ごと麗し、きものの粋
202. メタモルフォーゼ 変身する人間
203. ふるさとのくらし 記録映画
204. 記憶と祈り 映画のなかの“公害”

205. 「ジャパンプラジルクリエイティブアートセッション」関連上映 ブラジル映画特集
206. Lupin the Movie カワサキより愛をこめて
207. ロシア映画特集 アラノヴィッチとソクーロフ
208. 「ともに生きる」展関連上映
209. 特集・新藤兼人
210. 脚本家 荒井晴彦
211. 風刺と諧謔 コメディの地平
212. 「てなもんや」シリーズと「杵掛時次郎」
213. 粟津潔展関連上映「知りすぎていた男 粟津潔」
214. 戦後の作家展関連上映 映画監督・大島渚
215. SLC ファクトリー アニメーション・ワークショップ
216. 無垢なる詩人 G.アラヴィンダン
217. 生誕百年記念 松本清張 第一弾
218. 「昔のくらし今のくらし」展関連上映

#### 平成21年度

219. 特集上映 今井正
220. 「幕末・明治期の川崎とニッポン」展関連上映
221. 生誕100年記念 松本清張 第2弾
222. 特集上映 オタール・イオセリアーニ
223. 生誕100年記念 松本清張特集 第3弾
224. 郷土を知る-川崎の伝統と行事-
225. 元祖・クールビューティ！ 江波杏子の「女賭博師」
226. 「サンデー・マガジンのDNA」展関連上映 タイムスリップ 僕らの時代
227. 山本薩夫監督特集 演出のダイナミズム
228. シネマテーク・コレクション 家族へのまなざし
229. わが街・昭和の風景
230. シネマテーク・コレクション 映画監督・神山征二郎
231. ドキュメンタリー選集
232. 川崎ゆかりの映画人たち 実相寺昭雄の巻 大回顧展プレ・イベント
233. シネマテーク・コレクション アルゴプロジェクト 20年目の傑作選
234. 特別上映 長篇記録映画『セレベス』
235. 映画監督・岡本喜八、戦争を“喰う”
236. 第64回毎日映画コンクール 表彰式川崎開催記念 ドキュメンタリー映画賞特集
237. シネマテーク・コレクション レンフィルムへの誘い

- 238. インディペンデントというカタチ
- 239. 映画監督・家城巳代治の流儀
- 240. スピンオフ映画のプロトタイプ 熊虎親分とピラニア軍団

**平成 22 年度**

- 241. シネマテーク・コレクション アラヴィンダ  
ン 悲哀とユーモアのなかで
- 242. シネマテーク・コレクション 勅使河原宏  
リアルの向こう側
- 243. 吉村公三郎 名匠が捉えた男の魅力
- 244. 超・サラリーマン 東映編
- 245. シネマテーク・コレクション 54 年目の水俣  
病事件
- 246. 映画監督・熊井啓の視座
- 247. シネマテーク・コレクション 三島由紀夫と  
立松和平
- 248. シネマテーク・コレクション 記録を超えて
- 249. 泉鏡花 悲恋の系図
- 250. 川崎ゆかりの映画人たち 女優・川崎弘子
- 251. シネマテーク・コレクション 自主制作のシ  
ルエット
- 252. シネマテーク・ドキュメンタリー・セレクシ  
ョン 4つの視線
- 253. シネマテーク・コレクション 思想の自由を  
求めて 今井正と中尾駿一郎
- 254. ザッツ・ジャパニーズ・ホラー 山本迪夫監  
督作品から
- 255. シネマテーク・コレクション 思想の自由を  
求めて 新藤兼人と黒田清己
- 256. アンコール上映 長篇記録映画「セレベス」
- 257. シネマテーク・コレクション 1980 年代の息吹
- 258. 「詩人 佐藤惣之助」展関連上映 昭和歌謡の  
ヒット・メーカー 佐藤惣之助
- 259. 蘇る登戸研究所
- 260. シネマテーク・コレクション 記録映画作家・  
姫田忠義「日本文化のふるさと」
- 261. シネマテーク・コレクション 山内久の“若  
者たち”
- 262. 生誕 100 年 映画監督・山本薩夫
- 263. 1980 年代のレンフィルム
- 264. 「アイヌー美を求める心」展関連上映 記録映  
画作家・姫田忠義「アイヌのくらし」
- 265. シネマテーク・コレクション 映画音楽〈武満徹〉
- 266. 有吉佐和子 百花繚乱
- 267. クロード・シャブロール追悼 プロデューサー  
ジョルジュ・ド・ボールガール
- 268. 追悼上映 人形アニメーション作家 川本喜  
八郎
- 269. シネマテーク・コレクション ATG 特集 第  
1 弾 -ニッポンの最も熱い日々-
- 270. 特集上映 脚本家 馬場当
- 271. 新春特集 向田邦子と久世光彦
- 272. シネマテーク・コレクション ATG 特集 第  
2 弾「変貌の時代」
- 273. 「映画美術監督 久保一雄の仕事」展 関連上映
- 274. 毎日映画コンクール表彰式川崎開催記念 過  
去受賞作品アンコール上映 「歴代受賞作品特  
集 (1970 年代)」
- 275. シネマテーク・コレクション 映画監督 中  
川信男
- 276. シネマテーク・コレクション パペット・ア  
ニメーション!
- 277. 日本映画大学設立記念 日本映画学校卒業生  
作品選

# 平成 23 年度 市民ミュージアム 利用者統計表

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
常設展・企画展		12,530	19,986	13,858	14,015	12,465	15,079	21,463	18,059	11,229	9,170	11,639	11,928	171,421
映像ホール	有料	617	757	502	858	1,072	781	590	346	574	334	627	560	7,618
	大人	1	1	0	2	17	0	1	40	0	0	2	2	66
	小人	244	582	155	542	1,352	370	629	546	332	212	510	136	5,610
無料		244	582	155	542	1,352	370	629	546	332	212	510	136	5,610
ミニホール		139	147	350	311	150	170	146	204	113	86	171	117	2,104
館内イベント・講座等		1,336	355	134	1,069	502	393	335	505	761	584	301	806	7,081
ミュージアムライブラリー（映像）		178	94	108	145	138	132	121	108	84	70	148	121	1,447
ミュージアムライブラリー（図書）		595	707	630	843	836	775	624	538	418	279	505	562	7,312
研修室等利用者		211	139	147	390	244	323	332	103	149	136	352	286	2,812
ミュージアムギャラリー1		0	0	180	814	0	1,393	652	100	0	0	740	0	3,879
ミュージアムギャラリー2		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
館外展示入館・出張プログラム等		0	35	14	261	1,305	0	19	25	0	43	261	200	2,163
合計		15,851	22,803	16,078	19,250	18,081	19,416	24,912	20,574	13,660	10,914	15,256	14,718	211,513
利用者累計			38,654	54,732	73,982	92,063	111,479	136,391	156,965	170,625	181,539	196,795	211,513	
開館日数		26	25	26	27	26	26	26	24	24	13	25	26	294
1日平均利用者数		610	912	618	713	695	747	958	857	569	840	610	566	719

## 展示室別内訳

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
企画展 1	有料	1,791	2,663	3,135	568	1,594	1,679	3,702	1,305	279	257	0	0	16,973
	一般	1,413	2,088	2,487	483	1,413	1,290	2,796	992	233	215	0	0	13,410
	シニア	272	407	440	19	67	141	503	132	20	18	0	0	2,019
	高・大生	39	70	80	30	70	76	210	147	22	24	0	0	768
	小人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般（団体）	60	91	124	15	43	47	156	28	4	0	0	0	568
	シニア（団体）	6	5	4	21	1	2	28	3	0	0	0	0	70
	高・大生（団体）	1	2	0	0	0	123	3	3	0	0	0	0	132
	その他（団体）	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	6
	無料	865	2,175	2,202	442	1,336	886	1,839	743	2,586	1,828	1,411	2,160	18,473
	招待券	396	815	1,324	199	702	514	861	456	1,284	1,349	0	0	7,900
	障害者等	109	162	159	47	191	106	231	70	48	22	0	0	1,145
	友の会	10	10	13	15	6	9	11	4	2	2	0	0	82
小・幼	325	539	661	130	375	203	674	198	1,170	412	0	146	4,833	
取材	7	0	6	4	7	9	10	0	9	0	0	1	53	
その他（パッチ・家族でGO）	18	649	39	47	55	45	52	15	73	43	1,411	2,013	4,460	
企画展 2	有料	0	0	0	266	920	561	0	0	0	0	0	0	1,747
	一般	0	0	0	149	546	320	0	0	0	0	0	0	1,015
	シニア	0	0	0	103	233	186	0	0	0	0	0	0	522
	高・大生	0	0	0	8	48	16	0	0	0	0	0	0	72
	小人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般（団体）	0	0	0	6	14	16	0	0	0	0	0	0	36
	シニア（団体）	0	0	0	0	79	23	0	0	0	0	0	0	102
	高・大生（団体）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他（団体）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	無料	825	0	0	1,185	1,506	1,076	4,670	5,707	1,938	1,744	4,693	3,515	26,859
	招待券	560	0	0	103	492	239	0	0	0	0	0	0	1,394
	障害者等	0	0	0	25	80	33	0	0	0	0	0	0	138
	友の会	0	0	0	6	19	10	0	0	0	0	0	0	35
小・幼	265	0	0	318	863	759	1,160	2,913	855	1,041	2,345	1,233	11,752	
取材	0	0	0	2	5	1	0	0	0	0	0	0	8	
その他（パッチ・家族でGO）	0	0	0	731	47	34	3,510	2,794	1,083	703	2,348	2,282	13,532	
映像ホール	有料	618	758	502	860	1,089	781	591	386	574	334	629	562	7,684
	一般	205	215	227	356	651	257	222	216	196	86	195	305	3,131
	優待割引	0	1	3	0	6	0	0	0	0	0	3	2	15
	学生	7	27	22	12	34	0	5	5	8	0	18	10	148
	シニア	249	340	124	290	180	321	204	70	252	199	272	69	2,570
	小中学生	1	1	0	2	17	0	1	40	0	0	2	2	66
	友の会	17	20	13	27	16	23	11	9	18	12	13	13	192
	スカラチケット	139	154	113	173	185	180	148	46	100	37	126	161	1,562
	無料	244	582	155	542	1,352	370	629	546	332	212	510	136	5,610
	招待券	3	20	17	44	24	3	3	7	15	2	22	1	161
	障害者	241	286	138	275	235	367	299	98	274	140	192	133	2,678
	幼児	0	2	0	2	9	0	0	32	1	0	1	2	49
	モニター	0	274	0	221	1,084	0	327	409	42	70	295	0	2,722

平成 23 年度歳出予算

単位：千円

事業名等	予算	備考
市民ミュージアム予算合計	664,799	
市民ミュージアム運営管理事業費	459,978	
市民ミュージアム非常勤職員経費	27,281	
01 報酬	20,453	非常勤職員報酬
04 共済費	6,698	非常勤職員共済費
09 旅費	130	
市民ミュージアム運営管理事業費	432,697	
04 共済費	417	
07 賃金	5,123	臨時職員賃金
08 報償費	2,962	収集委員・評価委員等謝礼
11 需用費	45,008	光熱水費・消耗品・印刷製本費等
	(37,914)	光熱水費
12 役務費	2,709	電話料・郵便料等
13 委託料	359,450	総合管理委託・学芸業務委託等
	(218,999)	学芸業務委託
	(99,320)	総合管理委託
	(10,295)	社会科教育推進事業委託
14 使用料及び賃借料	4,856	事務機器・フィルム保管庫賃借料等
16 原材料費	45	塗料等
18 備品購入費	11,957	資料作品購入・研究用図書購入等
	(10,169)	資料作品購入
19 負担金補助及び交付金	170	博物館協会会費等
市民ミュージアム運営協議会経費	207	
市民ミュージアム運営協議会経費	207	
01 報酬	207	委員報酬
市民ミュージアム施設整備事業費	204,614	
市民ミュージアム施設整備費	203,499	
13 委託料	2,499	
15 工事請負費	201,000	空調設備改修
市民ミュージアム地上デジタル放送対応事業費	1,115	
13 委託料	168	
15 工事請負費	947	

## 川崎市市民ミュージアム協議会

### 1. 設置主旨

川崎市市民ミュージアムの円滑な運営を図るため、専門家や学校教育・社会教育機関の代表、公募による一般市民が委員になり、館長の諮問に応じ、運営に関する意見を述べる。

※根拠条例 川崎市市民ミュージアム条例第21条

### 2. 委員構成

学校教育関係 2名  
社会教育関係 2名  
市民公募 2名  
学識経験者 2名

### 3. 開催経過

#### 第1回川崎市市民ミュージアム協議会

日時 平成23年7月22日

場所 川崎市市民ミュージアム会議室

議事 「市民ミュージアム改革の進捗状況と今後3年間の取組方針」について  
平成22年度第3回協議会以降の事業報告について  
平成23年度事業計画及び予算について  
市民ミュージアム評価について

#### 第2回川崎市市民ミュージアム協議会

日時 平成23年11月16日

場所 川崎市市民ミュージアム会議室

議事 平成23年度第1回協議会以降の事業報告について  
平成23年度の今後の事業について  
市民ミュージアム評価について

#### 第3回川崎市市民ミュージアム協議会

日時 平成24年3月16日

場所 川崎市市民ミュージアム会議室

議事 平成23年度第2回協議会以降の事業報告について  
平成24年度事業計画案について  
市民ミュージアム評価について

## 川崎市市民ミュージアム資料等収集委員会

### 1. 設置趣旨

川崎市市民ミュージアムにおいて資料及び作品の適正かつ公正な収集を図るため、学識経験者をもって審議する。

### 2. 委員構成

学識経験者（考古）	1名
（歴史）	1名
（民俗）	1名
（美術文芸）	1名
（グラフィック）	1名
（写真）	1名
（漫画）	1名
（映画）	1名
（ビデオ）	1名

※平成23年5月31日を持って前委員の任期が満了したため、平成23年9月1日をもって新たな委員を委嘱した。

※審議対象となる収集資料がなかったため、平成23年度は委員会の開催は行わなかった。

## 川崎市市民ミュージアム資料等評価委員

### 1. 設置趣旨

川崎市市民ミュージアムが収集し、及び寄贈又は寄託を受けようとする資料及び作品の適正かつ公正な収集を図るため、収集を予定している資料等の真贋の鑑定及び購入価格の評価等を行う。

### 2. 開催

日時 平成 23 年 11 月 2 日

委員 3 名

評価資料 宇野亜喜良 ポスター 10 点

日時 平成 23 年 12 月 21 日

委員 2 名

評価資料 近藤聡乃「KiyaKiya」2010-2011  
シングルチャンネル・アニメーションビデオ  
鈴木俊輔「空の向こう」油彩画  
鈴木俊輔「月が出た」油彩画

## かわさき市美術展運営委員会

### 1. 設置趣旨

かわさき市美術展の開催にあたり、専門的な知識や視点に基づき、市民ミュージアムの文化芸術の向上及び円滑な事業の運営を目的に設置する。

### 2. 委員構成

美術作家または美術評論家（2 名）

学識経験者（2 名）

川崎市文化団体関係者（1 名）

### 3. 開催

第 45 回かわさき市美術展第 1 回運営委員会

日時 10 月 7 日

会場 川崎市市民ミュージアム 3 階会議室

議題 第 44 回かわさき市美術展 運営報告書  
について  
募集内容について  
審査委員について

第 45 回かわさき市美術展第 2 回運営委員会

日時 3 月 3 日

会場 川崎市市民ミュージアム研修室 3

議題 第 45 回かわさき市美術展審査結果報告  
について  
表彰式について

第 45 回かわさき市美術展第 3 回運営委員会

日時 3 月 27 日

会場 川崎市市民ミュージアム研修室 3

議題 第 45 回かわさき市美術展実施報告につ  
いて  
第 46 回かわさき市美術展にむけて

## 施設概要

敷地面積	25,358㎡
建築面積	8,386㎡
延床面積	19,542㎡
常設展示室	2,551㎡
博物館展示室	1,491㎡
アートギャラリー	1,060㎡
企画展示室	1,334㎡
企画展示室 1	597㎡
企画展示室 2	590㎡
ミュージアムギャラリー1・2	147㎡ (82㎡ + 65㎡)
逍遙展示空間	747㎡
映像ホール	342㎡ 266 席
ミニホール	57㎡ 40 名
(椅子席・ビデオのみ)	
研修室 1	70㎡ 24 名
(机・椅子固定)	
研修室 2	60㎡ 30 名
研修室 3	56㎡ 36 名
収蔵庫	2,433㎡ (9室、前室を含む)
その他	12,083㎡
ミュージアムショップ	40㎡
ミュージアムレストラン	62 席
身障者設備	
トイレ	5ヶ所
車いす	4台
乳幼児設備	
ベビーベッド	2台
授乳室	1室
ベビーカー	3台

## 設計

建築設計者 (株)計画連合 (担当 菊竹 清訓)

展示設計者 (株)トータルメディア開発研究所

## 当時の総工費

建築工事費	88 億円
展示工事	23 億円
資料収集	21 億円
運営費	10 億円
合計で約	150 億円

## 収蔵品

平成 23 年度分

購入作品・資料	23 点
寄贈	967 点
寄託	135 点 (継続を含む)

総点数	約 204,100 点 (平成 24 年 3 月 31 日)
考古	約 72,000 点
歴史	約 28,000 点
民俗	約 12,000 点
美術文芸	約 10,000 点
グラフィック	約 8,600 点
写真	約 20,000 点
漫画	約 45,000 点
映画	約 2,500 点
ビデオ	約 6,000 点

博物常設展示 180-190 点

ミュージアムギャラリー展示 (年 4 期に分けて開催)

## 指定文化財

神奈川県指定 1 件

  鰐口 1 口

川崎市指定 20 件

  紙本墨画淡彩仙女図 2 幅

  青銅製鰐口 1 口

  古筆手鑑「披香殿」 1 帖

  井田家文書 3 通

  関東下知状 附 極札 1 枚 1 通

  板碑 1 基

  有馬古墓群後谷戸グループ古墓出土火葬骨蔵器

    附 坏 19 箇 3 組 3 箇

  有馬古墓群台坂上グループ古墓出土火葬骨蔵器

    附 簪状骨製品 1 本 3 組 7 箇

  生田古墓群生田 8601 番地古墓出土火葬骨蔵器

    附 鹿角製刀子柄 1 本 2 組 4 箇

  生田古墓群鴛鴦沼古墓出土火葬骨蔵器

    附 鉄板状製品 1 枚 1 組 2 箇

  菅生古墓群長沢 1822 番地古墓出土火葬骨蔵器

    2 組 4 箇

  野川古墓群野川南耕地 A 地点古墓出土火葬骨蔵器

    附 鉄板状製品 1 枚 鉄釘 13 本 1 組 2 箇

  稗原古墓群 A 地点古墓出土火葬骨蔵器

    附 和銅開寶 1 枚 1 組 2 箇

无射志国荏原評銘文字瓦 1点  
万福寺遺跡群縄文時代草創期出土品 一括  
宿河原縄文時代低地遺跡出土品 一括  
下原遺跡縄文時代後・晩期出土品 一括  
梶ヶ谷神明社上遺跡出土品 一括  
獅子頭 3頭  
大師河原の漁撈具 一括

## 職 員

(平成23年4月から平成24年3月まで)

### 川崎市市民・子ども局

#### 川崎市市民ミュージアム

館 長 原 隆  
副館長 高岸 豎司  
担当課長 石澤 志津  
担当課長 小道 元宏  
担当係長 豎月 基  
担当係長 小松 史尚  
担当係長 松川 哲司  
担当係長 星野 美代子  
主任 高橋 小百合  
大橋 路代 (嘱託)  
内海 美佳 (嘱託)  
片柳 圭輔 (嘱託)  
佐藤 友成 (嘱託)  
諏訪 紗弥子 (嘱託)  
武井 麻里子 (嘱託)  
武田 智子 (嘱託)  
永山 悦朗 (嘱託)

阿部 久瑠美 (嘱託・9月～)

吉澤 弘美 (嘱託)

飛田 美香 (嘱託)

### 財団法人川崎市学習財団

学芸室室長 石原 敏明  
学芸総務課長 北西 誠  
課長補佐 望月 一樹  
課長補佐 深川 雅文  
主査 高橋 典子  
主査 濱崎 好治  
主任 林 司  
金澤 韻  
岩槻 歩  
平井 直子  
新井 悟  
佐藤 実 (嘱託・5月まで)  
江口 浩 (嘱託)  
佐藤 美子 (嘱託)  
副島 蔵人 (嘱託)  
山田 あき (嘱託・6月まで)  
喜安 嶺 (嘱託)  
平林悠紀子 (嘱託)  
大西 舞 (嘱託・7月～)

平成 23 年度  
川崎市市民ミュージアム年報  
2011 年 4 月～2012 年 3 月

平成 24 年 6 月発行  
編集・発行／川崎市市民ミュージアム  
川崎市中原区等々力 1-2  
電話 044-754-4500  
印刷／日本プロセス株式会社



KAWASAKI  
CITY  
MUSEUM